

令和 8 年（2026 年）1 月 21 日付け札幌市告示第 271 号の内容に係る訂正について、下記のとおり告示する。

令和 8 年（2026 年）3 月 17 日

札幌市長 秋元 克広



記

1 訂正する内容

令和 8 年札幌市告示第 271 号の工事番号「26(建)第 0011 号」工事名「(仮称) 藻岩・啓北商業再編新設校新築ほか工事（主体工事）」に係る設計図書の一部を下記のとおり訂正する。

2 設計図書の訂正箇所
別紙のとおり

3 担当部局

〒060-8611

札幌市中央区北 1 条西 2 丁目

札幌市財政局管財部契約管理課工事契約係

電話 011-211-2442

校舎 部分しゅん功の対象		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			
墨出し		1	式			
養生		1	式			
整理清掃 後片付け		1	式			
地足場		1	式			
外部足場		1	式			別紙 00-0001
内部躯体足場		1	式			
内部仕上足場		1	式			
災害防止		1	式			別紙 00-0002
仮設材運搬		1	式			
防寒養生	簡易上屋 (3,651㎡程度)	1	式			R8(基礎、一部1F床想定)
防寒養生	全天候型上屋 (3,651㎡程度) 基本料・組立解体・損料・運搬費含 む 設置期間95日程度	1	式			R8(一部1F床、壁以上想定)
採暖養生	シートヒーター設置撤去、採暖費、灯油	1	式			R8
計						

校舎 部分しゅん功の対象		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			
墨出し		1	式			
養生		1	式			
整理清掃 後片付け		1	式			
地足場		1	式			
外部足場		1	式			別紙 00-0001
内部躯体足場		1	式			
内部仕上足場		1	式			
災害防止		1	式			別紙 00-0002
仮設材運搬		1	式			
防寒養生	簡易上屋 (3,651㎡程度)	1	式			R8 (基礎、一部1F床 想定) R9 (屋上防水)
防寒養生	全天候型上屋 (3,651㎡程度) 基本料・組立解体・損料・運搬費含 む 設置期間95日程度	1	式			R8 (一部1F床、壁以上想定)
採暖養生	ｼﾞｪｯﾄﾋｰﾀｰ設置撤去、採暖費、灯油	1	式			R8 (基礎、一部1F床 想定) R9 (屋上防水、外部 塗装)
計						

校舎 部分しゅん功の対象		金属		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既製アルミ笠木(シルバー)	一般部 厚1.6mm以上 幅225mm	67	m			
既製アルミ笠木(シルバー)	一般部 厚1.6mm以上 幅250mm	3.2	m			
既製アルミ笠木(シルバー)	一般部 厚2.0mm以上 幅400mm	376	m			
既製アルミ笠木コーナ(シルバー)	コーナ部 厚1.6mm以上 幅(225-400)mm L型 500mm+500mm	2	か所			
既製アルミ笠木コーナ(シルバー)	コーナ部 厚1.6mm以上 幅250mm L型 500mm+500mm	1	か所			
既製アルミ笠木コーナ(シルバー)	コーナ部 厚1.6mm以上 幅(250-400)mm L型 500mm+500mm	2	か所			
既製アルミ笠木コーナ(シルバー)	コーナ部 厚2.0mm以上 幅400mm L型 600mm+600mm	29	か所			
既製アルミ笠木コーナ(シルバー)	コーナ部 厚2.0mm以上 幅400mm Z型 600mm+600mm	2	か所			
雪底防止笠木	H700 アルミt2.0 既製品	149	m			
ルーフレン	縦形ろく屋根用 アスファルトシート防水用 SGP 100A 張掛け幅 100	17	か所			
ルーフレン	横形ろく屋根用 アスファルトシート防水用 SGP 50A 張掛け幅 100	2	か所			
ルーフレン	バルコニー用 塗膜防水用 SGP 50A 張掛け幅 100	15	か所			
既製アルミ水切(シルバー)	一般部 厚1.2mm以上 幅45mm	2.2	m			ドラフトチャンバー
屋上フェンス	H=2.125m 柱径40mm, 50×100mmメッシュ, 控柱φ1.8m 粉体塗装, 忍び返し有	76.3	m			
屋上フェンス扉	ステンレス丁番6インチ×3個, シリカゲル錠付き	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 金属成形板用 ③360 インサート含む	832	m ²			
軽量鉄骨天井開口部補強		1	式			別紙 00-0012
天井廻縁	塩化ビニル製	797	m			
バルコニー手摺	アルミ既製品 H1100程度 笠木一体型	184	m			
腰壁水切り	W170 カラーアルミPL-2.0加工	173	m			

校舎 部分しゅん功の対象		金属		外部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
既製アルミ笠木(シルバー)	一般部 厚1.6mm以上 幅225mm	67	m			
既製アルミ笠木(シルバー)	一般部 厚1.6mm以上 幅250mm	3.2	m			
既製アルミ笠木(シルバー)	一般部 厚2.0mm以上 幅400mm	376	m			
既製アルミ笠木コーナー(シルバー)	コーナー部 厚1.6mm以上 幅(225-400)mm L型 500mm+500mm	2	か所			
既製アルミ笠木コーナー(シルバー)	コーナー部 厚1.6mm以上 幅250mm L型 500mm+500mm	1	か所			
既製アルミ笠木コーナー(シルバー)	コーナー部 厚1.6mm以上 幅(250-400)mm L型 500mm+500mm	2	か所			
既製アルミ笠木コーナー(シルバー)	コーナー部 厚2.0mm以上 幅400mm L型 600mm+600mm	29	か所			
既製アルミ笠木コーナー(シルバー)	コーナー部 厚2.0mm以上 幅400mm Z型 600mm+600mm	2	か所			
雪底防止笠木	H700 アルミt2.0 既製品	152	m			
ルーフレン	縦形ろく屋根用 アスファルトシート防水用 SGP 100A 張掛け幅 100	17	か所			
ルーフレン	横形ろく屋根用 アスファルトシート防水用 SGP 50A 張掛け幅 100	2	か所			
ルーフレン	バルコニー用 塗膜防水用 SGP 50A 張掛け幅 100	15	か所			
既製アルミ水切(シルバー)	一般部 厚1.2mm以上 幅45mm	2.2	m			ドラフトチャンバー
屋上フェンス	H=2.125m 柱径40mm, 50×100mmメッシュ, 控柱φ1.8m 粉体塗装, 忍び返し有	76.3	m			
屋上フェンス扉	ステンレス丁番6インチ×3個, シリカゲル付 -	1	か所			
軽量鉄骨天井下地	25形(屋外) ふところ1.0m未満 金属成形板用 ③360 インサート含む	832	m ²			
軽量鉄骨天井開口部補強		1	式			別紙 00-0012
天井廻縁	塩化ビニル製	797	m			
バルコニー手摺	アルミ既製品 H1100程度 笠木一体型	184	m			
腰壁水切り	W170 カラーアルミPL-2.0加工	173	m			

校舎 部分しゅん功の対象		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
D P 塗り	鋼製建具面 1級 錆止め共	10.4	m ²			
水性珪酸系塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	42.3	m			巾木
水性珪酸系塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	95.4	m			壁出隅
水性珪酸系塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	10.5	m			木製ル-バー
水性珪酸系塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	30.2	m			竿縁
水性珪酸系塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	15.3	m			天井廻縁
水性珪酸系塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	50.6	m			額縁
水性珪酸系塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	254	m ²			壁合板面
水性珪酸系塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	4.8	m ²			下り天井合板面
水性珪酸系塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	102	m ²			ル-バー面
水性珪酸系塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	186	m ²			家具
水性珪酸系塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	70.5	m ²			木建面
水性反応硬化型ア クリ樹脂塗装(WAP)	木部細巾物	8.5	m			家具
E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	1,310	m			壁出隅
E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	7.4	m			間仕切壁端部内方立
E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	1,758	m			額縁
木部 E P - G 塗り	素地A種	67.7	m ²			壁合板面
木部 E P - G 塗り	素地A種	5.3	m ²			天井段差幕板
木部 E P - G 塗り	素地A種	38.2	m ²			カーテンボックス
木部 E P - G 塗り	素地A種	37.2	m ²			ブラインドボックス

校舎 部分しゅん功の対象		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水性ウレタンクリア塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	42.3	m			巾木
水性ウレタンクリア塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	95.4	m			壁出隅
水性ウレタンクリア塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	10.5	m			木製ル-バー
水性ウレタンクリア塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	30.2	m			竿縁
水性ウレタンクリア塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	15.3	m			天井廻縁
水性ウレタンクリア塗装 (糸幅300mm以下)	木部 3回塗り 素地ごしらえB種	50.6	m			額縁
水性ウレタンクリア塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	254	m ²			壁合板面
水性ウレタンクリア塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	4.8	m ²			下り天井合板面
水性ウレタンクリア塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	102	m ²			ル-バー面
水性ウレタンクリア塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	186	m ²			家具
水性ウレタンクリア塗装	木部 3回塗り 素地ごしらえB種 -	70.5	m ²			木建面
水性反応硬化型アクリル樹脂塗装(WAP)	木部細巾物	8.5	m			家具
E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	1,310	m			壁出隅
E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	7.4	m			間仕切壁端部内方立
E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	木部 素地A種	1,758	m			額縁
木部 E P - G 塗り	素地A種	67.7	m ²			壁合板面
木部 E P - G 塗り	素地A種	5.3	m ²			天井段差幕板
木部 E P - G 塗り	素地A種	38.2	m ²			カーテンボックス
木部 E P - G 塗り	素地A種	37.2	m ²			ブラインドボックス

校舎 部分しゅん功の対象		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木部 E P - G 塗り	素地A種	568	m ²			木建面
E P - G 塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 工程B種(一般) 素地B種	841	m ²			壁
E P - G 塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 工程B種(見上) 素地B種	241	m ²			天井
E P - G 塗り	ﾌﾞｰﾄﾞ面 工程B種(一般) 素地B種	8.8	m ²			壁
E P - G 塗り	ﾌﾞｰﾄﾞ面 工程B種(見上) 素地B種	221	m ²			天井
E P - G 塗り	ﾌﾞｰﾄﾞ面 工程B種(見上) 素地B種	14.8	m ²			下り天井
E P - G 塗り	けい酸加ｼﾗﾒ板面 工程B種(一般) 素地B種	6,317	m ²			壁
E P - G 塗り	ﾌﾙｸ面 工程B種(見上) 素地B種	53.1	m ²			天井
E P - G 塗り	ﾌﾙｸ面 工程B種(見上) 素地B種	16.1	m ²			下り天井
鉄鋼面 E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	工程B種 錆止工程A種 現場2回目 水系さび止め(屋内) 1回目別途	48	m			吹抜廻り先端トップ
鉄鋼面 E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	工程B種 錆止工程A種 現場2回目 水系さび止め(屋内) 1回目別途	407	m			階段が 両手摺
鉄鋼面 E P - G 塗り	工程A種 錆止工程A種 現場2回目 塗料B種(鉛・ｸﾙﾐﾌﾞﾙ-2種) 屋内 1回目別途	19.9	m ²			
亜鉛めっき面 E P - G 塗り	鋼建面 錆止工程A種 現場2回目 水系さび止め(屋内) 1回目別途	938	m ²			鋼建面
壁 ｺﾝｸﾘｰﾄ保護塗材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 素地ごしらえ共 不燃	86.5	m ²			
天井 ｺﾝｸﾘｰﾄ保護塗材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 素地ごしらえ共 不燃	11.2	m ²			
計						

校舎 部分しゅん功の対象		塗装		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木部 E P - G 塗り	素地A種	568	m ²			木建面
E P - G 塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 工程B種(一般) 素地B種	841	m ²			壁
E P - G 塗り	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 工程B種(見上) 素地B種	241	m ²			天井
E P - G 塗り	ﾌﾞｰﾄﾞ面 工程B種(一般) 素地B種	8.8	m ²			壁
E P - G 塗り	ﾌﾞｰﾄﾞ面 工程B種(見上) 素地B種	221	m ²			天井
E P - G 塗り	ﾌﾞｰﾄﾞ面 工程B種(見上) 素地B種	14.8	m ²			下り天井
E P - G 塗り	けい酸加ｼﾗﾒ板面 工程B種(一般) 素地B種	6,317	m ²			壁
E P - G 塗り	ﾌﾙｸ面 工程B種(見上) 素地B種	53.1	m ²			天井
E P - G 塗り	ﾌﾙｸ面 工程B種(見上) 素地B種	16.1	m ²			下り天井
鉄鋼面 E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	工程B種 錆止工程A種 現場2回目 水系さび止め(屋内) 1回目別途	48	m			吹抜廻り先端トップ
鉄鋼面 E P - G 塗り (糸幅300mm以下)	工程B種 錆止工程A種 現場2回目 水系さび止め(屋内) 1回目別途	407	m			階段が 互手摺
鉄鋼面 E P - G 塗り	工程A種 錆止工程A種 現場2回目 塗料B種(鉛・ｸﾙﾐﾌﾞﾙ-2種) 屋内 1回目別途	19.9	m ²			
亜鉛めっき面 E P - G 塗り	鋼建面 錆止工程A種 現場2回目 水系さび止め(屋内) 1回目別途	949	m ²			鋼建面
壁 ｺﾝｸﾘｰﾄ保護塗材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 素地ごしらえ共 不燃	86.5	m ²			
天井 ｺﾝｸﾘｰﾄ保護塗材	ｺﾝｸﾘｰﾄ面 素地ごしらえ共 不燃	11.2	m ²			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			
墨出し		1	式			
養生		1	式			
整理清掃 後片付け		1	式			
地足場		1	式			
外部足場		1	式			別紙 00-0017
内部躯体足場		1	式			
内部仕上足場		1	式			
災害防止		1	式			別紙 00-0018
仮設材運搬		1	式			
防寒養生	簡易養生 (1,983㎡程度)	1	式			R9 (ラップ材基礎想定)
防寒養生	全天候型上屋 (1,983㎡程度) 基本料・組立解体・損料・運搬費含 む 設置期間110日程度	1	式			R9 (1階床・壁以上想定)
採暖養生		1	式			
仮設間仕切壁		1	式			別紙 00-0019
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			
墨出し		1	式			
養生		1	式			
整理清掃 後片付け		1	式			
地足場		1	式			
外部足場		1	式			別紙 00-0017
内部躯体足場		1	式			
内部仕上足場		1	式			
災害防止		1	式			別紙 00-0018
仮設材運搬		1	式			
防寒養生	簡易養生 (1,983㎡程度)	1	式			R9 (ラップ材基礎想定)
防寒養生	全天候型上屋 (1,983㎡程度) 基本料・組立解体・損料・運搬費含 む 設置期間110日程度	1	式			R9 (1階床・壁以上想定)
採暖養生		1	式			R9 (1階床・壁以上 想定) R10 (内外塗装)
仮設間仕切壁		1	式			別紙 00-0019
計						

屋内運動場		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	11.9	m ²			アリーナ鋼製床組内空調用仕切
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	986	m ²			添壁
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	118	m ²			間仕切
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りあり @450	6.8	m ²			ライニング
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0033
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 イサト別途	363	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225 イサト別途	267	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 3.0m以上4.5m未満 下地張りなし @225 イサト別途	17	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 イサト別途	185	m ²			
軽量鉄骨下がり天井下地	19形(屋内) H200	14.1	m			
軽量鉄骨天井 開口部補強		1	式			別紙 00-0034
天井イサト	一般用	538	m ²			
天井イサト	断熱	164	m ²			
天井イサト	鉄骨面	131	m ²			
鋼製床組	高さ350mm JISA6519規格品	1,273	m ²			
アリーナ(ステージ)下部 床下鉄骨ボードメタル	t2.3 JIS3322	2.5	m ²			
SUS見切縁	5×15	1.9	m			
くつずり	ステン製 厚さ2.0 幅40	12.3	m			
吹抜廻り先端インジ	L-90×90×7	99.2	m			
階段滑り止め	ステン製 エンド無し 幅40	140	m			

屋内運動場		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りなし @300	11.9	m ²			アリーナ鋼製床組内空調用仕切
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	986	m ²			添壁
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	118	m ²			間仕切
軽量鉄骨壁下地	90形 下地張りあり @450	6.8	m ²			ライニング
軽量鉄骨壁 開口部補強		1	式			別紙 00-0033
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @225 イサト別途	363	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 1.5m以上3.0m未満 下地張りなし @225 イサト別途	267	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) 3.0m以上4.5m未満 下地張りなし @225 イサト別途	17	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りあり @360 イサト別途	129	m ²			
軽量鉄骨下がり天井下地	19形(屋内) H200	14.1	m			
軽量鉄骨天井 開口部補強		1	式			別紙 00-0034
天井イサト	一般用	482	m ²			
天井イサト	断熱	164	m ²			
天井イサト	鉄骨面	131	m ²			
鋼製床組	高さ350mm JISA6519規格品	1,273	m ²			
アリーナ(ステージ)下部 床下鉄骨ボードメタル	t2.3 JIS3322	2.5	m ²			
SUS見切縁	5×15	1.9	m			
くつずり	ステン製 厚さ2.0 幅40	12.3	m			
吹抜廻り先端インジ	L-90×90×7	99.2	m			
階段滑り止め	ステン製 エンド無し 幅40	140	m			

屋内運動場		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
上り框	W25 厚2mm 高さ100～150mm SUS304 HL仕上げ 下地アングル含む	2.5	m			H120 1F廊下4
床点検口	屋内用 一般型充填用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵付 600角 裏面: XPS t30貼共	6	か所			
内部タップ	SUS304 幅400mm×200mm×径19mm -	129	か所			ビッド
床下換気口	- 250×1000mm (バースケット付)	8	か所			
ステンレス巾木	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 高さ100mm -	5.1	m			
ライング壁天端	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 幅150～200mm -	5.6	m			W150
SKタコ掛け	13 450mm ステンレス製 既製品 -	1	本			
SK掛フック	SUS304 既製品 3本1組 -	1	組			
階段壁付手すり	塩ビ被覆34 ブラスケット: アルミ押出型材	81.9	m			
階段手すり折曲げ加工費	塩ビ被覆 径34mm L型折曲り部加工	4	か所			
階段手すり端部	塩ビ被覆 径34mm 端部-樹脂製エンドキャップ	22	か所			
2Fホ-ル4階段床付手すり	1250 斜部 スチ-ル製EP-G塗装共	11.2	m			
2Fホ-ル4階段床付手すり	H1250 平部 スチ-ル製EP-G塗装共	10.2	m			
2Fホ-ル4上部吹抜床付手すり	H1250 平部 スチ-ル製EP-G塗装共	29.4	m			
体育準備室1スチ-ル横階段自立手摺	L(1650+1250)×H1100 スチ-ル製EP-G塗装共	1	か所			
床付け手すり	スチ-ル製EP-G塗装共L=9000程度	2	か所			体育準備室3、4
床付け手すり(キャットウォーク)	スチ-ル製EP-G塗装共 H=1.25	79	m			
点検歩廊スチ-ル手すり	H1100 スチ-ル製EP-G塗装共	27	m			
便所用手すり	SUS304 樹脂被覆 径34mm - 小便器用- W600×D550×H480mm	1	か所			
便所用手すり	SUS304 樹脂被覆 径34mm - 多目的大便器用- L600+700mm	2	か所			

屋内運動場		金属		内部		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
上り框	W25 厚2mm 高さ100～150mm SUS304 HL仕上げ 下地アングル含む	2.5	m			H120 1F廊下4
床点検口	屋内用 一般型充填用 アルミ製枠 アルミ目地 鍵付 600角 裏面: XPS t30貼共	6	か所			
内部タフ	SUS304 幅400mm×200mm×径19mm -	129	か所			ピット
床下換気口	- 250×1000mm (バースケット付)	8	か所			
ステンス巾木	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 高さ100mm -	5.1	m			
ライング壁天端	厚2.0mm SUS304 HL仕上げ 幅150～200mm -	5.6	m			W150
SKタコ掛け	13 450mm ステンス製 既製品 -	1	本			
SK掛フック	SUS304 既製品 3本1組 -	1	組			
階段壁付手すり	塩ビ被覆34 ブラスケット: アルミ押出型材	81.9	m			
階段手すり折曲げ加工費	塩ビ被覆 径34mm L型折曲り部加工	4	か所			
階段手すり端部	塩ビ被覆 径34mm 端部-樹脂製エンドキャップ	22	か所			
2Fホ-ル4階段床付手すり	H1250 斜部 アルミ製EP-G塗装共 笠木60×30×1.6、手摺支柱50×50×1.6@900、手摺子21×21×2.1@150、横棧50×30×1.6程度	11.2	m			
2Fホ-ル4階段床付手すり	H1250 平部 アルミ製EP-G塗装共 笠木60×30×1.6、手摺支柱50×50×1.6@900、手摺子21×21×2.1@150、横棧50×30×1.6程度	10.2	m			
2Fホ-ル4上部吹抜床付手すり	H1250 平部 アルミ製EP-G塗装共 笠木60×30×1.6、手摺支柱50×50×1.6@900、手摺子21×21×2.1@150、横棧50×30×1.6程度	29.4	m			
体育準備室1ス-ツ横階段自立手摺	L(1650+1250)×H1100 アルミ製EP-G塗装共 笠木60×30×2.3、手摺支柱60×30×2.3@900、横棧60×30×2.3程度	1	か所			
床付け手すり	アルミ製EP-G塗装共L=9000程度	2	か所			体育準備室3、4
床付け手すり(キャットウォーク)	アルミ製EP-G塗装共 H=1.25	79	m			
点検歩廊アルミ手すり	H1100 アルミ製EP-G塗装共	27	m			
便所用手すり	SUS304 樹脂被覆 径34mm - 小便器用- W600×D550×H480mm	1	か所			
便所用手すり	SUS304 樹脂被覆 径34mm - 多目的大便器用- L600+700mm	2	か所			

屋内運動場		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
部位別施工手間	内部	1	式			別紙 00-0031
ころばし床組	施工手間	53.2	m ²			
2Fステージ 床框	施工手間	13.5	m			
幅木	施工手間	121	m			
胴縁	施工手間	405	m ²			アリーナ下部
胴縁	施工手間	92.5	m ²			アリーナ(ステージ) 上部
胴縁	施工手間	4.8	m ²			アリーナ(ステージ) 下部
胴縁	施工手間	3.9	m ²			アリーナ(ステージ) 下部)床下
胴縁	施工手間	79.6	m ²			ステージ
胴縁	施工手間	1,130	m ²			キャットウォークA,B,D面
胴縁	施工手間	276	m ²			キャットウォークC面
壁出隅見切	施工手間	87.6	m			
壁見切り縁	施工手間	48.4	m			
壁-天井取合出隅 見切	施工手間	86.7	m			
天井下地	施工手間 吊木共	23.3	m ²			3Fキャットウォーク梁底
ステージ 上枠	施工手間	24.3	m			
ステージ 三方枠	施工手間	24.3	m			300 × 35+160 × 50
校歌板・目標板下 地	施工手間 3000 × 2000	2	か所			
額縁(窓出入口)	施工手間	308	m			APW 140 × 40
WD-201 片開き戸枠	施工手間	11	か所			

屋内運動場		木工		内部		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
部位別施工手間	内部	1	式			別紙 00-0031
ころばし床組	施工手間	53.2	m ²			
2Fステージ 床框	施工手間	13.5	m			
幅木	施工手間	121	m			
胴縁	施工手間	405	m ²			アリーナ下部
胴縁	施工手間	92.5	m ²			アリーナ(ステージ)上部
胴縁	施工手間	4.8	m ²			アリーナ(ステージ)下部
胴縁	施工手間	3.9	m ²			アリーナ(ステージ)下部)床下
胴縁	施工手間	79.6	m ²			ステージ
胴縁	施工手間	1,130	m ²			キャットウォークA,B,D面
胴縁	施工手間	276	m ²			キャットウォークC面
壁出隅見切	施工手間	87.6	m			
壁見切り縁	施工手間	48.4	m			
壁-天井取合出隅 見切	施工手間	86.7	m			
天井下地	施工手間 吊木共	79.3	m ²			3Fキャットウォーク梁底・ キャットウォーク下
ステージ 上枠	施工手間	24.3	m			
ステージ 三方枠	施工手間	24.3	m			300 × 35+160 × 50
校歌板・目標板下 地	施工手間 3000 × 2000	2	か所			
額縁(窓出入口)	施工手間	308	m			APW 140 × 40
WD-201 片開き戸枠	施工手間	11	か所			

(http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/kantoku_kensa.html)に掲載している。

5) その他の事項については、週休2日工事要領(営繕工事)によるものとする。

41 情報共有システム

(1)本工事は、工事関係者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの利用対象工事である。
(2)受注者は、本工事で利用する情報共有システムを選定し、監督職員の承諾を得ること。(本工事に係る別途工事がある場合は、同一のシステムを利用すること。)
(3)本工事で利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
システム利用者：発注者、受注者、工事監理業務受注者
(4)本工事における情報共有システムは、契約締結後、1ヶ月を目安に利用を開始すること。
(5)詳細な運用方法については、監督職員と協議すること。
(6)情報共有システムの使用にあたり、利用方法の内容を明確にした使用計画書を使用開始前に提出すること。
(7)その他の事項については、「札幌市都市局営繕工事情報共有システム実施要領」(工事着手日時点の最新版を適用)による。

42 情報共有システム選択型工事

(1)受注者は、工事関係者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図ることを目的に、情報共有システムの利用を検討すること。
(2)受注者は、情報共有システムの活用を希望する場合は、契約後、発注者へ協議を行うこと。(本工事に係る別途工事がある場合は、同一のシステムを利用すること。)
(3)詳細な運用方法については、監督職員と協議すること。
(4)情報共有システムの使用にあたり、利用方法の内容を明確にした使用計画書を使用開始前に提出すること。
(5)その他の事項については、「札幌市都市局営繕工事情報共有システム実施要領」(工事着手日時点の最新版を適用)による。

43 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用試行工事

(1)この工事は、建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事の試行対象である。
(2)建設キャリアアップシステム(CCUS)活用についての詳細は「建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」(工事着手日時点の最新版を適用)を参照すること。

44 個人情報の取扱いについて

個人情報の取扱いについては、「個人情報の取扱いに関する特記事項」によるものとする。
なお、市民の声整理表、事故報告書など、工事関係者以外の第三者の個人名・住所・連絡先が記載された書類を提出する場合は特記事項による個人情報の取扱いに該当するため、そのような事象が発生した場合は、「個人情報の取扱いに係る安全管理措置実施申出書(様式1ー1)」を提出すること。

45 現場及び技術に係る事項について

猛暑による作業不能日数
本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいます。
(1) 作業不能日数:0日間
なお、工期が4か年未満の工事で、8月を2回以上迎える場合は0日間を1日間と読み替える。
(2) 上記(1)は、環境省が公表する 北海道石狩地方 札幌地点における WBGT値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(2019年～2024年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める 行政機関の休日及び夏季休暇(3日を除く。))において、8時から17時の間にWBGT値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものを5年分を平均したものである。
(3) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する 北海道石狩地方 札幌地点における WBGT値が31以上となり、かつ受注者が 契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が(1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

2章 仮設工事

01 監督職員事務所

面積(・20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度) (2.3.1)
備品[・机()・椅子()・書棚()・製図板()・掛時計()・寒暖計()
・ゴム長靴()・雨かっぱ()・保護帽子()・懐中電灯()
・安全帯()・衣類のかけ()・消火器()・湯沸器()
・掃除具()・受注者加入電話の子機()] ()内は数量
設備[・電灯・給排水・その他()]

02 仮囲い

[鉄板製(H:3,000mm) [・現場塗装(片面) [塗装なし]]
[ガードフンス(H:1,800mm)]
[仮門([パネルゲート・クワステート] (H:4,500 mm W:5,400 mm))]

03 工事用水

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

04 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

05 工事用仮設道路

範囲は図示による
材料 (・再生クワジャラン [敷鉄板t22])

06 危険防止

・金網張 ・金網式養生柵 [防災シト(※Ⅰ類 [Ⅱ類])
・ネット状養生シト ・養生防護柵

07 安全対策

特記事項 [図示による
※手すり先行足場
(手すり先行足場を使用する場合は「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による) (2.2.4)

08 快適トイレの設置

(2.3.1)
(1) 受注者は、当該工事の現場内に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに働きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討する。
(2) 快適トイレの設置については、「快適トイレ設置試行工事要領」(工事着手日時点の最新版を適用)に基づき実施する。

09 工事標識

工事に先立ち監督職員の指示する位置に設置する。 (2.3.1)
種 別 ※Aタイプ(縦850×横1760) ・Bタイプ(縦850×横800)
表面材 : 着色カラー鉄板白色厚0.35mm、文字は黒色とする。

工事標識	工事名	工事
	工事期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日
	受注者	会社 社名()
	(発注担当)	札幌市都市局建築部建築工事課 Tel(211)2824

3章 土工事

01 排水

排水工法 () (3.2.2)
排水処理の方法 ()

02 埋戻し及び盛土

種別 (・A種 [※B種 ・C種 ・D種 ・汚泥再生材]) (3.2.3)(表 3.2.1)
C種の発生場所() 受入量(m³)

03 建設発生土の処理

※指定地へ搬出 (3.2.5)
搬出先(札幌石狩砂利(親船町))運搬距離(29.7km)
住所(石狩市親船町 25-536 他)
[構内指示の場所に運搬([堆積 ・敷均し)]

04 山留め

工 法(親杭横矢板工法) 施工範囲 (※図示による) (3.3.1)(3.3.2)
構 造(タイプ 1:横矢板 t40×H-400×400×13×21@1000・11m・頭継ぎ[-200×90×8×13.5、タイプ 2:横矢板 t50×H-350×350×12×19@1500・9m) 土質 (※図示の柱状図による)
山留め周囲の上載圧(10kN/m²) 地下水位(GL-6.7～7.2m)
山留めの撤去(※撤去する ・存置する) (3.3.3)

05 汚泥再生材の使用

(1) 本工事で使用する汚泥再生材は、1章5節に示す施設より購入する。
(2) 使用にあたり、以下の基準を満たしていることを確認し、資料を監督職員に提出する。
(7) 土壌環境基準(平成3年環境庁告示第46号)および土壌含有量調査に係る測定方法を定める件(平成15年環境省告示第19号)に適合すること。
(4) コーン指数 800kN/m²以上の強度(国土交通省省令に定める第2種処理土以上)を持つものであること(試験については処理施設で実施)。
(3) 上記により難しい場合は、監督職員と協議する。

4章 地業工事

01 試験

試験杭(※行う ・行わない) (4.2.2)
位置は図示によるほか監督職員との協議による。
本数(・最初の1本 ・ 本) 杭種(※本杭と同じ ・)
杭長(※本杭と同じ ・ m) 杭径(※本杭と同じ ・)
杭の載荷試験(・行う ・行わない) (4.2.3)
種類(・鉛直載荷 ・水平載荷)
位置、本数、載荷荷重又報告書の記載事項は図示による。
地盤の平板載荷試験(・行う ・行わない) (4.2.4)
試験方法(※段階式載荷 ・段階式繰返し載荷)
位置、載荷荷重又報告書の記載事項は図示による。

02 既製コンクリート杭及び鋼杭地業

杭種 (4.3.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.3.6)(4.4.2)(4.4.4)(4.4.5)

		区分、種類
・遠心力コンクリート杭	・PHC杭(JIS A 5373)	(・A種 ・B種 ・C種)
	・RC杭	
・鋼杭	・先端羽付回転換入鋼管杭	

杭形状等

杭長(m)	
断面寸法(mm)	
設計支持力(kN)	
本数	
先端形状	・閉塞形(平たん) ・開放形 ・半開放形 ・
継手工法	・アーク溶接 ・機械式継手

工法

・セメントミルク工法(4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ (・1.5m程度)
杭の支持地盤への根入れ深さ (・1m以上)
・建築基準法に基づく(認定)特定埋込工法(4.3.5)
(工法:)

支持地盤は図示による。 (4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)
杭の水平方向の位置ずれの精度 (4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)
(・100mm以下 ・図示による)
杭頭の処理は図示による。 (4.3.8)(4.4.6)

施工記録の管理・報告
電流値等の施工データ(アナログ式記録機械においては記録紙の原本)について、1日の作業終了時に杭施工業者よりそのコピーを受け取り、施工報告書に疑義が生じた場合には照合を行えるよう管理する。
杭毎に施工管理記録を作成し、支持層到達の判断根拠となる資料とともに、1日の施工分を翌日中に工事監理者へ報告する。
関連告示等の順守
(1) 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置について【国土交通省告示第四百六十八号(平成28年3月4日)】
(2) 基礎ぐい工事における工事監理ガイドライン【国土交通省住宅局】
(3) 既製コンクリート杭施工管理指針(一般財団法人日本建設業連合会)

03 場所打ちコンクリート杭地業

材料等 (4.5.4)
鉄筋の種類、配筋、径は図示による。
かぶり厚(mm) (・)
セメントの種類(※高炉セメント B種 ・) (4.5.4)(表 6.3.1)
スランプ(・18 cm ・)
コンクリート 設計基準強度(Fc= N/mm²)
割増(※3 N/mm² ・6 N/mm²)
種別 (・A種 ・B種) (表 4.5.1)

杭の施工法

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法(建築基準法に基づく) (4.5.6)
・拡底杭工法(建築基準法に基づく) (4.5.6)
・上記以外の工法(・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オルケーシング工法) (4.5.5)
杭の形状及び支持地盤は図示による。 (4.5.5)(4.5.6)
杭の水平方向の位置ずれの精度(・100mm以下 ・図示による) (4.5.5)
孔壁の超音波測定器による確認(・行う ・行わない) (4.5.5)

04 砂利及び砂地業

材料(・砂 ・切込砂利 ・切込砕石 [※再生クワジャラン]) (4.6.2)
厚さ([※60mm] 図示) (4.6.3)

05 捨コンクリート地業

設計基準強度(・15N/mm² ※18N/mm²) (4.6.4)(6.14.1)(6.14.2)
スランプ([15cm ・18cm])
厚さ(※50mm ・)

06 床下防湿層

材料(※ポリエチレンフィルムt0.15mm ・) 範囲は図示による。 (4.6.2)(4.6.5)

5章 鉄筋工事

01 鉄筋の種類

鉄筋の種類 (表 5.2.1)

種別 JIS G 3112	径	備考
[SD295	D 16以下	
[SD345	D 19～25	
[SD390	D 29以上	アンカー差し筋

適用箇所は図示による

02 溶接金網

溶接金網
網目の形状(※レギュラー溶接金網 ・デザイン溶接金網)

03 加工

04 継手及び定着

網目の寸法(mm) ([100×100 ・150×150]) (5.2.2)
鉄線の径(・3.2mm [6.0mm]) 規格番号 JIS G 3551

90°未満の折り曲げの内法直径(※構造特記による) (5.3.2)

継手 (5.3.4)

	適用箇所
[重ね継手	・D16以下
[ガス圧接継手(5.4節)	・D19以上
・機械式継手(5.5.2)	・
・溶接継手(5.5.3)	・

継手位置(※構造特記による ・標仕 各部配筋 参考図による)
柱及び梁の主筋の鉄筋重ね継手の長さ(※構造特記による)
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ
(※40dと表 5.3.2のうち大きい値 ・構造特記による)
鉄筋の定着長さ (※表 5.3.4による ・図示による)
機械式定着工法
・適用する
適用箇所(・図示による ・)
種類 (・図示による ・)

ガス圧接継手の抜取試験(※超音波探傷試験 ・引張試験) (5.4.10)
・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)
機械式継手及び溶接継手 (5.5.3)(5.6.3)
種類 (※図示による)
品質の確認方法 (※図示による)
継手部の試験工法(・外観試験 ・超音波探傷試験) (5.5.5)(5.6.5)
試験項目及び試験方法(※図示による)
不合格となった継手の修正方法等(※図示による)

05 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

軽量コンクリートの最小かぶり厚さは構造特記による。 (5.3.5)
特殊な継手の鉄筋間隔は構造特記による。

06 各部配筋

※構造図、構造特記仕様書による (5.3.7)
・標仕 各部配筋 参考図による(図中の【その他記載すべき事項】は図示による)

6章 コンクリート工事

01 コンクリートの種類等

コンクリートの種類(※普通コンクリート ・軽量コンクリート ・特殊コンクリート(構造特記による) ・建築基準法第37条第二号に規定されたコンクリート(構造特記による)) (6.2.1)
コンクリートの類別 (※Ⅰ類 ・Ⅱ類) (6.2.1)(表 6.2.1)
所要気乾単位容積質量
軽量コンクリート (※表 6.10.1による ・) (6.10.2)

02 コンクリートの強度及びスランプ

コンクリートの強度及びスランプ (6.2.2)(6.2.4)(表 6.2.2)

設計基準強度	スランプ(cm)	施工箇所
※ 21N/mm ²	・15 ・18	
[30N/mm ²	[15基礎・地中梁	校舎棟
[33N/mm ²	[18基礎・地中梁以外	屋内運動場棟
[24N/mm ²		渡り廊下棟
		外構は詳細図による

03 構造体コンクリートの仕上がり

合板せき板の打放し仕上げ (6.2.5)(表 6.2.4)

種 別 [A種 施工箇所 : 打ち放し仕上げ外壁、軒天
[B種 施工箇所 : 上記以外
・C種 施工箇所 :
・その他 施工箇所 :

コンクリートの仕上りの平たんさ ※表 6.2.5を標準とする

種類	適用箇所(柱・梁・壁)	適用箇所(床)
[B種	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリーアクセスフロア(置敷式)
[C種	仕上塗材塗り	カーペット張り 防水下地 セルフヘリング材塗り
[C種	セメント珪砂による陶磁器質タイル張り モルタル塗り 銅線下地	タイル張り モルタル塗り 二重床

(http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kojikansa/kantoku/kantoku_kensa.html)に掲載している。

(5) その他の事項については、週休2日工事要領(営繕工事)によるものとする。

41 情報共有システム

(1)本工事は、工事関係者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図る情報共有システムの利用対象工事である。
(2)受注者は、本工事で利用する情報共有システムを選定し、監督職員の承諾を得ること。(本工事に係る別途工事がある場合は、同一のシステムを利用すること。)
(3)本工事で利用する情報共有システムは次の要件を満たすものとする。
システム利用者：発注者、受注者、工事監理業務受注者
(4)本工事における情報共有システムは、契約締結後、1ヶ月を目安に利用を開始すること。
(5)詳細な運用方法については、監督職員と協議すること。
(6)情報共有システムの使用にあたり、利用方法の内容を明確にした使用計画書を使用開始前に提出すること。
(7)その他の事項については、「札幌市都市局営繕工事情報共有システム実施要領」(工事着手日時点の最新版を適用)による。

42 情報共有システム選択型工事

(1)受注者は、工事関係者間の情報を電子的に交換・共有することにより業務の効率化を図ることを目的に、情報共有システムの利用を検討すること。
(2)受注者は、情報共有システムの活用を希望する場合は、契約後、発注者へ協議を行うこと。(本工事に係る別途工事がある場合は、同一のシステムを利用すること。)
(3)詳細な運用方法については、監督職員と協議すること。
(4)情報共有システムの使用にあたり、利用方法の内容を明確にした使用計画書を使用開始前に提出すること。
(5)その他の事項については、「札幌市都市局営繕工事情報共有システム実施要領」(工事着手日時点の最新版を適用)による。

43 建設キャリアアップシステム(CCUS)活用試行工事

(1)この工事は、建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事の試行対象である。
(2)建設キャリアアップシステム(CCUS)活用についての詳細は「建設キャリアアップシステム(CCUS)活用工事試行要領」(工事着手日時点の最新版を適用)を参照すること。

44 個人情報の取扱いについて

個人情報の取扱いについては、「個人情報の取扱いに関する特記事項」によるものとする。
なお、市民の声整理表、事故報告書など、工事関係者以外の第三者の個人名・住所・連絡先が記載された書類を提出する場合は特記事項による個人情報の取扱いに該当するため、そのような事象が発生した場合は、「個人情報の取扱いに係る安全管理措置実施申出書(様式1ー1)」を提出すること。

45 現場及び技術に係る事項について

猛暑による作業不能日数
本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいます。
(1) 作業不能日数:0日間
なお、工期が4か年未満の工事で、8月を2回以上迎える場合は0日間を1日間と読み替える。
(2) 上記(1)は、環境省が公表する 北海道石狩地方 札幌地点における WBGT 値(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(2019年～2024年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める 行政機関の休日及び夏季休暇(3日を除く。))において、8時から17時の間に WBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したものを5年分を平均したものである。
(3) 気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する 北海道石狩地方 札幌地点における WBGT 値が31以上となり、かつ受注者が 契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下第一位を四捨五入する。))が(1)の日数から 著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

2章 仮設工事

01 監督職員事務所

面積(・20㎡程度 ・35㎡程度 ・65㎡程度 ・100㎡程度) (2.3.1)
備品[・机() ・椅子() ・書棚() ・製図板() ・掛時計() ・寒暖計() ・ゴム長靴() ・雨ガッパ() ・保護帽子() ・懐中電灯() ・安全帯() ・衣類ひか() ・消火器() ・湯沸器() ・掃除具() ・受注者加入電話の子機()] ()内は数量
設備[・電灯 ・給排水 ・その他()]

02 仮囲い

[鉄板製(H:3,000mm) [現場塗装(片面) [塗装なし]]]
[板門(H:1,800mm)]
[板門(H:4,500mm W:5,400mm)]

03 工事用水

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

04 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる(※有償 ・無償)

05 工事用仮設道路

範囲は図示による
材料 (・再生クワリヤン [敷鉄板t22])

06 危険防止

・金網張 ・金網式養生柵 [防災シート(※Ⅰ類 [Ⅱ類])]
・ネット養生シート ・養生防護柵

07 安全対策

特記事項 [図示による]
※手すり先行足場
(手すり先行足場を使用する場合は「手すり先行工法に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」による) (2.2.4)

08 快適トイレの設置

(1) 受注者は、当該工事の現場内に仮設トイレを設置する場合は、建設現場を男女ともに動きやすい職場環境へと改善することを目的に、快適トイレの設置を検討する。 (2.3.1)
(2) 快適トイレの設置については、「快適トイレ設置試行工事要領」(工事着手日時点の最新版を適用)に基づき実施する。

09 工事標識

工事に先立ち監督職員の指示する位置に設置する。 (2.3.1)
種 別 ※Aタイプ(縦850×横1760) ・Bタイプ(縦850×横800)
表面材 : 着色カラー鉄板白色厚0.35mm、文字は黒色とする。

工事標識	工事名	工事
	工事期間	令和 年 月 日～令和 年 月 日
	受注者	会社 社名()
	(発注担当)	札幌市都市局建築部建築工事課 Tel(211)2824

3章 土工事

01 排水

排水工法 () (3.2.2)
排水処理の方法 ()

02 埋戻し及び盛土

種別 (・A種 [B種] ・C種 ・D種 ・汚泥再生材) (3.2.3)(表 32.1)
C種の発生場所() 受入量(m³)

03 建設発生土の処理

※指定地へ搬出 (3.2.5)
搬出先(札幌石狩砂利(親船町)運搬距離(29.7km)
住所(石狩市親船町25-536他))
[構内指示の場所に運搬([堆積 ・敷均し])

04 山留め

工 法(親杭横矢板工法) 施工範囲 (※図示による) (3.3.1)(3.3.2)
構 造(タイプ1:横矢板t40・H-400×400×13×21@1000・11m・頭継ぎ[-200×90×8×13.5、タイプ2:横矢板t50・H-350×350×12×19@1500・9m) 土質 (※図示の柱状図による)
山留め周囲の上載圧(10kN/m²) 地下水位(GL-6.7～7.2m)
山留めの撤去(※撤去する ・存置する) (3.3.3)

05 汚泥再生材の使用

(1) 本工事で使用する汚泥再生材は、1章5節に示す施設より購入する。
(2) 使用にあたり、以下の基準を満たしていることを確認し、資料を監督職員に提出する。
(7) 土壌環境基準(平成3年環境庁告示第46号)および土壌含有量調査に係る測定方法を定める件(平成15年環境省告示第19号)に適合すること。
(4) コーン指数800kN/m²以上の強度(国土交通省省令に定める第2種処理土以上)を持つものであること(試験については処理施設で実施)。
(3) 上記により難しい場合は、監督職員と協議する。

4章 地業工事

01 試験

試験杭(※行う ・行わない) (4.2.2)
位置は図示によるほか監督職員との協議による。
本数(・最初の1本 ・ 本) 杭種(※本杭と同じ ・)
杭長(※本杭と同じ ・ m) 杭径(※本杭と同じ ・) (4.2.3)
杭の載荷試験(・行う ・行わない)
種類(・鉛直載荷 ・水平載荷)
位置、本数、載荷荷重又報告書の記載事項は図示による。
地盤の平板載荷試験(・行う ・行わない) (4.2.4)
試験方法(※段階式載荷 ・段階式繰返し載荷)
位置、載荷荷重又報告書の記載事項は図示による。

02 既製コンクリート杭及び鋼杭地業

杭種 (4.3.2)(4.3.4)(4.3.5)(4.3.6)(4.4.2)(4.4.4)(4.4.5)

		区分、種類
・遠心力コンクリート杭	・PHC杭(JIS A 5373)	(・A種 ・B種 ・C種)
	・RC杭	
・鋼杭	・先端羽付回転挿入鋼管杭	

杭形状等

杭長(m)	
断面寸法(mm)	
設計支持力(kN)	
本数	
先端形状	・閉塞形(平たん) ・開放形 ・半開放形 ・
継手工法	・アーク溶接 ・機械式継手

工法

・セメントミルク工法(4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ (・1.5m程度)
杭の支持地盤への根入れ深さ (・1m以上)
・建築基準法に基づく(認定)特定埋込工法(4.3.5)
(工法:)

支持地盤は図示による。 (4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)
杭の水平方向の位置ずれの精度 (4.3.4)(4.3.5)(4.4.4)
(・100mm以下 ・図示による)
杭頭の処理は図示による。 (4.3.8)(4.4.6)

施工記録の管理・報告
電流値等の施工データ(アナログ式記録機械においては記録紙の原本)について、1日の作業終了時に杭施工業者よりそのコピーを受け取り、施工報告書に疑義が生じた場合には照合を行えるよう管理する。
杭毎に施工管理記録を作成し、支持層到達の判断根拠となる資料とともに、1日の施工分を翌日中に工事監理者へ報告する。
関連告示等の順守
(1) 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置について【国土交通省告示第四百六十八号(平成28年3月4日)】
(2) 基礎ぐい工事における工事監理ガイドライン【国土交通省住宅局】
(3) 既製コンクリート杭施工管理指針(一般財団法人日本建設業連合会)

03 場所打ちコンクリート杭地業

材料等 (4.5.4)
鉄筋の種類、配筋、径は図示による。
かぶり厚(mm) (・)
セメントの種類(※高炉セメント B種 ・) (4.5.4)(表 6.3.1)
スランプ (・18cm ・)
コンクリート 設計基準強度(F_c= N/mm²)
割増(※3N/mm² ・6N/mm²)
種別 (・A種 ・B種) (表 4.5.1)

杭の施工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法(建築基準法に基づく) (4.5.6)
・掘削工法(建築基準法に基づく) (4.5.6)
・上記以外の工法(・アースドリル工法 ・リバース工法 ・オールケーシング工法) (4.5.5)
杭の形状及び支持地盤は図示による。 (4.5.5)(4.5.6)
杭の水平方向の位置ずれの精度(・100mm以下 ・図示による) (4.5.5)
孔壁の超音波測定器による確認(・行う ・行わない) (4.5.5)

04 砂利及び砂地業

材料(・砂 ・切込砂利 ・切込砕石 [再生クワリヤン]) (4.6.2)
厚さ([B種]60mm [図示]) (4.6.3)

05 捨コンクリート地業

設計基準強度(・15N/mm² ※18N/mm²) (4.6.4)(6.14.1)(6.14.2)
スランプ([15cm ・18cm])
厚さ(※50mm ・)

06 床下防湿層

材料(※ポリエチレンフィルムt0.15mm ・) 範囲は図示による。 (4.6.2)(4.6.5)

5章 鉄筋工事

01 鉄筋の種類

鉄筋の種類 (表 5.2.1)

種別	JIS G 3112	径	備考
[SD295]	D	16以下	
[SD345]	D	19～25	
[SD390]	D	29以上	

適用箇所は図示による

02 溶接金網

溶接金網
網目の形状(※レギュラー溶接金網 ・デザイン溶接金網)

03 加工

04 継手及び定着

網目の寸法(mm) ([100×100 ・150×150]) (5.2.2)
鉄線の径 (・3.2mm [6.0mm]) 規格番号 JIS G 3551

90°未満の折り曲げの内法直径(※構造特記による) (5.3.2)

継手 (5.3.4)

	適用箇所
[重ね継手]	・D16以下
[ガス圧接継手(5.4節)]	・D19以上
・機械式継手(5.5.2)	・
・溶接継手(5.5.3)	・

継手位置(※構造特記による ・標仕 各部配筋 参考図による)
柱及び梁の主筋の鉄筋重ね継手の長さ(※構造特記による)
耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ (※40dと表5.3.2のうち大きい値 ・構造特記による)
鉄筋の定着長さ (※表5.3.4による ・図示による)
機械式定着工法
・適用する
適用箇所(・図示による ・)
種類 (・図示による ・)
ガス圧接継手の抜取試験(※超音波探傷試験 ・引張試験) (5.4.10)
・塩害を受けるおそれのある部分、耐久性上不利な箇所 (※図示による)
機械式継手及び溶接継手 (5.5.3)(5.6.3)
種類 (※図示による)
品質の確認方法 (※図示による)
継手部の試験工法(・外観試験 ・超音波探傷試験) (5.5.5)(5.6.5)
試験項目及び試験方法(※図示による)
不合格となった継手の修正方法等(※図示による)

05 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

軽量コンクリートの最小かぶり厚さは構造特記による。 (5.3.5)
特殊な継手の鉄筋間隔は構造特記による。

06 各部配筋

※構造図、構造特記仕様書による (5.3.7)
・標仕 各部配筋 参考図による(図中の【その他記載すべき事項】は図示による)

6章 コンクリート工事

01 コンクリートの種類等

コンクリートの種類 [※普通コンクリート ・軽量コンクリート ・特殊コンクリート(構造特記による) ・建築基準法第37条第二号に規定されたコンクリート(構造特記による)] (6.2.1)
コンクリートの類別 (※Ⅰ類 ・Ⅱ類) (6.2.1)(表 6.2.1)
所要気乾単位容積質量
軽量コンクリート (※表 6.10.1による ・) (6.10.2)

02 コンクリートの強度及びスランプ

コンクリートの強度及びスランプ (6.2.2)(6.2.4)(表 6.2.2)

設計基準強度	スランプ(cm)	施工箇所
※ 21N/mm ²	・15 ・18	
[30N/mm ²]	[15基礎・地中梁]	校舎棟
[33N/mm ²]	[18基礎・地中梁以外]	屋内運動場棟
[24N/mm ²]		渡り廊下棟
		外構は詳細図による

03 構造体コンクリートの仕上がり

合板せき板の打放し仕上げ (6.2.5)(表 6.2.4)
種 別 [A種] 施工箇所 : 打ち放し仕上げ外壁、軒天
[B種] 施工箇所 : 上記以外
・C種 施工箇所 :
・その他 施工箇所 :

コンクリートの仕上りの平たんさ ※表 6.2.5を標準とする

種類	適用箇所(柱・梁・壁)	適用箇所(床)
[A種]	化粧打放しコンクリート 塗装仕上げ 壁紙張り 接着剤による陶磁器質タイル張り	合成樹脂塗床 ビニル系床材張り 床コンクリート直均し仕上げ フリアークセフロア(置敷式)
[B種]	仕上塗材塗り	カーペット張り 防水下地 セルフレベリング材塗り
[C種]	セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り モルタル塗り 銅線下地	タイル張り モルタル塗り 二重床

<p>■外部仕上表</p>	
区分・部位	仕様
<p>■ 屋上</p>	
下地・防水(屋上)	改質アスファルトシート防水ASI-T1工法（立上り部は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）表9.3.3工程3を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上）とする
金物	SUS脱気装置
機械基礎	改質アスファルト防水立上げ天端ウレタン塗膜防水（X-2）
<p>■ 庇</p>	
下地・防水（ポーチ）	改質アスファルトシート防水ASI-T1工法（立上り部は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）表9.3.3工程3を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上）とする
<p>■ 外壁</p>	
外壁1	ガルバリウム塗装鋼板t0.4 角波縦張り+透湿防水シート+GW成形板（撥水）t100+金属下地（ハット型・SPLt2.3）
外壁2	札幌軟石t20+外断熱複合板：型枠兼用断熱パネルt120（EPSt100）通気層（0～10mm）
外壁3	コンクリート打放し 防水形複層仕上塗材RE（フッ素）
外壁（腰壁）	コンクリート打放し+コンクリート保護塗材
庇(外壁)・テラス柱・ピロティ2柱	ガルバリウム塗装鋼板t0.4 角波縦張り
ピロティ1柱	磁器質タイルt10
<p>■ バルコニー</p>	
下地・防水（バルコニー）	アスファルト成形板 t 6（歩行用）+改質アスファルトシート防水AST-T1+PUF板 t 25
<p>■ 笠木・見切</p>	
笠木	アルミ既製品、アルミアングル笠木既製品
<p>■ 軒天</p>	
軒天（ポーチ・ピロティ1・テラス）	道産トドマツ羽目板t12～外部用保護塗料 構造用合板t9
軒天(ピロティ2・バルコニー・駐輪スペース)	GB-Rt12.5+FBt6～EP-G
<p>■ 床</p>	
テラス床・ポーチ・ピロティ1床・光庭	磁器質タイルt9
ピロティ2・駐輪場スペース床	コンクリート刷毛引き
<p>■ 階段</p>	
屋外避難階段	ウレタン塗膜防水（X-1）
手摺壁(階段)	コンクリート打放し 防水形複層仕上塗材RE
<p>■ 地業・ビット</p>	
ビット床	再生クラッシュランt60+捨てコンt50、コンクリート直均し
土間下	断熱材、ポリフィルムt0.15敷込、再生クラッシュランt150
<p>■ 基礎</p>	
基礎（ビット外周部）	PTX-B2塗り (GL-150から基礎下端まで)

フラットデッキ利用部分は別図：フラットデッキ伏図参照

<p>一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第387号</p> <p>株式会社 DESIGN OFFICE 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co.Ltd</p>	<p>一級建築士登録第221098号 安中 元規</p>	<p>日付</p>	<p>工事名称</p>	<p>(仮称) 藻岩・啓北商業再編新設校新築ほか工事（主体工事）</p>	<p>縮尺</p> <p>A3：S= 1：1 A1：S=A3×2</p>	<p>図面名称</p> <p>外部仕上表</p>	<p>図面番号</p> <p>A-024号</p>
---	------------------------------	-----------	-------------	--------------------------------------	--	--------------------------	---------------------------

誤

略称	
C	コンクリート
M	モルタル
CB	コンクリートブロック
LGS	軽量鉄骨下地材
ST	スチール
SUS	ステンレス
AL	アルミ
PL	プレート
L	アングル鋼
HL	ヘアライン仕上
GB-R	石こうボード
GB-S	防水石こうボード
GB-F	強化石こうボード
GB-D	化粧石こうボード
GB-NC	不燃積層石こうボード
DR	岩綿吸音板
FK	ケイ酸カルシウム板
FB	フレキシブルボード
GW	グラスウール
XPS	押出法ポリスチレンフォーム
EPS	ビーズ法ポリスチレンフォーム
EP-G	つや有合成樹脂調合エマルションペイント塗
WUC	水性ウレタンクリア塗
複層塗材SI（アクリル）	けい酸質系複層仕上塗材Si

防火認定番号等	
GB-Rt9.5	QM-9828
GB-Rt12.5	NM-8619
GB-St9.5	QM-0898
GB-St12.5	NM-9639
GB-Dt9.5	QM-0524
GB-Nct9.5	NM-1864
GB-Ft15	NM-8615
DRt9	NM-8599
FBt4	NM-8576
FKt6	NM-4971
GW吸音板（ガラスクロス貼）（32kg/m3）	NM-8606
不燃クロス	NM-0457
化粧FBt4	NM-2923
化粧FKt6	NM-4487
EP-G	NM-8585
複層塗材SI（アクリル）	NM-8573
メラミン不燃化粧板t3	NM-2183
改質アスファルトシート防水外断熱工法（ASI-T1工法）	飛び火認定品 DR-0894
コンクリート保護塗材（不燃）	NM-5421
防カビ塗料（準不燃）	QM-9816
防カビ塗料（不燃）	NM-8585
EXP.J金物（耐火帯25mm仕様）	EAJ-防災-3022
FK t 8	NM-8578

土工事

地質調査により根切り土に埋設廃棄物混入の可能性あり。発見の場合は監督員に報告のうえ、分別し、処分士・埋設廃棄物を適切に処分すること。

地業工事

・土間部分のポーチ・階段などは床下防湿層としてポリエチレンフィルム t0.15を敷設すること。

コンクリート工事

・仕上げコンクリートの増し打ち厚さは、外部 20mm、内部10mm

・打放し面の出隅は面取り

・打放し仕上げのパネル割り、コーン位置等は監督員の承諾を得ること。

・作業用ビット内床進入口（ダメ穴）を設ける場合は監督員の承諾の上、床配筋、床開口補強を行い、同強度のコンクリートで埋めること。強度補正も適切に行うこと。

・水平長さ3m超えるコンクリート打放しの壁には化粧目地を設けること。間隔は 3m以内とする。（図示参照）

・外部設備機器置き場天端床、内部機械基礎床はコンクリート直均し仕上げ。

・基礎間の距離が近く、一体打ちとなる場合はフィルムもしくは発泡系断熱材を挟むことで基礎を分離させること。

鉄骨工事

・錆止め塗装の範囲は鉄骨全面とする。塗装しない部分は標準仕様書 7.8.2を準用すること。

断熱材工事

・XPS：3種b 熱伝導率0.028（W/mk）以下

・EPS：特号 熱伝導率0.034（W/mk）以下

・GW成形板（撥水）32K：熱伝導率0.035（W/mk）以下

・外断熱に使うGWは撥水タイプとする。

・現場発泡PUF(ウレタン)：A種1 ノンフロロ 熱伝導率0.034（W/mk）以下

・硬質ウレタンボード：2種1号 熱伝導率 0.023（W/mk）以下

・熱橋の断熱補強幅は450とする。

防水工事

・PTXは自閉樹脂塗膜防水材料、セメント系薄塗り仕上げとする。

・基礎梁と1Fスラブ打継ぎ外周部、水槽・ます底盤と立上部分は止水板 水膨張型 10×20を設置。止水板の選定について監督員の承諾を得ること。

・水槽・ます底盤と立上部分の止水板設置部分の外周部以外には幅 300でPTX-B2を施工すること。

・釜場・外壁側開口部まわり：PTX-B2とする。

・消火水槽・EVビットの床・壁：PTX-B2とする。

・雨水枡の床・壁：PTX-B2、汚水枡の床・壁：PTX-B4Aとする。

・PTXはビーリング防止の為、仕上材とならないものはマスキング不要

・設備基礎：ウレタン塗膜防水（X-2）

・SUS流し台と壁との隙間処理はシール SR-1 10× 10 建築工事で施工

・RC打ち放し保護塗材面の化粧目地シーリングはPS-2 20×10とし、保護塗材施工後にシーリング工事(バックアップ材含む)を行うこと。

木工事

・特記なき集成材はナラ材とする

・生徒の手の触れる造作材は面取もしくはR加工とする（建具工事・木工事共通）

・木工事の「道産」は産地および加工工場共に北海道内とする

金属工事

・間仕切、壁下地、天井下地は軽量鉄骨とし、特記なき場合間仕切壁のスタッドは 65mm、片面仕上のスタッドは50mm

・マンホールは耐荷重T-2 600φ防水・防臭、鍵付

・南京錠はすべて学校備品とする

・ステンレス表面仕上はHL優先すること

・避難はしごは二重天井用とすること

左官工事

床下地のモルタル金ごては勾配の無く、平滑に仕上げる場合は流動化混和液を使った施工とすること。

内装工事

・ビニル床シートの継目処理は溶接とする

・ビニル床タイル、シートはノンワックス仕様とする

・GW吸音板t25はガラスクロス貼断熱ビニ留

・ビット内通気管はFG梁上部にVP管100φ2ヶ所設置、下部連通管はVP管100φ半割りを2ヶ所設置

・化粧FBt4、化粧FKt6は3×8板はジョイナー張りとする

・直貼りフローリングは地域材、クッション(合成樹脂発泡シート)付直貼工法とし、外周取り合い部分は変成シリコンシーリング 10×10とする

・シナ合板t4、t5.5、有孔シナベニヤt5.5は目透、目地テープ入とする

・床木下地 90*45@900、アンカーボルトt9φ

・外部建具の詰めモルタルは防水材入りとし、発泡ウレタンを充填すること

・OA用ビニル床タイルは、帯電防止ホモジニアス床タイルとする

・視覚障害者用点字ブロック300角 ポーチ:磁器質タイル EV前・階段:ビニル床タイル 黄色とする。

・アリーナフローリングt18はナラフローリング（1等）貼t18は特殊工法、接着併用とする

・揭示板用クロス下地シナ合板t5.5、床下地合板は構造用合板(2種)t=12

・GB-D、GB-NCはホルムアルデヒド吸収分解タイプとする

・積層壁材:厚12 幅215 長1800 表面材天然ひき板3mm(地域材) 基材耐水合板9mm(地域材) 縁加工 四方本実加工 仕上げUVセミック塗装 カバ材 壁専用/釘打ちタイプ

塗装工事

・コートラインは一液型ポリウレタン樹脂塗料環境対応型とする

・防カビ塗装は、水性アクリル樹脂エマルション系仕上塗材 同等品以上

・外部コンクリート保護塗材はコンクリート打放し保護工法、水性ふっ素樹脂、超耐久性、低汚染機能とする。

・内部のコンクリート保護塗材は不燃認定品とする。

・防水形複層塗材の上塗材はふっ素。耐用年数カタログ値 20年のものを採用すること。

外構工事

・カープミラー撤去時は監督員を経て、教育委員会に占有許可取り消し手続き(北海道開発局)を依頼し、手続きが終わったうえで撤去すること。

その他

・床点検口は鍵を付け、裏にはXPSt30貼りのこと

・郵便ポストはポストぐち独立タイプ、大量の郵便物が収納、厚板ステンレス、鍵付、本体サイズ w390×H650×D300程度とする。

・揭示板の枠はアルミ枠、揭示クロス張り、シナ合板t5.5とする。手の触れるコーナーの部分は鋭利にならないように処理をすること。

・飛散防止シートは不燃認定品（NM-2017同等品）を使用すること。

・ベビーキープは平面タイプ、コーナータイプとし、外観樹脂製、折りたたみ式とする。

・ベビーシートはおむつ交換台とし、外観樹脂製、折りたたみ式、ベルト付きとする。

・主要構造部(壁・柱・床・梁・屋根・階段)は鉄筋コンクリート造であるため、それぞれ耐火構造の技術的基準(建築告示 1399号)に適合している。

・消火器ボックス ステンレス箱型はSUS304、ヘアライン、235×175×600程度とする。

・竹スノコは既製品、晒竹すのこ、φ 18程度とする。

・電気炉は既製品、電気式置炉、396mm角、高さ203mm、五徳、W数切替スイッチ、交流100V、コンセント式程度とする。

・炉線は既製品、(大きさ)424mm×(線の巾)36mm×(高さ)67mm×(面)9mm、ウレタン塗装程度とする。

・設備用壁補強下地の位置については別途工事と打ち合わせの上、設置位置を確認をすること。

・切り下げ申請は北海道開発局札幌開発建設部札幌道路事務所に行うこと。

・フラットデッキ(床型枠用鋼製デッキプレート)は垂鉛めっき Z12、厚さ1.2mm、高さ75mm程度、幅630mm程度、躯体へののみ込み代は10mm程度とする。施工計画の際は躯体伏図にフラットデッキ使用部分を明記し、別途工事施工者、監理者、監督員と調整し承認を受けること。

区分・部位		仕様

■ 屋上	
下地・防水(屋上)	改質アスファルトシート防水ASI-T1工法（立上り部は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）表9.3.3工程3を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上）とする
金物	SUS脱気装置
機械基礎	改質アスファルト防水立上げ天端ウレタン塗膜防水（X-2）

■ 庇	
下地・防水（ポーチ）	改質アスファルトシート防水ASI-T1工法（立上り部は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）表9.3.3工程3を改質アスファルトシート（非露出複層防水用R種2.5mm以上）とする

■ 外壁	
外壁1	ガルバリウム塗装鋼板t0.4 角波縦張り+透湿防水シート+GW成形板（撥水）t100+金属下地（ハット型・SPLt2.3）
外壁2	札幌軟石t20+外断熱複合板：型枠兼用断熱パネルt120（EPSt100）通気層（0～10mm）
外壁3	コンクリート打放し 防水形複層仕上塗材RE（フッ素）
外壁（腰壁）	コンクリート打放し+コンクリート保護塗材
庇(外壁)・テラス柱・ピロティ2柱	ガルバリウム塗装鋼板t0.4 角波縦張り
ピロティ1柱	磁器質タイルt10

■ バルコニー	
下地・防水（バルコニー）	アスファルト成形板 t 6（歩行用）+改質アスファルトシート防水AST-T1+PUF板 t 25

■ 笠木・見切	
笠木	アルミ既製品、アルミアングル笠木既製品

■ 軒天	
軒天（ポーチ・ピロティ1・テラス）	道産トドマツ羽目板t12～外部用保護塗料 構造用合板t9
軒天(ピロティ2・バルコニー・駐輪スペース)	GB-Rt12.5+FBt6～EP-G

■ 床	
テラス床・ポーチ・ピロティ1床・光庭	磁器質タイルt9
ピロティ2・駐輪場スペース床	コンクリート刷毛引き

■ 階段	
屋外避難階段	ウレタン塗膜防水（X-1）
手摺壁(階段)	コンクリート打放し 防水形複層仕上塗材RE

■ 地業・ビット	
ビット床	再生クラッシュランt60+捨てコt50、コンクリート直均し
土間下	断熱材、ポリフィルムt0.15敷込、再生クラッシュランt150

■ 基礎	
基礎（ビット外周部）	PTX-B2塗り （地盤面-150から基礎下端まで）

フラットデッキ利用部分は別図：フラットデッキ伏図参照

略称	
C	コンクリート
M	モルタル
CB	コンクリートブロック
LGS	軽量鉄骨下地材
ST	スチール
SUS	ステンレス
AL	アルミ
PL	プレート
L	アングル鋼
HL	ヘアライン仕上
GB-R	石こうボード
GB-S	防水石こうボード
GB-F	強化石こうボード
GB-D	化粧石こうボード
GB-NC	不燃積層石こうボード
DR	岩綿吸音板
FK	ケイ酸カルシウム板
FB	フレキシブルボード
GW	グラスウール
XPS	押出法ポリスチレンフォーム
EPS	ビーズ法ポリスチレンフォーム
EP-G	つや有合成樹脂調合エマルションペイント塗
WUC	水性ウレタンクリア塗
複層塗材SI（アクリル）	けい酸質系複層仕上塗材Si

防火認定番号等	
GB-Rt9.5	QM-9828
GB-Rt12.5	NM-8619
GB-St9.5	QM-0898
GB-St12.5	NM-9639
GB-Dt9.5	QM-0524
GB-Nct9.5	NM-1864
GB-Ft15	NM-8615
DRt9	NM-8599
FBt4	NM-8576
FKt6	NM-4971
GW吸音板（ガラスクロス貼）（32kg/m3）	NM-8606
不燃クロス	NM-0457
化粧FBt4	NM-2923
化粧FKt6	NM-4487
EP-G	NM-8585
複層塗材SI（アクリル）	NM-8573
メラミン不燃化粧板t3	NM-2183
改質アスファルトシート防水外断熱工法（ASI-T1工法）	飛び火認定品 DR-0894
コンクリート保護塗材（不燃）	NM-5421
防カビ塗料（準不燃）	QM-9816
防カビ塗料（不燃）	NM-8585
EXP.J金物（耐火帯25mm仕様）	EAJ-防災-3022
FK t 8	NM-8578

正

土工事

地質調査により根切り土に埋設廃棄物混入の可能性あり。発見の場合は監督員に報告のうえ、分別し、処分士・埋設廃棄物を適切に処分すること。

地業工事

・土間部分のポーチ・階段などは床下防湿層としてポリエチレンフィルム t0.15を敷設すること。

コンクリート工事

・仕上げコンクリートの増し打ち厚さは、外部 20mm、内部10mm

・打放し面の出隅は面取り

・打放し仕上げのパネル割り、コーン位置等は監督員の承諾を得ること。

・作業用ビット内床進入口（ダメ穴）を設ける場合は監督員の承諾の上、床配筋、床開口補強を行い、同強度のコンクリートで埋めること。強度補正も適切に行うこと。

・水平長さ3m超えるコンクリート打放しの壁には化粧目地を設けること。間隔は 3m以内とする。（図示参照）

・外部設備機器置き場天端床、内部機械基礎床はコンクリート直均し仕上げ。

・基礎間の距離が近く、一体打ちとなる場合はフィルムもしくは発泡系断熱材を挟むことで基礎を分離させること。

鉄骨工事

・錆止め塗装の範囲は鉄骨全面とする。塗装しない部分は標準仕様書 7.8.2を準用すること。

断熱材工事

・XPS：3種b 熱伝導率0.028（W/mk）以下

・EPS：特号 熱伝導率0.034（W/mk）以下

・GW成形板（撥水）32K：熱伝導率0.035（W/mk）以下

・外断熱に使うGWは撥水タイプとする。

・現場発泡PUF(ウレタン)：A種1 ノンフロロ 熱伝導率0.034（W/mk）以下

・硬質ウレタンボード：2種1号 熱伝導率 0.023（W/mk）以下

・熱橋の断熱補強幅は450とする。

防水工事

・PTXは自閉樹脂塗膜防水材料、セメント系薄塗り仕上げとする。

・基礎梁と1Fスラブ打継ぎ外周部、水槽・ます底盤と立上部分は止水板 水膨張型 10×20を設置。止水板の選定について監督員の承諾を得ること。

・水槽・ます底盤と立上部分の止水板設置部分の外周部以外には幅 300でPTX-B2を施工すること。

・釜場・外壁側開口部まわり：PTX-B2とする。

・消火水槽・EVビットの床・壁：PTX-B2とする。

・雨水枡の床・壁：PTX-B2、汚水枡の床・壁：PTX-B4Aとする。

・PTXはビーリング防止の為、仕上材とならないものはマスキング不要

・設備基礎：ウレタン塗膜防水（X-2）

・SUS流し台と壁との隙間処理はシール SR-1 10× 10 建築工事で施工

・RC打ち放し保護塗材面の化粧目地シーリングはPS-2 20×10とし、保護塗材施工後にシーリング工事(バックアップ材含む)を行うこと。

木工事

・特記なき集成材はナラ材とする

・生徒の手の触れる造作材は面取もしくはR加工とする（建具工事・木工事共通）

・木工事の「道産」は産地および加工工場共に北海道内とする

金属工事

・間仕切、壁下地、天井下地は軽量鉄骨とし、特記なき場合間仕切壁のスタッドは 65mm、片面仕上のスタッドは50mm

・マンホールは耐荷重T-2 600φ防水・防臭、鍵付

・南京錠はすべて学校備品とする

・ステンレス表面仕上はHL優先すること

・避難はしごは二重天井用とすること

左官工事

床下地のモルタル金ごては勾配の無く、平滑に仕上げる場合は流動化混和液を使った施工とすること。

内装工事

・ビニル床シートの継目処理は溶接とする

・ビニル床タイル、シートはノンワックス仕様とする

・GW吸音板t25はガラスクロス貼断熱ビニ留

・ビット内通気管はFG梁上部にVP管100φ2ヶ所設置、下部連通管はVP管100φ半割りを2ヶ所設置

・化粧FBt4、化粧FKt6は3×8板はジョイナー張りとする

・直貼りフローリングは地域材、クッション(合成樹脂発泡シート)付直貼工法とし、外周取り合い部分は変成シリコンシーリング 10×10とする

・シナ合板t4、t5.5、有孔シナベニヤt5.5は目透、目地テープ入とする

・床木下地 90*45@900、アンカーボルトt9φ

・外部建具の詰めモルタルは防水材入りとし、発泡ウレタンを充填すること

・OA用ビニル床タイルは、帯電防止ホモジニアス床タイルとする

・視覚障害者用点字ブロック300角 ポーチ：磁器質タイル EV前・階段：ビニル床タイル 黄色とする。

・アリーナフローリングt18はナラフローリング（1等）貼t18は特殊工法、接着併用とする

・揭示板用クロス下地シナ合板t5.5、床下地合板は構造用合板(2種)t=12

・GB-D、GB-NCはホルムアルデヒド吸収分解タイプとする

・積層壁材：厚12 幅215 長1800 表面材天然ひき板3mm(地域材) 基材耐水合板9mm(地域材) 縁加工 四方本実加工 仕上げUVセミック塗装 カバ材 壁専用/釘打ちタイプ

塗装工事

・コートラインは一液型ポリウレタン樹脂塗料環境対応型とする

・防カビ塗装は、水性アクリル樹脂エマルション系仕上塗材 同等品以上

・外部コンクリート保護塗材はコンクリート打放し保護工法、水性ふっ素樹脂、超耐久性、低汚染機能とする。

・内部のコンクリート保護塗材は不燃認定品とする。

・防水形複層塗材の上塗材はふっ素。耐用年数カタログ値 20年のものを採用すること。

外構工事

・カープミラー撤去時は監督員を経て、教育委員会に占有許可取り消し手続き（北海道開発局）を依頼し、手続きが終わったうえで撤去すること。

その他

・床点検口は鍵を付け、裏にはXPSt30貼りのこと

・郵便ポストはポストぐち独立タイプ、大量の郵便物が収納、厚板ステンレス、鍵付、本体サイズ w390×H650×D300程度とする。

・揭示板の枠はアルミ枠、揭示クロス張り、シナ合板t5.5とする。手の触れるコーナーの部分は鋭利にならないように処理をすること。

・飛散防止シートは不燃認定品（NM-2017同等品）を使用すること。

・ベビーキープは平面タイプ、コーナータイプとし、外観樹脂製、折りたたみ式とする。

・ベビーシートはおむつ交換台とし、外観樹脂製、折りたたみ式、ベルト付きとする。

・主要構造部（壁・柱・床・梁・屋根・階段）は鉄筋コンクリート造であるため、それぞれ耐火構造の技術的基準（建築告示 1399号）に適合している。

・消火器ボックス ステンレス箱型はSUS304、ヘアーライン、235×175×600程度とする。

・竹スノコは既製品、晒竹すのこ、φ 18程度とする。

・電気炉は既製品、電気式置炉、396mm角、高さ203mm、五徳、W数切替スイッチ、交流100V、コンセント式程度とする。

・炉線は既製品、（大きさ）424mm×（線の中）36mm×（高さ）67mm×（面）9mm、ウレタン塗装程度とする。

・設備用壁補強下地の位置については別途工事と打ち合わせの上、設置位置を確認をすること。

・切り下げ申請は北海道開発局札幌開発建設部札幌道路事務所に行うこと。

・フラットデッキ(床型枠用鋼製デッキプレート)は垂鉛めっき Z12、厚さ1.2mm、高さ75mm程度、幅630mm程度、躯体へののみ込み代は10mm程度とする。施工計画の際は躯体伏図にフラットデッキ使用部分を明記し、別途工事施工者、監理者、監督員と調整し承認を受けること。

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="font-size: 8px;"> 一級建築士事務所 北海道知事登録（石）第387号 株式会社 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co.Ltd </div> <div> 一級建築士登録第221098号 安中 元規 </div> </div>		日付	工事名称	(仮称) 藻岩・啓北商業再編新設校新築ほか工事（主体工事）	縮尺	図面名称	図面番号
					A3：S= 1：1 A1：S=A3×2	外部仕上表	A-024号



室名	SL	FL	床		幅木		壁		廻り縁	天井		CH	
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上 (表層材等)		下地	仕上		
教材室8	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (耐荷重・耐摩耗)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS GB-Rt9.5 - - - - - - -	DRT9.0 -	2700
屋内運動場1階													
雨天練習場	-400	-400	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	人工芝	-	-	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	コンクリート保護塗材 (不燃)	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	防かび塗装 (不燃)	直天
部活用物品庫1~11	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt12.5 Fkt6 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	LGS - - - - - - - -	GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
ホール3、廊下4	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - モルタル木こてt21 - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調) 磁器質タイル150角t9.0	ビニル巾木 SUS巾木	-	100 100	LGS GB-Rt12.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS - - コンクリート打放し - -	GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) EP-G	2450 2700
駐輪スペース、ピロティ2	-670~-520	-660~-510	コンクリート刷毛引き - - - - - - - -	-	-	-	-	金物下地 (ハット型・SPLt2.3) - - コンクリート打放し - - - - -	ガラーガルバリウム塗装銅板t0.4 コンクリート保護塗材	塩ビ	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	2300
機械室2	±0	±0	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	防塵塗床 (水性エポキシ系・防滑)	防塵塗床 (水性エポキシ系・防滑)	-	100	コンクリート打放し - - - - - - - -	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え)	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え)	直天
EPS3	-30	-30	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	-	-	-	-	LGS GB-Ft15 GB-Ft15 LGS GB-Rt12.5 - - - -	-	-	フラットデッキ表し - - - - - - - -	-	直天
生徒便所3・SK	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスアップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6	塩ビ	LGS GW24kg t100 - - - - - - -	GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
屋内運動場2階													
アリーナ	-350	±0	鋼製床組 構造用合板t12 - - - - - - -	フローリング特殊張りt18~水性ウレタンクリアー塗り	木製巾木~WUC	-	100	木下地 積層壁材t12 - GW24kt50 木下地 有孔シナ合板t5.5 (カンレイシヤ裏貼) ※木下地はA236号図による - -	- WUC	-	コンクリート打放し - - LGS GB-Rt9.5 Fbt6.0	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え)、防かび塗装 準不燃) EP-G	直天、2450
ステージ	+880	+1000	根太45×45@300大引90×45@900 (アンカー9φ@1200) 構造用合板t12 - - - - - - -	フローリング特殊張りt18~水性ウレタンクリアー塗り	木製巾木~WUC	-	100	木下地 (クテ45×45@455、ココ45×18@455) 積層壁材t12 - - - - - - -	-	塩ビ	LGS - - - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	5000 5700 6500
体育準備室1・2	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS - - コンクリート打放し - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) EP-G	2650 2975
演台収納庫	+880	+1000	根太受90×45@900 (アンカー9φ@200) 構造用合板t12 - - - - - - -	フローリング特殊張りt18~水性ウレタンクリアー塗り	木製巾木~WUC	-	100	LGS GB-Rt12.5 FK t6.0 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS - - - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2025
器具庫2・3	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS - - - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
物入1~13、機器収納	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	EP-G	直天
ホール4	-1170,-30	-1200,±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt12.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS GB-Rt12.5 - LGS - -	DRT9.0 GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	3520 5700
物入 (階段5・6横)	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	EP-G	直天
屋内運動場3階													
体育準備室3・4	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G	塩ビ	LGS - - - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2400
キャットウォーク	-30	±0	モルタル金こてt28~48 - - - - - - - -	ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	GW24kt50 木下地 (クテ45×45@455、ココ45×18@455) 有孔シナ合板t5.5 (カンレイシヤ裏貼)	WUC	塩ビ	コンクリート打放し - - コンクリート打放し - -	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え) 防かび塗料 (準不燃)	直天

※壁下地の「耐火間仕切壁」、「耐火間仕切壁・遮音壁」については平面詳細図、法規チェック図3~4を確認すること

一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第387号 株式会社 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co.,Ltd	一級建築士登録第221098号 安中 元規	日付	工事名称 (仮称) 藻岩・啓北商業再編新設校新築ほか工事 (主体工事)	縮尺 A3 : S= A1 : S=A3×2	図面名称 内部仕上表4	図面番号 A-028号
---	-----------------------	----	--	------------------------------	----------------	----------------

室名	SL	FL	床		幅木		壁			天井		CH
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上 (表層材等)	廻り縁	下地	仕上	
教材室8	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (耐荷重・耐摩耗)	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS GB-Rt9.5 - - - - -	DRT9.0 -	2700
屋内運動場1階												
雨天練習場	-400	-400	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	人工芝 -	-	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	コンクリート保護塗材 (不燃) -	-	コンクリート打放し - - - - - -	防かび塗装 (不燃) -	直天
部活用物品庫1~11	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0 -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt12.5 Fkt6 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G -	塩ビ -	LGS - - - - - -	GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) -	2700
ホール3、廊下4	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - モルタル木こてt21 - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調) 磁器質タイル150角t9.0 -	ビニル巾木 SUS巾木 -	100 100	LGS GB-Rt12.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS - - コンクリート打放し - - -	GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) EP-G	2450 2700
駐輪スペース、ピロティ2	-670~- -520	-660~- -510	コンクリート刷毛引き - - - - - - - -	-	-	-	金物下地 (ハット型・SPLt2.3) - - コンクリート打放し - - - - -	ガラーガルバリウム塗装銅板t0.4 コンクリート保護塗材 -	塩ビ -	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - -	EP-G -	2300
機械室2	±0	±0	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	防塵塗床 (水性エポキシ系・防滑) -	防塵塗床 (水性エポキシ系・防滑) -	100	コンクリート打放し - - - - - - - -	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え) -	-	コンクリート打放し - - - - - -	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え) -	直天
EPS3	-30	-30	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	-	-	-	LGS GB-Ft15 GB-Ft15 LGS GB-Rt12.5 - - - -	-	-	フラットデッキ表し - - - - - -	-	直天
生徒便所3・SK	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスアップ床シートt2.0 -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ -	LGS GW24kg t100 - - - - -	GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) -	2250
屋内運動場2階												
アリーナ	-350	±0	鋼製床組 構造用合板t12 - - - - - - -	フローリング特殊張りt18~水性ウレタンクリアー塗り -	木製巾木~WUC -	100	木下地 積層壁材t12 - GW24kt50 木下地 有孔シナ合板t5.5 (カンレイシヤ裏貼) ※木下地はA236号図による - -	- WUC -	-	コンクリート打放し - - 木下地 GB-Rt9.5 FBt6.0	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え)、防かび塗装 準不燃) EP-G	直天、2450
ステージ	+880	+1000	根太45×45@300大引90×45@900 (アンカー9φ@1200) 構造用合板t12 - - - - - - -	フローリング特殊張りt18~水性ウレタンクリアー塗り -	木製巾木~WUC -	100	木下地 (クテ45×45@455、ヨコ45×18@455) 積層壁材t12 - - - - - - -	- - -	塩ビ -	LGS - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) -	5000 5700 6500
体育準備室1・2	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調) -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS - - コンクリート打放し - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) EP-G	2650 2975
演台収納庫	+880	+1000	根太受90×45@900 (アンカー9φ@200) 構造用合板t12 - - - - - - -	フローリング特殊張りt18~水性ウレタンクリアー塗り -	木製巾木~WUC -	100	LGS GB-Rt12.5 FK t6.0 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) -	2025
器具庫2・3	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0 -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) -	2700
物入1~13、機器収納	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0 -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G -	-	コンクリート打放し - - - - - -	EP-G -	直天
ホール4	-1170、- -30	-1200、±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調) -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt12.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS GB-Rt12.5 - LGS - - -	DRT9.0 GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	3520 5700
物入 (階段5・6横)	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調) -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G -	-	コンクリート打放し - - - - - -	EP-G -	直天
屋内運動場3階												
体育準備室3・4	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調) -	ビニル巾木 -	100	LGS GB-Rt9.5 Fkt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ -	LGS - - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型) -	2400
キャットウォーク	-30	±0	モルタル金こてt28~48 - - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 -	ビニル巾木 -	100	GW24kt50 木下地 (クテ45×45@455、ヨコ45×18@455) 有孔シナ合板t5.5 (カンレイシヤ裏貼) - - - - - -	WUC -	塩ビ -	コンクリート打放し - - コンクリート打放し - - -	GW吸音板32kt25 (ガラスクロス押え) 防かび塗料 (準不燃)	直天

※壁下地の「耐火間仕切壁」、「耐火間仕切壁・遮音壁」については平面詳細図、法規チェック図3~4を確認すること



室名	SL	FL	床		幅木		壁		廻り縁	天井		CH	
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上 (表層材等)		下地	仕上		
共通													
講義室	-30	±0	モルタル金こてt18 (流動化混和液入) - - - - - - -	直貼フローリングt12 (フォームクッション付き)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
講義室(可動間仕切)	-30	±0	モルタル金こてt18 (流動化混和液入) - - - - - - -	直貼フローリングt12 (フォームクッション付き)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
小教室1~4	±0	-30	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
ラウンジ(ロッカースペース)	-30	±0	モルタル金こてt18 (流動化混和液入) - - - - - - -	直貼フローリングt12 (フォームクッション付き)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 LGS GB-Rt9.5 - - - -	EP-G メラミン不燃化粧板t3(木目)	塩ビ	LGS GB-Rt9.5 - - - -	DRt9.0	2700
ホール5・6・7	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500 2700
廊下5~10	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500
生徒便所・SK(※3以外)	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスアップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
多目的便所1	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスアップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
水飲1・3・4・5	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスアップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2200 2500 2700
オールジェンダー便所	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	ビニルクロス -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250 2500
EV	-1200	-1200	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	自閉樹脂塗膜防水 (B-2程度)	-	-	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	-	-	フラットデッキ表し - - - - -	-	直天
階段1・3	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	階段ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt12.5 FK t8 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	コンクリート打放し - - LGS - -	EP-G GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500 3000 直天
階段2	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	階段ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FK t8 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	コンクリート打放し - - LGS - -	EP-G GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500 3000 直天
階段4	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	階段ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt12.5 FK t8 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	コンクリート打放し - - - - -	EP-G -	-
備品庫1~3	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	ノスアップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
EPS※EPS3は含めず	-30	-30	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	-	-	-	-	LGS GB-Ft15 GB-Ft15 LGS GB-Rt9.5 - LGS表し - コンクリート打放し	-	-	フラットデッキ表し - - - - -	-	直天

※階段1、3は屋内避難階段

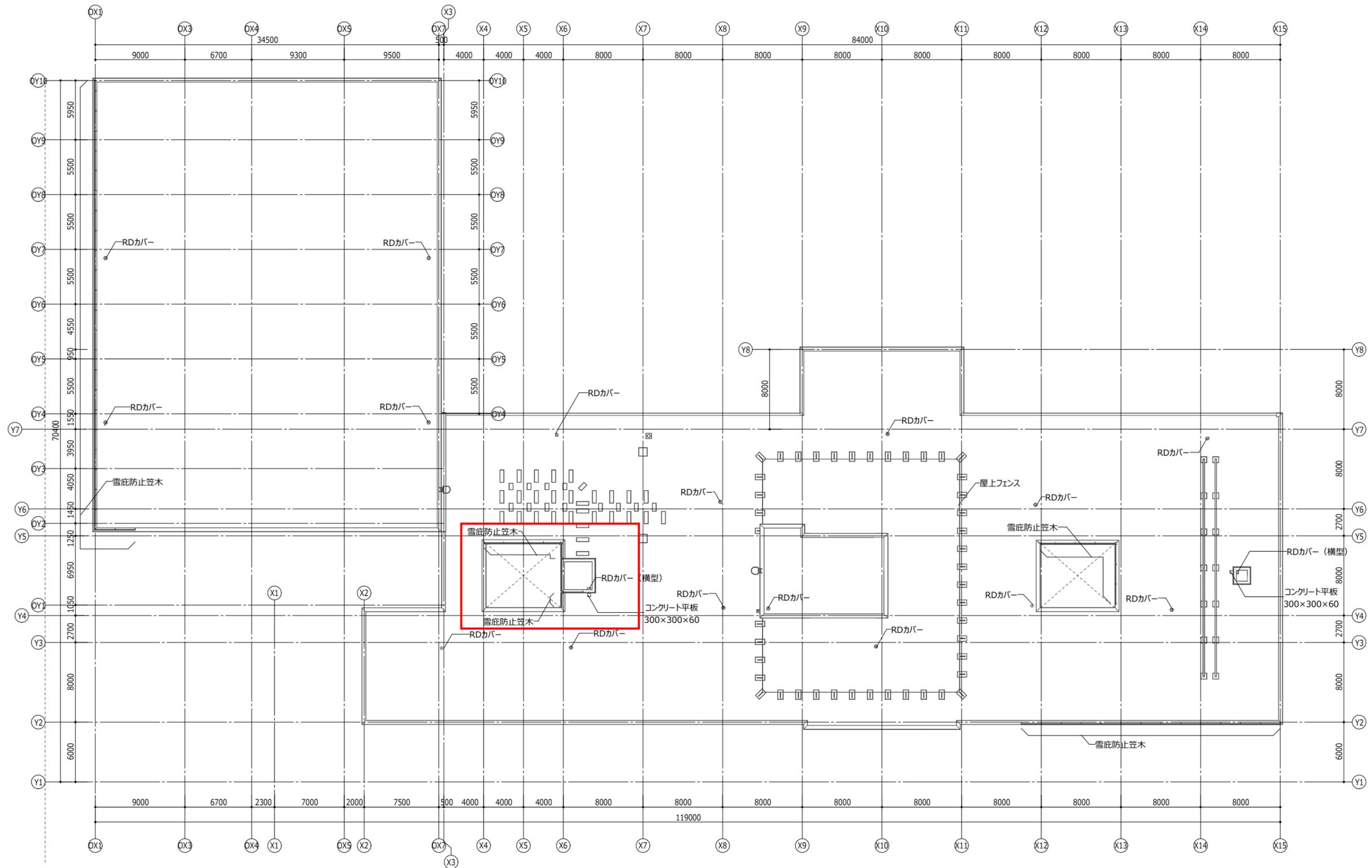
※壁下地の「耐火間仕切壁」、「耐火間仕切壁・遮音壁」については平面詳細図、法規チェック図3~4を確認すること

正

室名	SL	FL	床		幅木		壁		廻り縁	天井		CH	
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上 (表層材等)		下地	仕上		
共通													
講義室	-30	±0	モルタル金こてt18 (流動化混和液入) - - - - - - -	直貼フローリングt12 (フォームクッション付き)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
講義室(可動間仕切)	-30	±0	モルタル金こてt18 (流動化混和液入) - - - - - - -	直貼フローリングt12 (フォームクッション付き)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
小教室1~4	±0	-30	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2700
ラウンジ(ロッカースペース)	-30	±0	モルタル金こてt18 (流動化混和液入) - - - - - - -	直貼フローリングt12 (フォームクッション付き)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 LGS GB-Rt9.5 - - - -	EP-G メラミン不燃化粧板t3(木目)	塩ビ	LGS GB-Rt9.5 - - - -	DRt9.0	2700
ホール5・6・7	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500 2700
廊下5~10	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0 (木目調)	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FKt6 - - - - - -	EP-G -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500
生徒便所・SK(※3以外)	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスリップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
多目的便所1	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスリップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
水飲1・3・4・5	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ノスリップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2200 2500 2700
オールジェンダー便所	-30	±0	モルタル金こてt28 (流動化混和液入) - - - - - - -	ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	ビニルクロス -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250 2500
EV	-1200	-1200	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	自閉樹脂塗膜防水 (B-2程度)	-	-	-	コンクリート打放し - - - - - - - -	-	-	フラットデッキ表し - - - - -	-	直天
階段1・3	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	階段ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt12.5 FK t8 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	コンクリート打放し - - LGS - -	EP-G GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500 3000 直天
階段2	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	階段ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt9.5 FK t8 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	コンクリート打放し - - LGS - -	EP-G GB-Nct9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2500 3000 直天
階段4	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	階段ビニル床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-Rt12.5 FK t8 コンクリート打放し - - - - -	EP-G EP-G	塩ビ	コンクリート打放し - - - - -	EP-G	-
備品庫1~3	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	ノスリップ床シートt2.0	ビニル巾木	-	100	LGS GB-St12.5 - - - - - - -	化粧FK t6 -	塩ビ	LGS - - - - -	GB-Dt9.5 (ホルムアルデヒド吸収分解型)	2250
EPS※EPS3は含めず	-30	-30	コンクリート金こて押え - - - - - - - -	-	-	-	-	LGS GB-Ft15 GB-Ft15 LGS GB-Rt9.5 - LGS表し - コンクリート打放し	-	-	フラットデッキ表し - - - - -	-	直天
階段下物入(階段1・2・3)	-30	±0	モルタル金こてt28 - - - - - - - -	ビニル床タイルt2.0	ビニル巾木	-	100	コンクリート打放し - - LGS GB-Ft15 GB-Ft15 - - -	EP-G -	-	コンクリート打放し - - - - -	EP-G	直天

※階段1、3は屋内避難階段

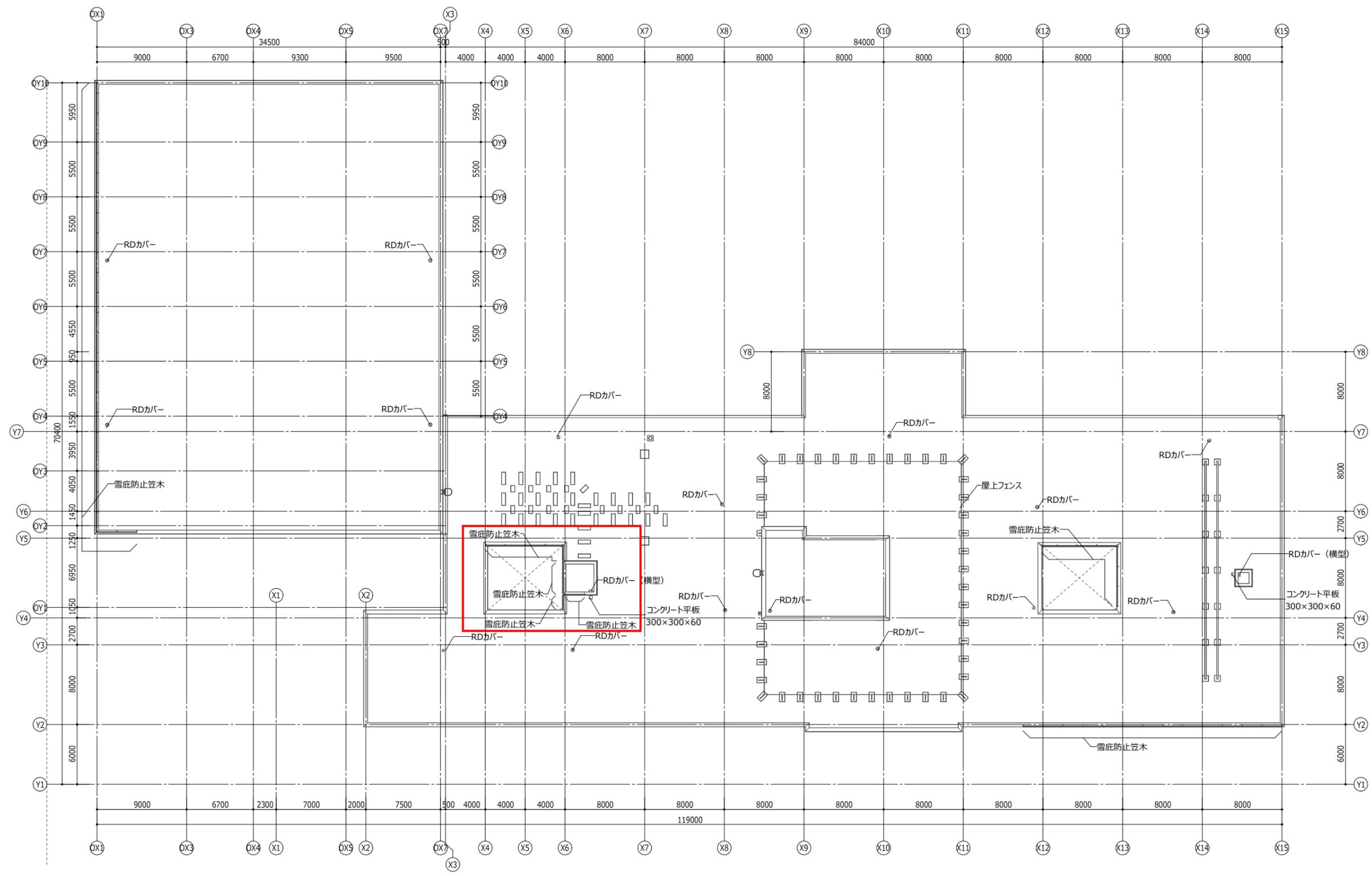
※壁下地の「耐火間仕切壁」、「耐火間仕切壁・遮音壁」については平面詳細図、法規チェック図3~4を確認すること



平面図PH階 1 : 400

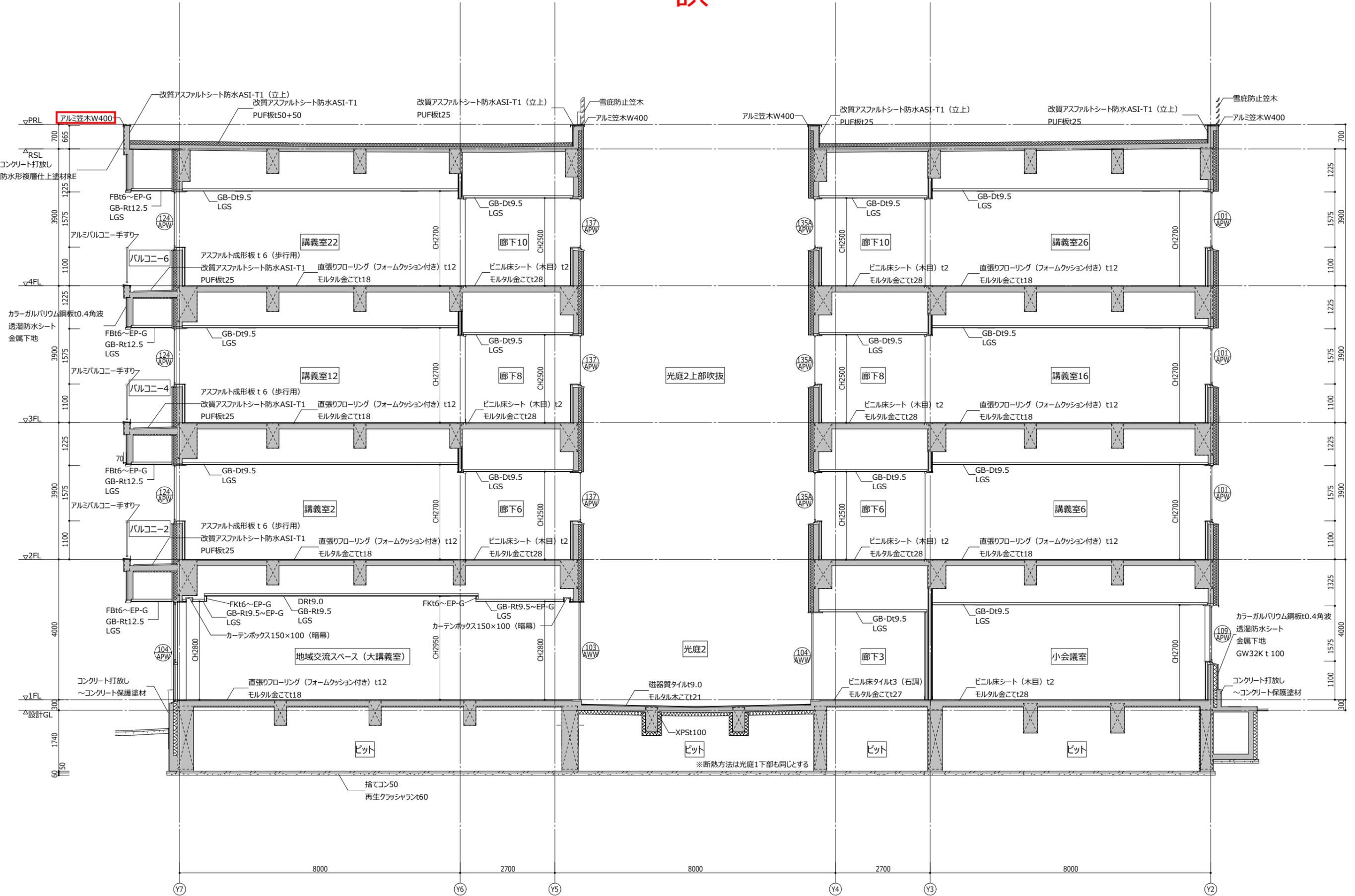
高さに算入しない塔屋部分

室名	算式	面積
ハト小屋1	3.0000 x 3.0000	9.0000 m ²
ハト小屋2	1.3000 x 1.3000	1.6900 m ²
階段2-ハイスାଇドライト	12.3500 x 8.0000	98.8000 m ²
		109.4900 m ²
判定	(建築面積) 6219.18m ² * 1/8 = 777.80m ² > 109.490m ² 上記より、非算入	



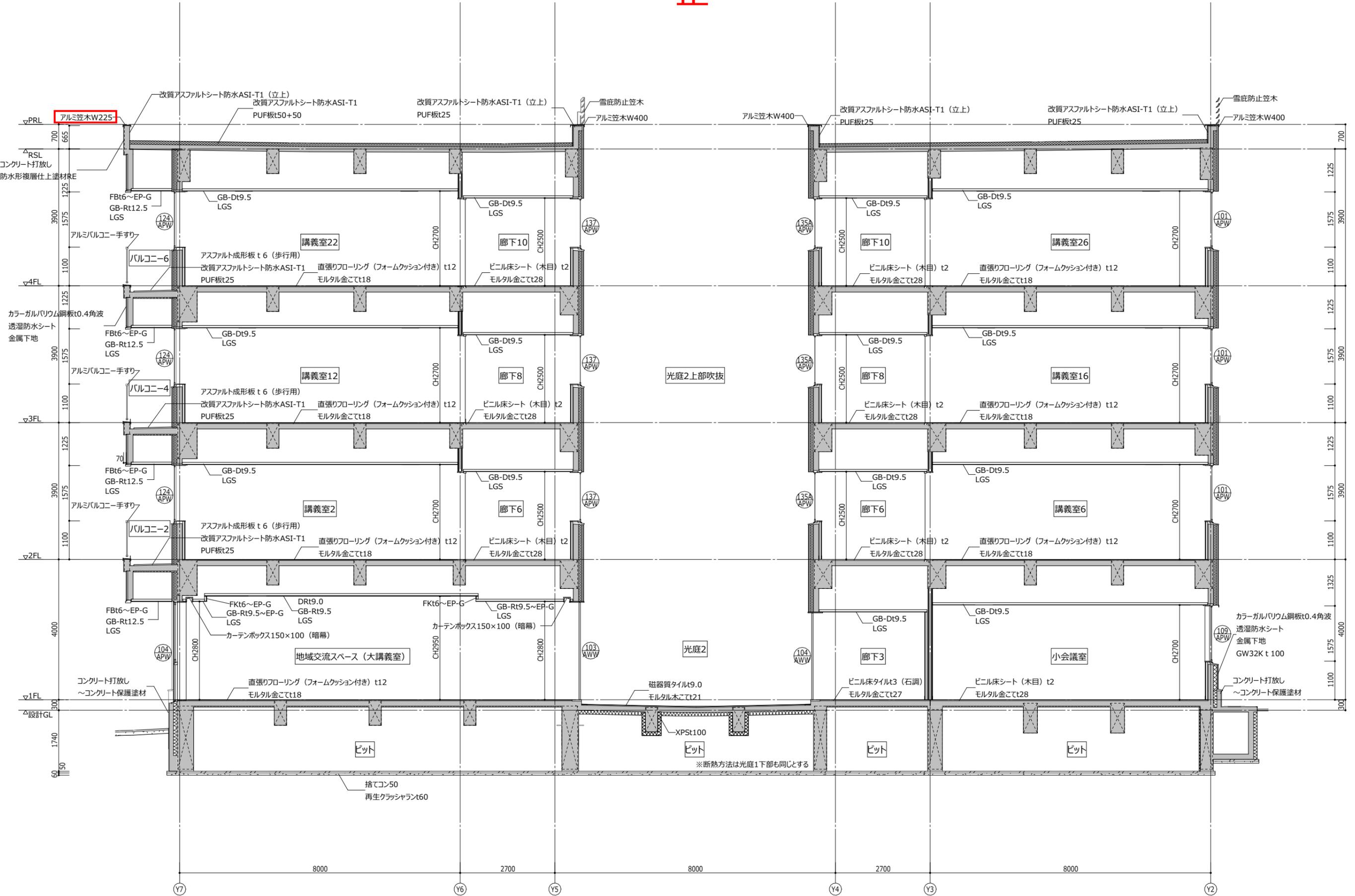
平面図PH階 1 : 400

高さに算入しない塔屋部分		
室名	算式	面積
ハト小屋1	3.0000 x 3.0000	9.000 m ²
ハト小屋2	1.3000 x 1.3000	1.690 m ²
階段2-ハイスାଇドライト	12.3500 x 8.0000	98.800 m ²
		109.490 m ²
判定	(建築面積) 6219.18m ² * 1/8 = 777.80m ² > 109.490m ² 上記より、非算入	



X12-X13断面詳細図

一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第387号 株式会社 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co.Ltd	一級建築士登録第221098号 安中 元規	日付	工事名称 (仮称) 藻岩・啓北商業再編新設校新築ほか工事 (主体工事)	縮尺 A3 : S = 1 : 100 A1 : S = A3 × 2	図面名称 断面詳細図4	図面番号 A-044号
--	-----------------------	----	--	---	----------------	----------------

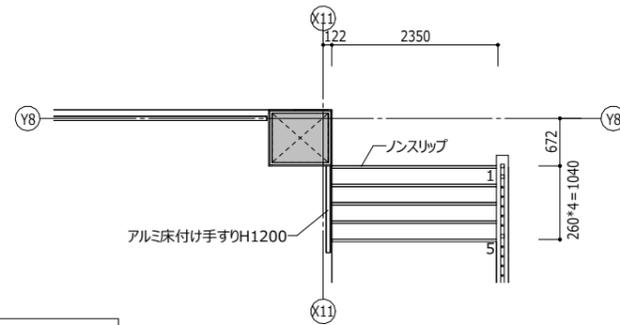


X12-X13断面詳細図

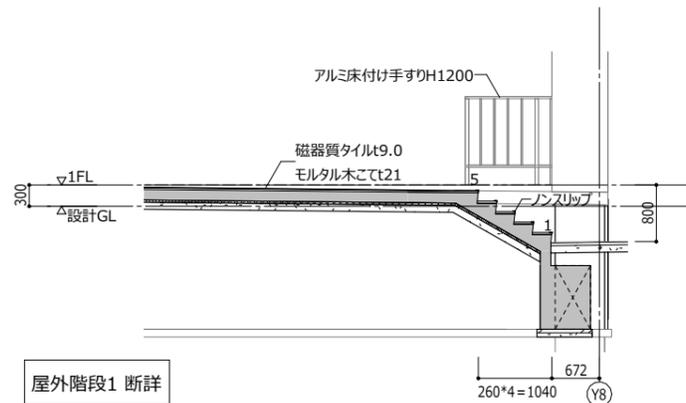


X7-X8断面詳細図

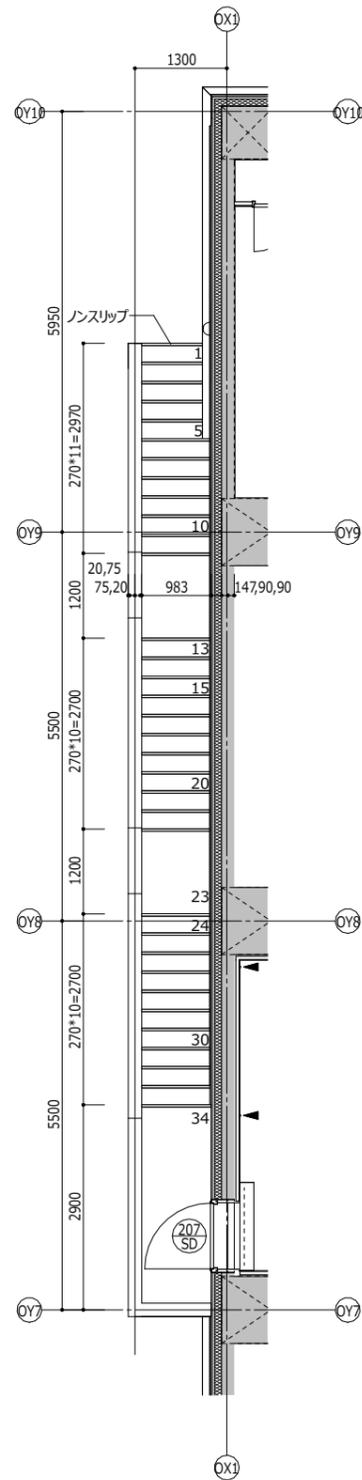
一級建築士事務所 北海道知事登録(石)第387号 西村建築設計事務所 Nishimura Architecture office Co.Ltd	一級建築士登録第221098号 安中 元規	日付	工事名称 (仮称) 藻岩・啓北商業再編新設校新築ほか工事(主体工事)	縮尺 A3 : S = 1 : 100 A1 : S = A3 × 2	図面名称 断面詳細図5	図面番号 A-045号
---	-----------------------	----	---------------------------------------	---	----------------	----------------



屋外階段1 平詳

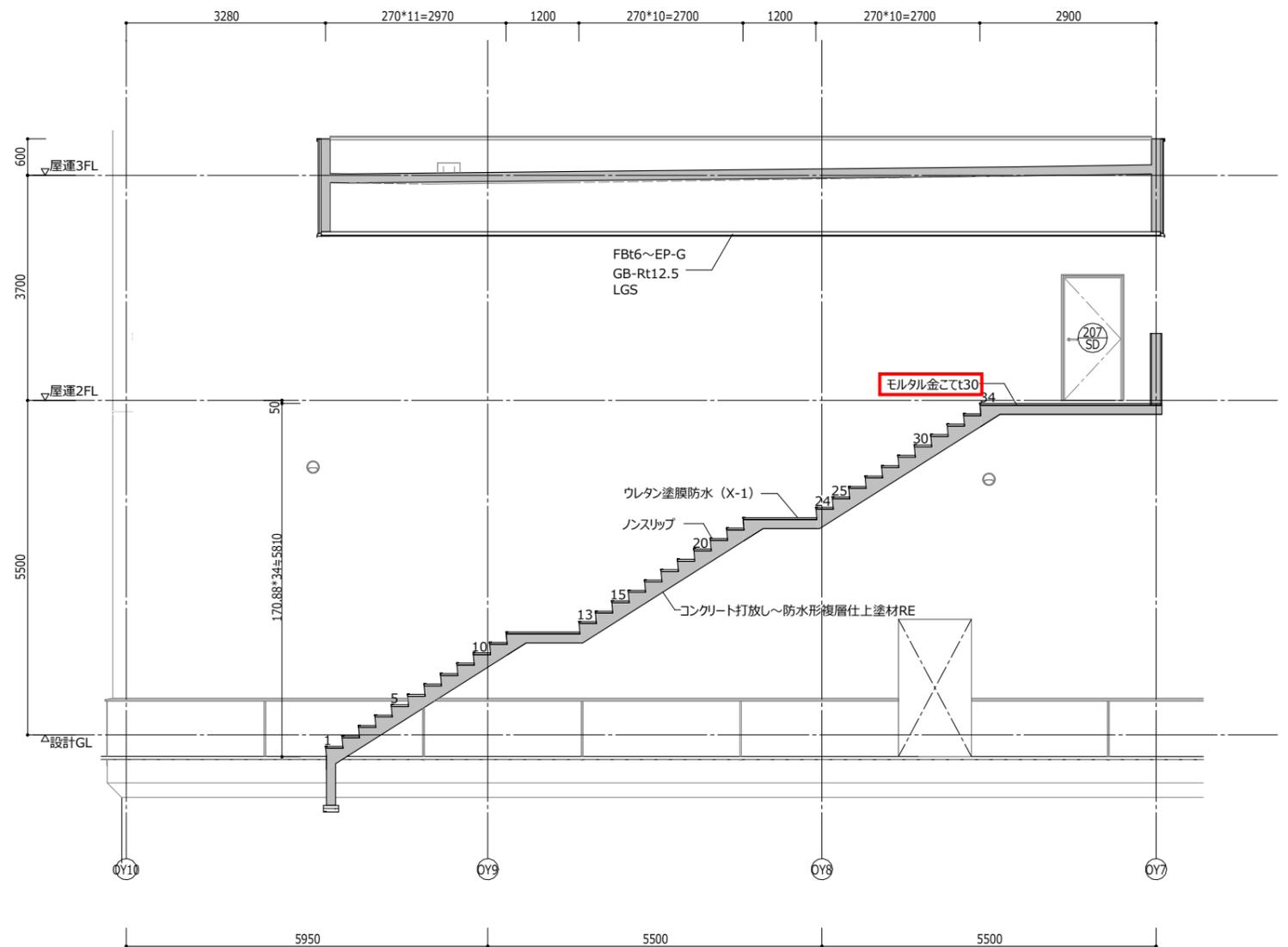


屋外階段1 断詳

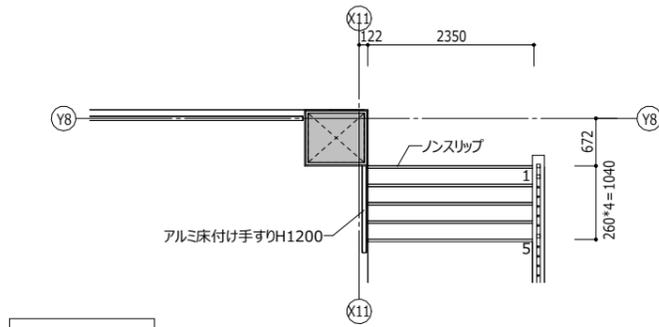


屋外階段2 平詳

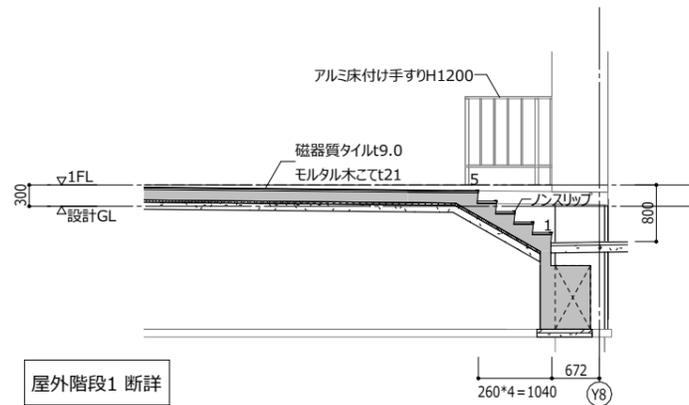
※生徒は通常利用しない



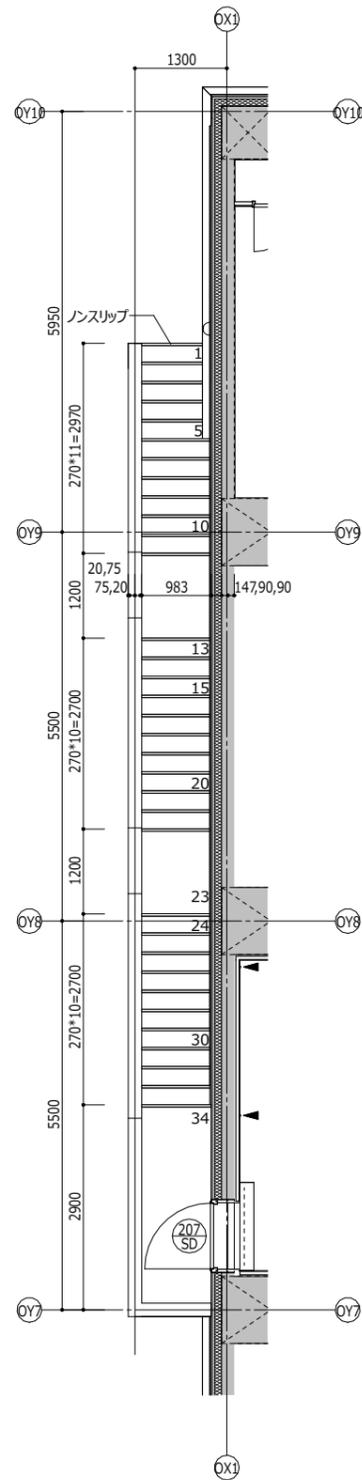
屋外階段2 断詳



屋外階段1 平詳

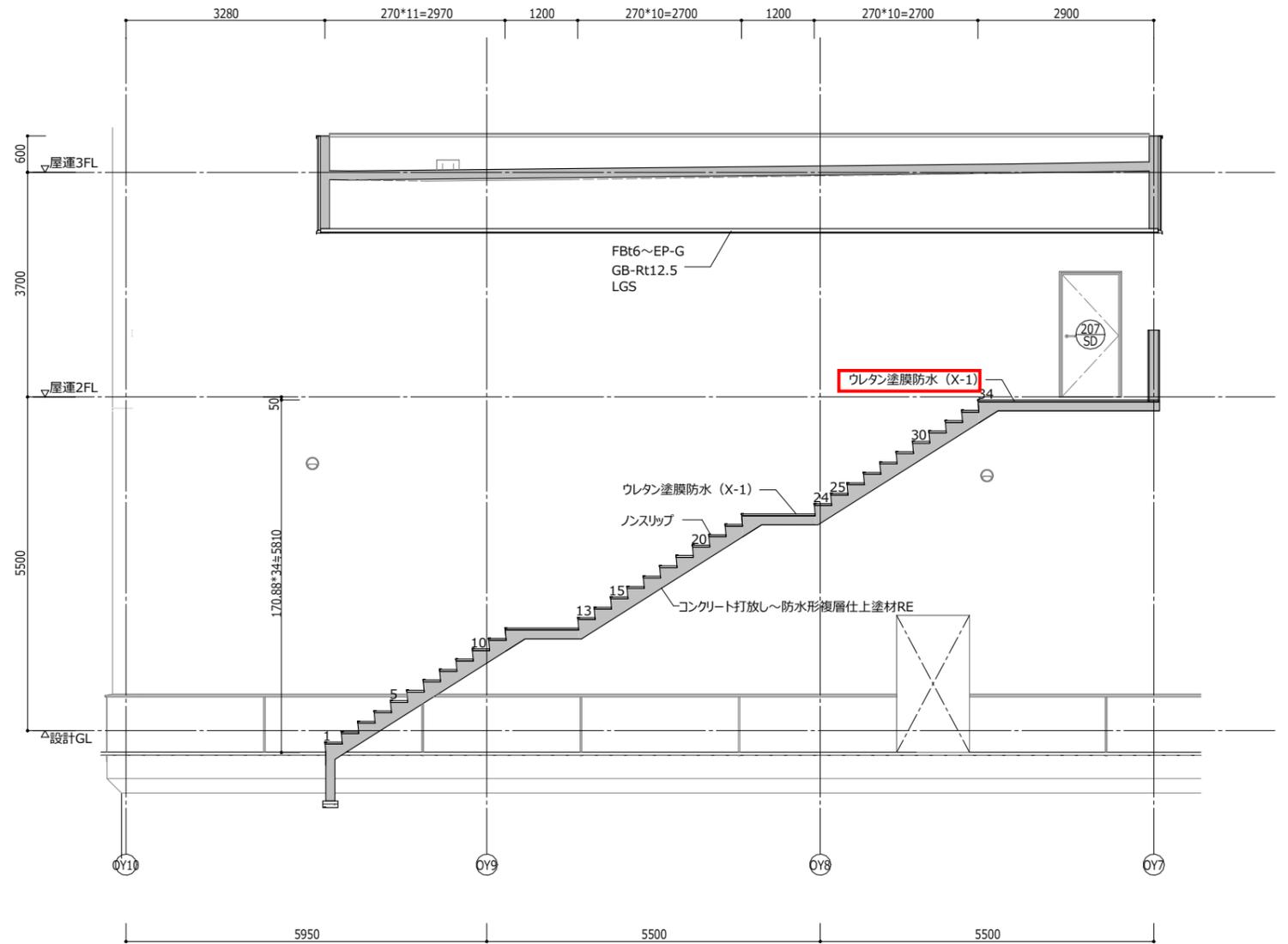


屋外階段1 断詳



屋外階段2 平詳

※生徒は通常利用しない



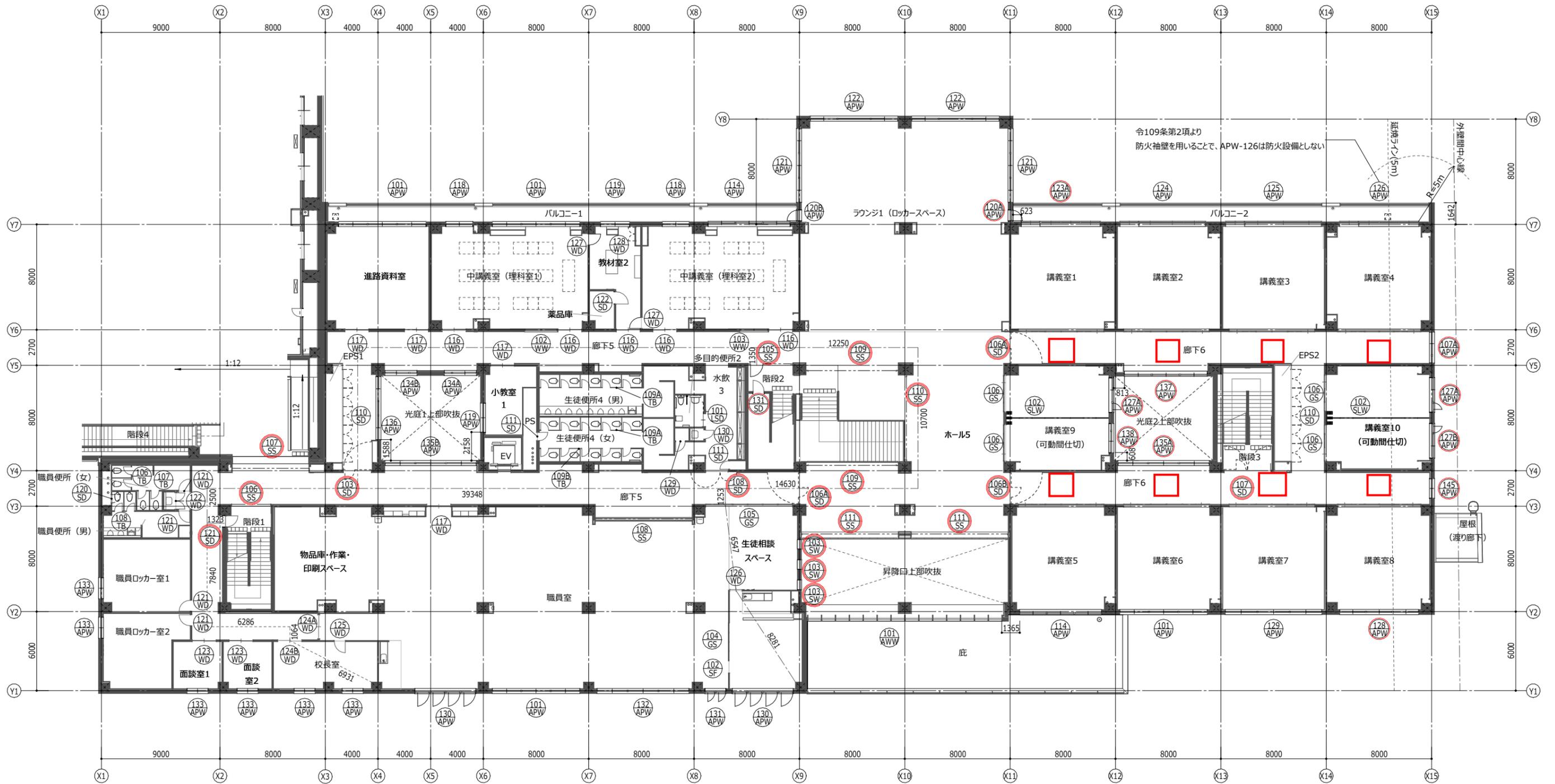
屋外階段2 断詳

建具特記事項 (SD・LSD・AD・AW・APW)	建具の種類と符号		記号	姿	図	記号	姿	図	T-5' 断面 1:2																
	<ol style="list-style-type: none"> 特記なき限り枠見込は、AW 70mm、AD 100mm、SD 100mm、APW 100mmとする。 金物は全て見本品を提出の上、監督職員の承認を得ること。 鋼製建具は、(内部) 錆止めC種 JASS18 M-111 工場1回、現場1回、EP-G 2回とする。 (外部) 錆止めB種 JASS18 M-109 工場1回、DP 2回とする。 鋼製建具両開き戸には、定規線をつける。ただし防火戸を除く。 出入口戸引手高は900mmとし、レバーハンドルとする。 鋼製建具フラッシュ鋼板は、PL-1.6mmとする。 シンダー本締錠、本締付モノロックは、木製建具を含め、マスターキーを用意する。 昇降口、講義室の錠は室名毎に木製建具を含め、同一錠とする(ただし学校と協議の上決定すること)。 丁番については、ピボットヒンジでもよいが、外部に面する鋼製建具、アルミ製建具の丁番は旗丁番を使用する。 欠番 外部に面する鋼製建具、アルミ製建具のフラッシュ部分及び枠は、レレタン充填もしくはガラスウール充填とする。 ステンレスはSUS304ヘアライン仕上とする。 皿板は、特殊皿板とし、95mm、又は140mmとする。 AD引違い戸の錠はトリガー装置(戸が正規の位置で締まっている時のみロックが可能となる装置)付とする。AD引違い戸のサムターンの有無については、現場指示とする。又、外部に面するAD引違い戸には、建具下部開き止め防止用パッキン(硬質樹脂材)を取付ける。 エアタイトのゴム質は、ネオプレンゴムとする。 アルミ製フラッシュ戸のドア厚は30mmとし、表面材はパターンシートを使用する。 昇降口の外側アルミ製引戸のL(錠)は「両側ロック」とするが、連続する引戸のうち管理上、主になる一ヶ所については、「内サムターン、外ロック」を使用すること。なお、BS(バックセット)はいずれも925mmとする。 昇降口は1箇所は電子錠、他はスクールオートロック付とする。(電子錠は建具までの配線は電気工事、錠は建築工事) ※電気錠操作盤、電気錠開錠スイッチは建築工事とし、配線は電気工事とする。 昇降口のアルミ製引戸には、召合せ部分にはゴムクッション付通し物戸当を設ける。(グラウンド出入口含む) 昇降口の内外アルミ製引戸の連続する引戸には、引戸用ドアチェックを設ける。 SSのガイドレールの小口は、鋭利にならないようにすること。 アルミパネルの表面処理の種別は、B-1種とする。 2階以上の庇、開放しない屋上に面する窓のクレセントは、鍵付とする。 複層ガラスは日射取得型とし、中空層はアルゴンガスとする。 引戸の開口は特記なき限り有効寸法800mm、引き残り110mmを確保し、枠に戸当りを設置する事。 昇降口建具のガラス部分には室内側に飛散防止フィルムを貼ること。 AWWは内部側木材質は北海道産カラマツ集成材とする。 外部建具に使用する飛散防止フィルムはPET製窓ガラスフィルムとし、多積層以外で基材圧が100µm以下のものとする。 	<table border="1"> <tr><td>AW</td><td>アルミ製窓</td></tr> <tr><td>AL</td><td>アルミ製面格子</td></tr> <tr><td>AD</td><td>アルミ製扉</td></tr> <tr><td>SD</td><td>スチール製窓</td></tr> <tr><td>SS</td><td>スチール製シャッター</td></tr> <tr><td>AWW</td><td>アルミ・木複合窓</td></tr> <tr><td>APW</td><td>アルミ・樹脂複合窓</td></tr> <tr><td>TB</td><td>トレブース</td></tr> </table>	AW	アルミ製窓	AL	アルミ製面格子	AD	アルミ製扉		SD	スチール製窓	SS	スチール製シャッター	AWW	アルミ・木複合窓	APW	アルミ・樹脂複合窓	TB	トレブース	T-1		T-4		T-1A	
AW	アルミ製窓																								
AL	アルミ製面格子																								
AD	アルミ製扉																								
SD	スチール製窓																								
SS	スチール製シャッター																								
AWW	アルミ・木複合窓																								
APW	アルミ・樹脂複合窓																								
TB	トレブース																								
T-2		T-4'		T-2A		T-3		T-5																	
T-3'		T-5'		沓摺タイプ別一覧 1:5		T-3	沓摺詳細 1:2		フラッシュ戸ツメ付 参考図 1:2																

木製建具特記事項	WD戸当り詳細図 1:5			開き戸沓摺詳細図 1:2	便所沓摺詳細図 1:2	WD引戸レール詳細図 1:2
<ol style="list-style-type: none"> 建具は全て現場実測寸法とする。 特記なき限りドア見込みは36mm、欄間見込みは30mmとする。 特記なき限り戸当り(床用、巾木用)は全てのWDに付くものとする。(位置は現場指示) 金物は全て見本品を提出の上、監督職員の承認を得ること。 特記なき限りフラッシュ戸の表貼はシナ合板 t 4 T-2両面貼とする。 窓並びに枠材は、極力、道産材を使用すること。 「EP-G」塗装は2回仕上とする。 建具(窓)及び押縁留めは、丸面とする。 レール取付は柱又は枠取付端部約10mm離れとし、両端15mm内外押え、中間の止め付けは使用するレールの釘穴による。レールの釘はレールの材質に応じた市販品とする。 建具の押縁留めは数バテなじみバテをし、硝子釘止めとする。 出入口引手高は900とする。 シンダー本締錠、本締付モノロックは金属建具を含めてマスターキーを用意する。 建具部材寸法は仕上寸法とする。 同一室の保管庫、棚類は一本のキーで施錠、解錠出来るようにすること。 床用戸当りの取り付けは、アンカーボルト止めとする。 廊下に面する建具は、硝子面積を拡大し、教室・廊下間の可視化に努める。 特記なき限り建具の有効開口寸法は、片引き・引き違いともゴム戸当たりをつけた状態で、w800mm、引き残り50mmを確保すること。 新築・改築の開き扉はレバーハンドルを使用する。 施錠の必要性がある教室(特別教室等)には欄間にも錠をつける。 室内に設置する欄間のガラスは、フロート t 3とする。 特記がない場合便所・用務員室は、型板ガラスとする。 沓摺はステンレス製とする。 特記無き限り、フラッシュ戸とする。 屋内運動場アリーナ側から見える木製フラッシュ戸はアリーナ側を積層壁材t12とする。 						

建具特記事項 (SD・LSD・AD・AW・APW)	建具の種類と符号	記号	姿 図		記号	姿 図		T-5' 断面 1:2
			記号	姿 図		記号	姿 図	
1. 特記なき限り枠見込は、AW 70mm、AD 100mm、SD 100mm、APW 100mmとする。 2. 金物は全て見本品を提出の上、監督職員の承認を得ること。 3. 鋼製建具は、(内部) 錆止めC種 JASS18 M-111 工場1回、現場1回、EP-G 2回とする。 (外部) 錆止めB種 JASS18 M-109 工場1回、DP 2回とする。 4. 鋼製建具両開き戸には、定規線をつける。ただし防火戸を除く。 5. 出入口戸引手高は900mmとし、レバーハンドルとする。 6. 鋼製建具フラッシュ鋼板は、PL-1.6mmとする。 7. シリンダー本締錠、本締付モノロックは、木製建具を含め、マスターキーを用意する。 8. 昇降口、講義室の錠は室名毎に木製建具を含め、同一錠とする(ただし学校と協議の上決定すること)。 9. 丁番については、ビスボルトヒンジでもよいが、外部に面する鋼製建具、アルミ製建具の丁番は旗丁番を使用する。 10. 欠番 11. 外部に面する鋼製建具、アルミ製建具のフラッシュ部分及び枠は、 特記なき限り ウレタン充填もしくはグラスウール充填とする。 12. ステンレスはSUS304ヘアライン仕上とする。 13. 皿板は、特殊皿板とし、95mm、又は140mmとする。 14. AD引違い戸の錠はトリガー装置(戸が正規の位置で締まっている時のみロックが可能となる装置)付とする。AD引違い戸のサムターンの有無については、現場指示とする。又、外部に面するAD引違い戸には、建具下部開き止め防止用パッキン(硬質樹脂材)を取付ける。 15. エアタイトのゴム質は、ネオプレンゴムとする。 16. アルミ製フラッシュ戸のドア厚は30mmとし、表面材はパターンシートを使用する。 17. 昇降口の外側アルミ製引戸のL(錠)は「両側ロック」とするが、連続する引戸のうち管理上、主になる一ヶ所については、「内サムターン、外ロック」を使用すること。なお、BS(バックセット)はいずれも925mmとする。 18. 昇降口は1箇所は電子錠、他はスクールオートロック付とする。(電子錠は建具までの配線は電気工事、錠は建築工事) ※電気錠操作盤、電気錠開錠スイッチは建築工事とし、配線は電気工事とする。 19. 昇降口のアルミ製引戸には、召合せ部分にはゴムクッション付通し物戸当を設ける。(グラウンド出入口含む) 20. 昇降口の内外アルミ製引戸の連続する引戸には、引戸用ドアチェックを設ける。 21. SSのガイドレールの小口は、鋭利にならないようにすること。 22. アルミパネルの表面処理の種別は、B-1種とする。 23. 2階以上の庇、開放しない屋上に面する窓のクレセントは、鍵付とする。 24. 複層ガラスは日射取得型とし、中空層はアルゴンガスとする。 25. 引戸の開口は特記なき限り有効寸法800mm、引き残り110mmを確保し、枠に戸当りを設置する事。 26. 昇降口建具のガラス部分には室内側に飛散防止フィルムを貼ること。 27. AWWは内部側木材質は北海道産カラマツ集成材とする。 28. 外部建具に使用する飛散防止フィルムはPET製窓ガラスフィルムとし、多積層以外で基材圧が100µm以下のものとする。	A W アルミ製窓 A L アルミ製面格子 A D アルミ製扉 S D スチール製窓 S S スチール製シャッター A W W アルミ・木複合窓 A P W アルミ・樹脂複合窓 T B トイレブース	T-1		T-4				
	T-1A		T-4'					
	T-2		T-5					
	T-2A		T-5'					
	T-3		沓 摺 タイプ 別 一 覧 1:5		T-3 沓 摺 詳 細 1:2			フラッシュ戸 参考図 1:2
	T-3'							

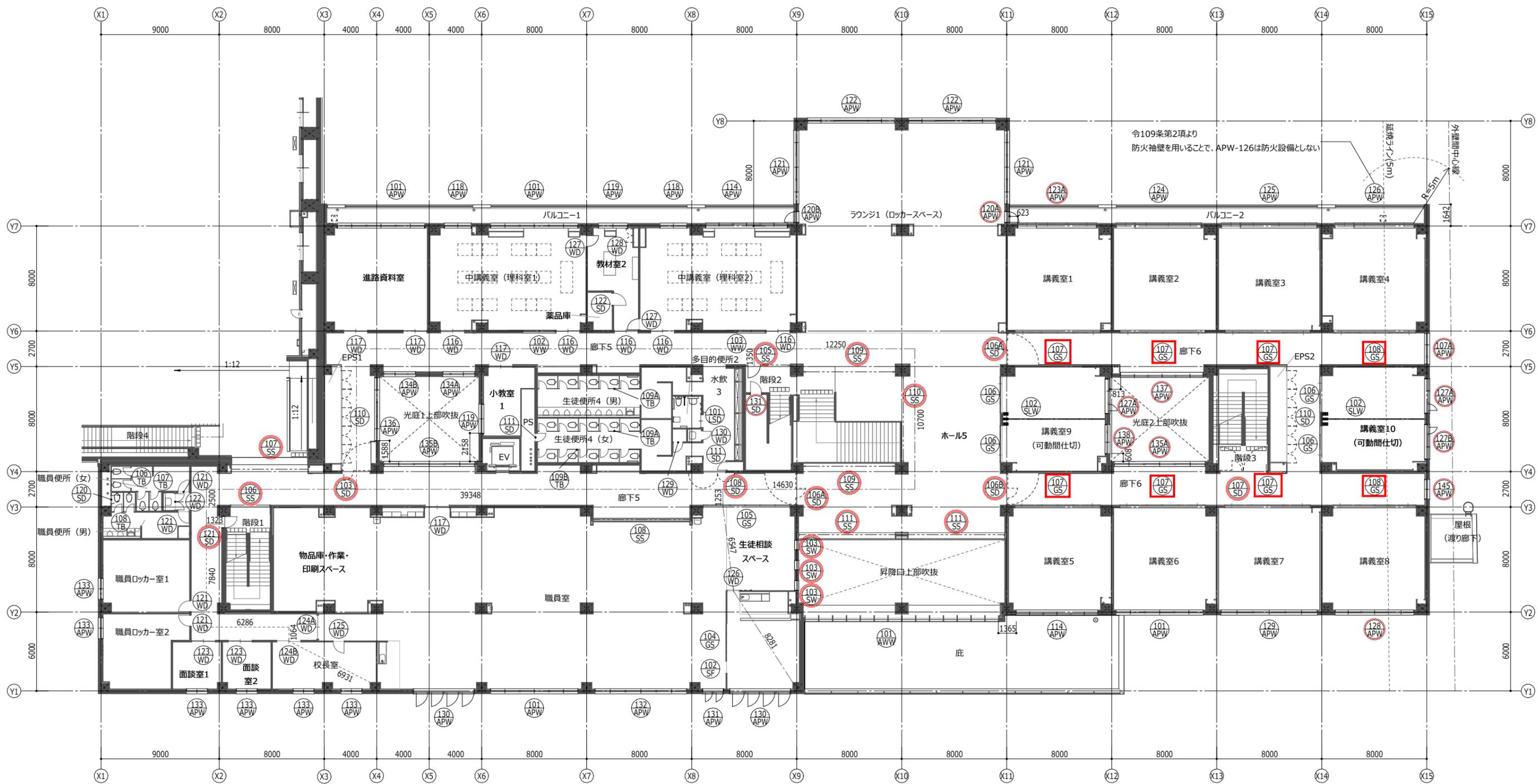
木製建具特記事項	WD戸当り詳細図 1:5			開き戸沓摺詳細図 1:2	便所沓摺詳細図 1:2	WD引戸レール詳細図 1:2
1. 建具は全て現場実測寸法とする。 2. 特記なき限りドア見込みは36mm、欄間見込みは30mmとする。 3. 特記なき限り戸当り(床用、巾木用)は全てのWDに付くものとする。(位置は現場指示) 4. 金物は全て見本品を提出の上、監督職員の承認を得ること。 5. 特記なき限りフラッシュ戸の表貼はシナ合板 t 4 T-2両面貼とする。 6. 窓並びに枠材は、極力、道産材を使用すること。 7. 「EP-G」塗装は2回仕上とする。 8. 建具(窓)及び押縁留めは、丸面とする。 9. レール取付は柱又は枠取付端部約10mm離れとし、両端15mm内外押え、中間の止め付けは使用するレールの釘穴による。レールの釘はレールの材質に応じた市販品とする。 10. 建具の押縁留めは数バテなじみバテをし、硝子釘止めとする。 11. 出入口引手高は900とする。 12. シリンダー本締錠、本締付モノロックは金属建具を含めてマスターキーを用意する。 13. 建具部材寸法は仕上寸法とする。 14. 同一室の保管庫、棚類は一本のキーで施錠、解錠出来るようにすること。 15. 床戸当りの取り付けは、アンカーボルト止めとする。 16. 廊下に面する建具は、硝子面積を拡大し、教室・廊下間の可視化に努める。 17. 特記なき限り建具の有効開口寸法は、片引き・引き違いともゴム戸当たりをつけた状態で、w800mm、引き残り50mmを確保すること。 18. 新築・改築の開き扉はレバーハンドルを使用する。 19. 施錠の必要性がある教室(特別教室等)には欄間にも錠をつける。 20. 室内に設置する欄間のガラスは、フロート t 3とする。 21. 特記がない場合便所・用務員室は、型板ガラスとする。 22. 沓摺はステンレス製とする。 23. 特記無き限り、フラッシュ戸とする。 24. 屋内運動場アリーナ側から見える木製フラッシュ戸はアリーナ側を積層壁材t12とする。						



建具案内図2階-1

歩行距離の判定 (主要構造部が耐火構造) (歩行経路は内装が準不燃以上)		
室名	算式	判定
カフェラウンジ	$8.281+6.547+1.253+14.630+10.700+12.250+1.350=55.011m < 60m$	OK
重複距離の判定 (主要構造部が耐火構造)		
室名	算式	判定
校長室	$6.931+1.064+6.286+7.840=22.121m < 25m$	OK

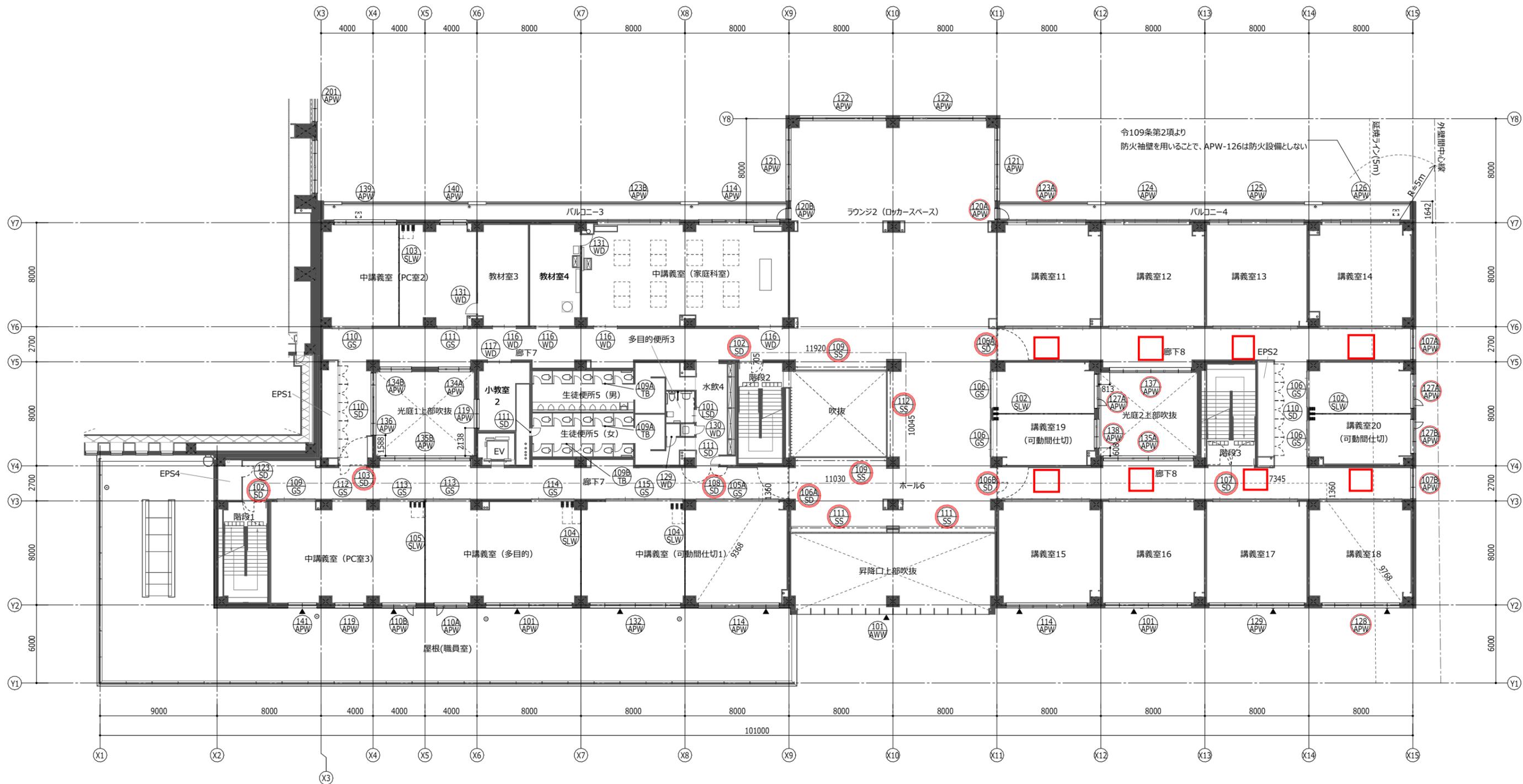
○ 防火設備
 ○ 特定防火設備



建具案内図2階-1

歩行距離の判定 (主要構造部が耐火構造) (歩行経路は内装が準不燃以上)		
室名	算式	判定
カフェラウンジ	$8.281+6.547+1.253+14.630+10.700+12.250+1.350=55.011\text{m}$	OK
重複距離の判定 (主要構造部が耐火構造)		
室名	算式	判定
校長室	$6.931+1.064+6.286+7.840=22.121\text{m}$	OK





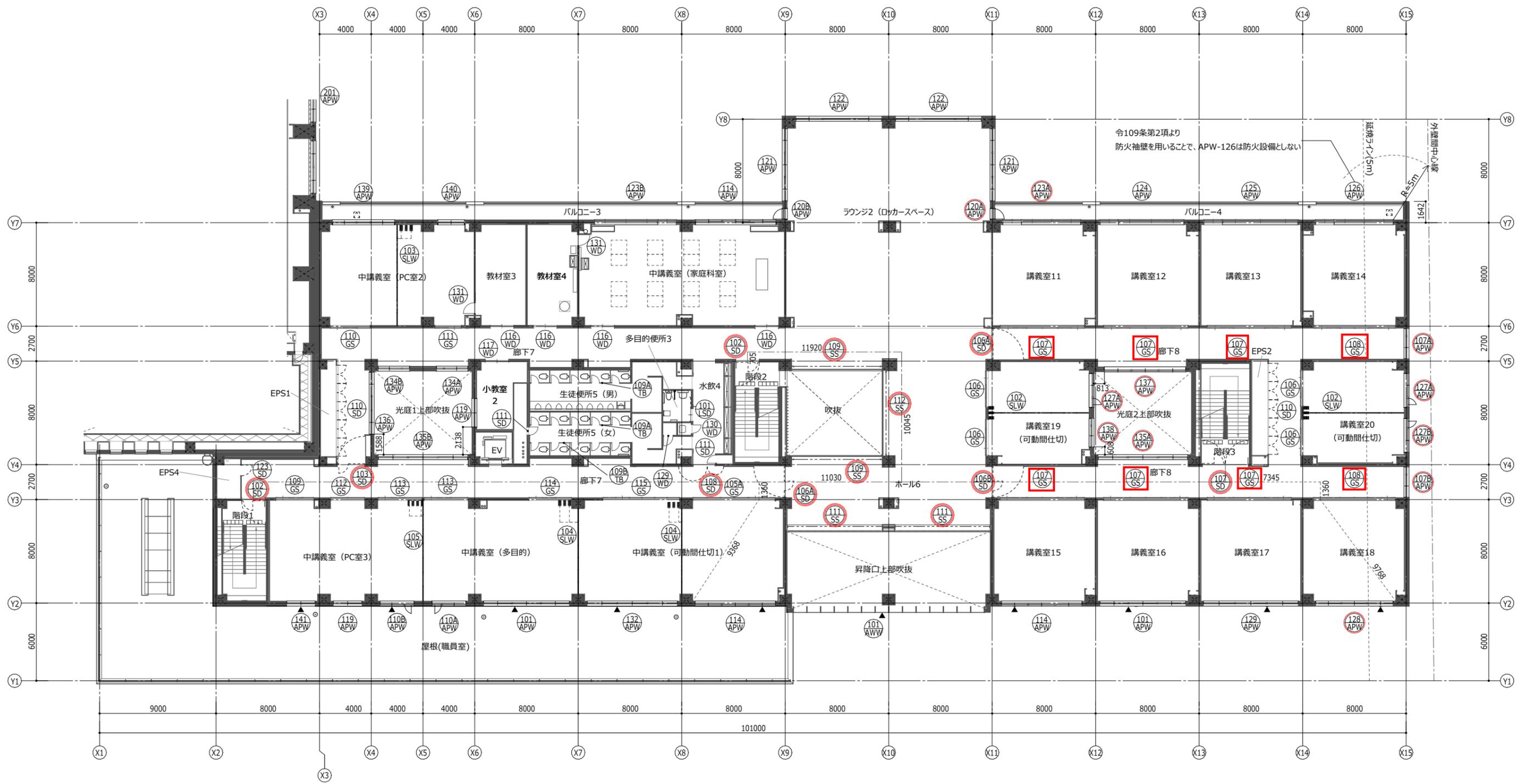
建具案内図3階-1

歩行距離の判定 (主要構造部が耐火構造)		
室名	算式	判定
中講義室 (可動間仕切1)	$9.368 + 1.360 + 11.030 + 10.045 + 11.920 + 0.750 = 44.473m$	OK
重複距離の判定 (主要構造部が耐火構造)		
室名	算式	判定
講義室18	$9.768 + 1.360 + 7.345 = 18.473m$	OK

▲ : 非常用出入口

○ (with diagonal line) : 防火設備

○ (with horizontal line) : 特定防火設備



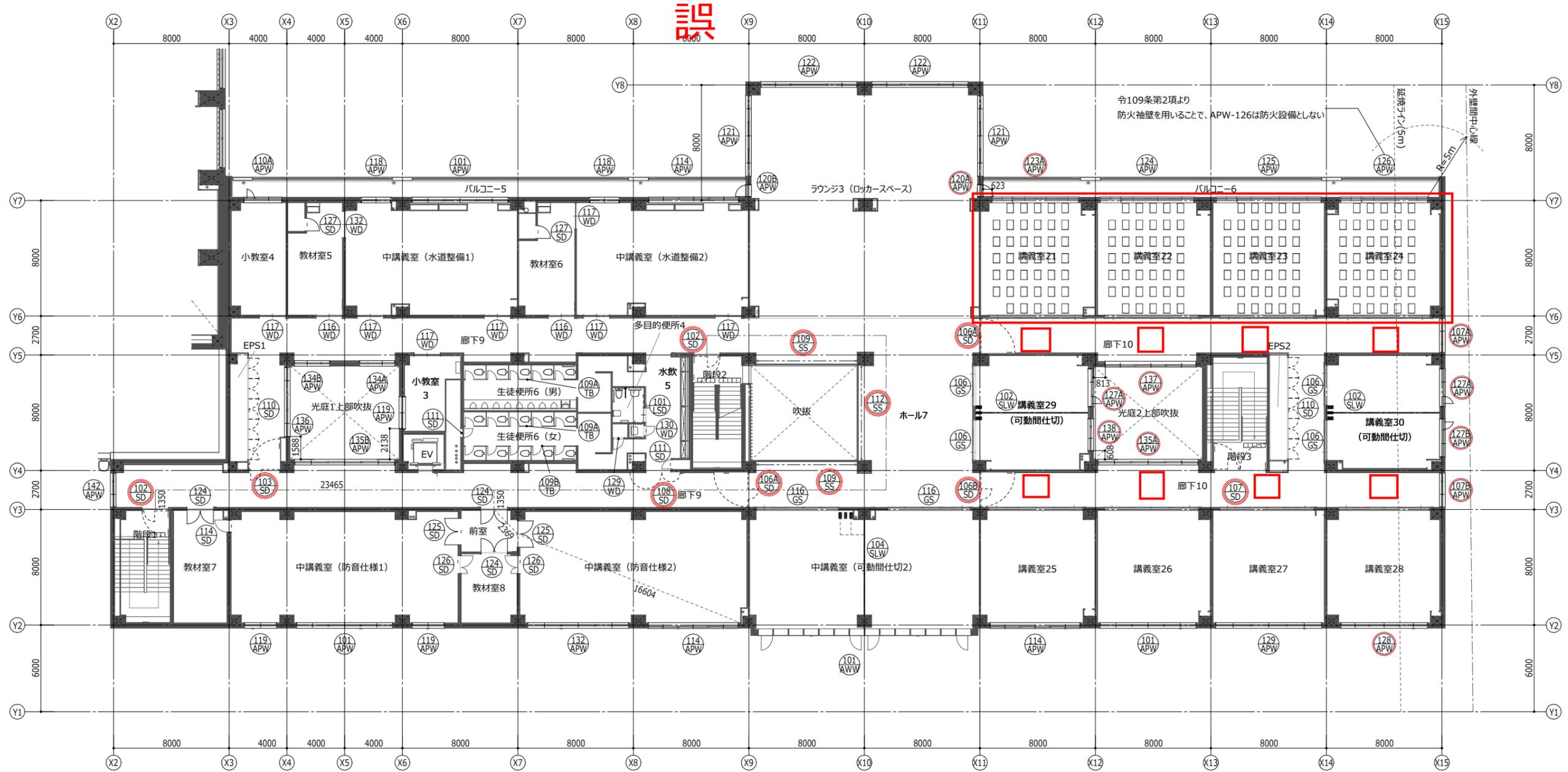
建具案内図3階-1

歩行距離の判定 (主要構造部が耐火構造)		
室名	算式	判定
中講義室 (可動間仕切1)	$9.368 + 1.360 + 11.030 + 10.045 + 11.920 + 0.750 = 44.473m$	OK
重複距離の判定 (主要構造部が耐火構造)		
室名	算式	判定
講義室18	$9.768 + 1.360 + 7.345 = 18.473m$	OK

▲ : 非常用出入口

○ (with diagonal line) : 防火設備

○ (with horizontal line) : 特定防火設備



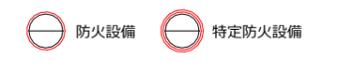
建具案内図4階

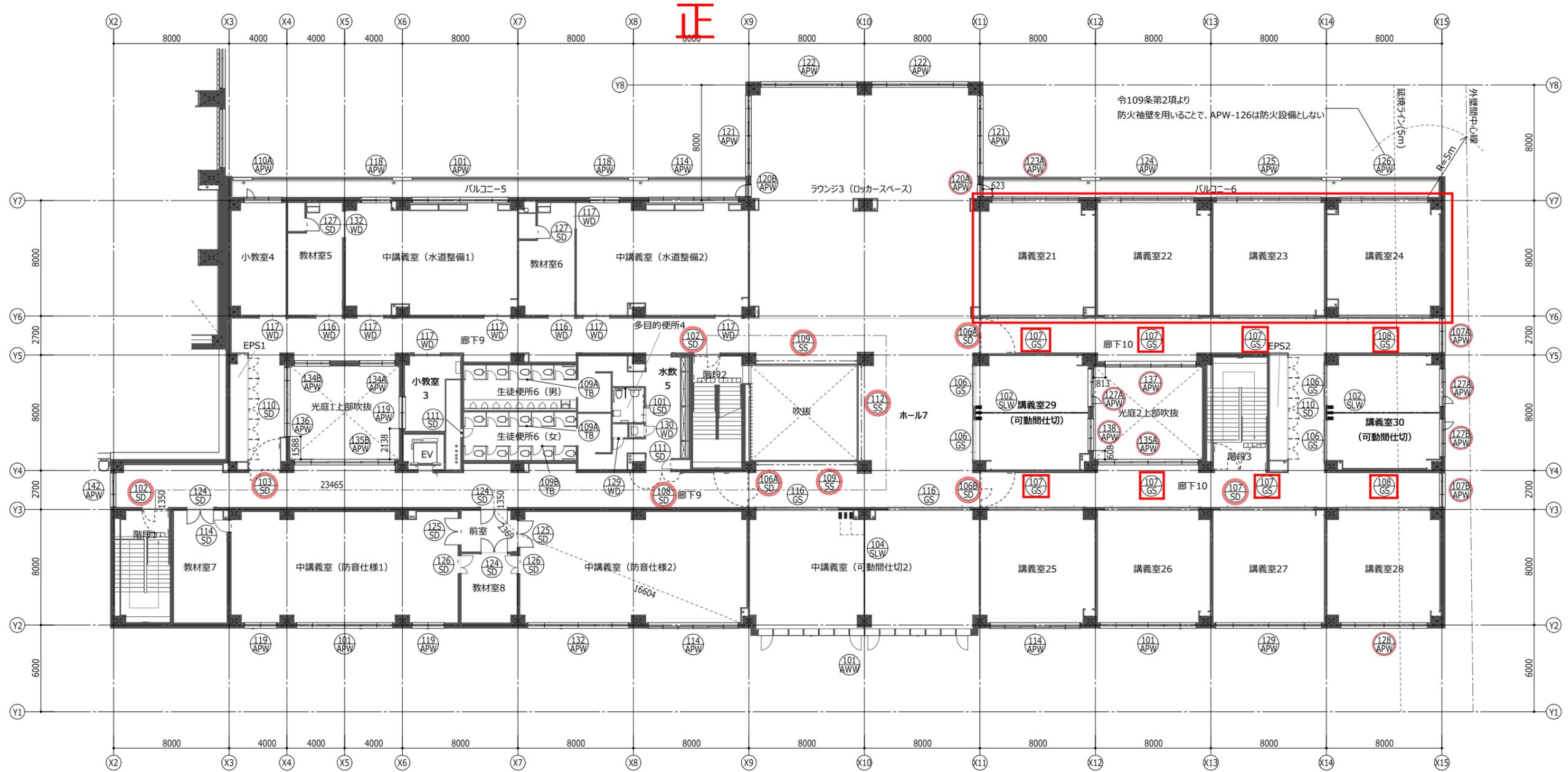
歩行距離の判定 (主要構造部が耐火構造)			
室名	算式	判定	
中講義室 (防音仕様2)	$16.604+2.369+1.350+23.465+1.350=45.138m < 50m$	OK	

重複距離の判定 (主要構造部が耐火構造)			
室名	算式	判定	
中講義室 (防音仕様2)	$16.604+2.369+1.350=20.323m < 25m$	OK	

ドア集計表				ドア集計表					
レベル	種類	番号	型式	個数	レベル	種類	番号	型式	個数
4FL	SD	102	鋼製片開き防火戸 (常開)	2	4FL	LSD	101	軽量鋼製片引き戸	1
4FL	SD	103	鋼製片開き防火戸 (常開)	1	4FL	SLW	102	鋼製スライディングウォール	2
4FL	SD	106A	鋼製片開き防火戸 (常開)	2	4FL	SLW	104	鋼製スライディングウォール	1
4FL	SD	106B	鋼製片開き防火戸 (常開)	1	4FL	GS	106	鋼製ガラスパーテーション	4
4FL	SD	107	鋼製両開き防火戸 (常開)	1	4FL	GS	116	鋼製ガラスパーテーション	2
4FL	SD	108	鋼製両開き防火戸 (常開)	1	4FL	TB	109A	トイレブース	2
4FL	SD	110	鋼製開き戸	2	4FL	TB	109B	トイレブース	1
4FL	SD	111	鋼製片開き戸	2	4FL	WD	116	木製引違い戸・嵌め殺し窓	2
4FL	SD	114	鋼製片開き戸	1	4FL	WD	117	木製引違い戸・嵌め殺し窓	7
4FL	SD	124	鋼製両開き戸	3	4FL	WD	129	木製片開き戸	1
4FL	SD	125	鋼製両開き戸	2	4FL	WD	130	木製片開き戸	1
4FL	SD	126	鋼製親子開き戸	2	4FL	WD	132	木製引違い戸・嵌め殺し窓	1
4FL	SD	127	鋼製片開き戸	2					
4FL	SS	109	鋼製シャッター	2					
4FL	SS	112	鋼製シャッター	1					

窓集計表				窓集計表					
レベル	種類	番号	型式	個数	レベル	種類	番号	型式	個数
4FL	APW	101	アルミ・樹脂複合引違い連窓	3	4FL	APW	128	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	107A	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1	4FL	APW	129	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	107B	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1	4FL	APW	132	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	110A	アルミ・樹脂複合引違い・二出し連窓	1	4FL	APW	134A	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	114	アルミ・樹脂複合引違い連窓	3	4FL	APW	134B	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	118	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し段窓	2	4FL	APW	135A	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	119	アルミ・樹脂複合引違い窓	3	4FL	APW	135B	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	120A	アルミ・樹脂複合片開き・嵌め殺し段窓	1	4FL	APW	136	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	120B	アルミ・樹脂複合片開き・嵌め殺し段窓	1	4FL	APW	137	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	121	アルミ・樹脂複合引違い連窓	2	4FL	APW	138	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	122	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	2	4FL	APW	142	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	123A	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1	4FL	GS	107	鋼製ガラスパーテーション	6
4FL	APW	124	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1	4FL	GS	108	鋼製ガラスパーテーション	2
4FL	APW	125	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1					
4FL	APW	126	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1					
4FL	APW	127A	アルミ・樹脂複合引違い・二出し連窓	2					
4FL	APW	127B	アルミ・樹脂複合引違い・二出し連窓	1					





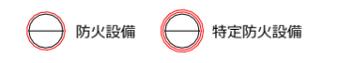
建具案内図4階

歩行距離の判定 (主要構造部が耐火構造)			
室名	算式	判定	
中講義室 (防音仕様2)	$16.604+2.369+1.350+23.465+1.350=45.138m < 50m$	OK	

重複距離の判定 (主要構造部が耐火構造)			
室名	算式	判定	
中講義室 (防音仕様2)	$16.604+2.369+1.350=20.323m < 25m$	OK	

ドア集計表					ドア集計表				
レベル	種類	番号	型式	個数	レベル	種類	番号	型式	個数
4FL	SD	102	鋼製片開き防火戸 (常開)	2	4FL	LSD	101	軽量鋼製片引き戸	1
4FL	SD	103	鋼製片開き防火戸 (常開)	1	4FL	SLW	102	鋼製スライディングウォール	2
4FL	SD	106A	鋼製片開き防火戸 (常開)	2	4FL	SLW	104	鋼製スライディングウォール	1
4FL	SD	106B	鋼製片開き防火戸 (常開)	1	4FL	GS	106	鋼製ガラスパーテーション	4
4FL	SD	107	鋼製両開き防火戸 (常開)	1	4FL	GS	116	鋼製ガラスパーテーション	2
4FL	SD	108	鋼製両開き防火戸 (常開)	1	4FL	TB	109A	トイレブース	2
4FL	SD	110	鋼製開き戸	2	4FL	TB	109B	トイレブース	1
4FL	SD	111	鋼製片開き戸	2	4FL	WD	116	木製引違い戸・嵌め殺し窓	2
4FL	SD	114	鋼製片開き戸	1	4FL	WD	117	木製引違い戸・嵌め殺し窓	7
4FL	SD	124	鋼製両開き戸	3	4FL	WD	129	木製片開き戸	1
4FL	SD	125	鋼製両開き戸	2	4FL	WD	130	木製片開き戸	1
4FL	SD	126	鋼製親子開き戸	2	4FL	WD	132	木製引違い戸・嵌め殺し窓	1
4FL	SD	127	鋼製片開き戸	2					
4FL	SS	109	鋼製シャッター	2					
4FL	SS	112	鋼製シャッター	1					

窓集計表					窓集計表				
レベル	種類	番号	型式	個数	レベル	種類	番号	型式	個数
4FL	APW	101	アルミ・樹脂複合引違い連窓	3	4FL	APW	128	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	107A	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1	4FL	APW	129	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	107B	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1	4FL	APW	132	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	110A	アルミ・樹脂複合引違い・引出し連窓	1	4FL	APW	134A	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	114	アルミ・樹脂複合引違い連窓	3	4FL	APW	134B	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	118	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し段窓	2	4FL	APW	135A	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	119	アルミ・樹脂複合引違い窓	3	4FL	APW	135B	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	120A	アルミ・樹脂複合片開き・嵌め殺し段窓	1	4FL	APW	136	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	120B	アルミ・樹脂複合片開き・嵌め殺し段窓	1	4FL	APW	137	アルミ・樹脂複合引違い連窓	1
4FL	APW	121	アルミ・樹脂複合引違い連窓	2	4FL	APW	138	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	122	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	2	4FL	APW	142	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	1
4FL	APW	123A	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1	4FL	GS	107	鋼製ガラスパーテーション	6
4FL	APW	124	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1	4FL	GS	108	鋼製ガラスパーテーション	2
4FL	APW	125	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1					
4FL	APW	126	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連段窓	1					
4FL	APW	127A	アルミ・樹脂複合引違い・引出し連窓	2					
4FL	APW	127B	アルミ・樹脂複合引違い・引出し連窓	1					



名称	APW- 208	APW- 209	APW- 210	APW- 301	APW- 145
室名	体育準備室2,4	体育準備室1,3	ホール4	渡り廊下	廊下3,6
型式・仕上	アルミ・樹脂複合引違い連窓	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	アルミ・樹脂複合突き出し・引出し・嵌め殺し連段窓	アルミ・樹脂複合引出し連窓	アルミ・樹脂複合引違い窓
ガラス	FL4-Ar12-FL4 (Low-E)	FL4-Ar12-FL4 (Low-E)	FL4-Ar12-FL4 (Low-E)	PW6.8-Ar10-FL4 (Low-E)	PW6.8-Ar12-FL4 (Low-E)
金物	戸車、クレセント、アングルピース、水切りW=170、開放制限(鍵付)、網戸、結露受	戸車、クレセント、アングルピース、水切りW=170、開放制限(鍵付)、網戸、結露受	鍵付ハンドル、フリクションステー、アームストッパー、アングルピース、水切りW=170、オペレーター、網戸、結露受	鍵付ハンドル、フリクションステー、アームストッパー、アングルピース、水切りW=170、結露受	戸車、クレセント (FL+1625mm)、アングルピース、水切りW=170、開放制限(鍵付)、網戸、結露受
備考				防火設備 EB-1956-6	防火設備 EB-1886-6
姿図					
※複数ある場合 FLは一例を表す					
名称	AD- 102	AD- 103	AD- 104	AD- 105A	AD- 105B
室名	昇降口	風除室(職員用)	職員玄関	風除室(グラウンド用)	風除室(グラウンド用)
型式・仕上	アルミ製両引き戸・片引き戸	アルミ製両引き戸	アルミ製両引き自動ドア	アルミ製片引き戸	アルミ製片引き戸
ガラス	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)
金物	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、錠(シリンダー本締め又はカム錠) 沓摺(SUS)、引棒(SUS)(L=600程度)、引戸クローザー、アルミ額縁(内・外)、スクールオートロック(1)	ステンレス下部レール、オートドア制御盤、シリンダー錠、その他付属金物、レールヒーター、電気錠操作盤、電気錠解除スイッチ(3)、アルミ額縁(内・外)	ステンレス下部レール、オートドア制御盤、タッチスイッチ、シリンダー錠、その他付属金物一式、アルミ額縁(内・外)	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、シリンダー錠、沓摺(SUS)、引棒(SUS)(L=600程度)、衝突防止シール(障子あたり2個) 引戸クローザー、アルミ額縁(内・外)	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、沓摺(SUS)、引棒(SUS)(L=600程度)、衝突防止シール(障子あたり2個) 引戸クローザー、アルミ額縁(内・外)
備考	片引きの有効開口900mmとする、内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能
姿図					
※複数ある場合 FLは一例を表す					
名称	AWW- 102	AWW- 103	AWW- 104	AWW- 105	
室名	コミュニケーションホール	地域交流スペース(大講義室)	廊下2,3	コミュニケーションホール	
型式・仕上	アルミ・木複合両引き戸	アルミ・木複合両引き戸	アルミ・木複合両引き戸	アルミ・木複合両引き戸	
ガラス	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	
金物	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり、 アルミ額縁	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり、 アルミ額縁	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり、 アルミ額縁	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり、 アルミ額縁	
備考	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	
姿図					
※複数ある場合 FLは一例を表す					

名称	APW- 208	APW- 209	APW- 210	APW- 301	APW- 145
室名	体育準備室2,4	体育準備室1,3	ホール4	渡り廊下	廊下3,6
型式・仕上	アルミ・樹脂複合引違い連窓	アルミ・樹脂複合引違い・嵌め殺し連窓	アルミ・樹脂複合突き出し・引出し・嵌め殺し連段窓	アルミ・樹脂複合引出し連窓	アルミ・樹脂複合引違い窓
ガラス	FL4-Ar12-FL4 (Low-E)	FL4-Ar12-FL4 (Low-E)	FL4-Ar12-FL4 (Low-E)	PW6.8-Ar10-FL4 (Low-E)	PW6.8-Ar12-FL4 (Low-E)
金物	戸車、クレセント、アングルピース、水切りW=170、開放制限(鍵付)、網戸、結露受	戸車、クレセント、アングルピース、水切りW=170、開放制限(鍵付)、網戸、結露受	鍵付ハンドル、フリクションステー、アームストッパー、アングルピース、水切りW=170、オペレーター、網戸、結露受	鍵付ハンドル、フリクションステー、アームストッパー、アングルピース、水切りW=170、結露受	戸車、クレセント (FL+1625mm)、アングルピース、水切りW=170、開放制限(鍵付)、網戸、結露受
備考				防火設備 EB-1956-6	防火設備 EB-1886-6
姿図					
※複数ある場合 FLは一例を表す					
名称	AD- 102	AD- 103	AD- 104	AD- 105A	AD- 105B
室名	昇降口	風除室(職員用)	職員玄関	風除室(グラウンド用)	風除室(グラウンド用)
型式・仕上	アルミ製両引き戸・片引き戸	アルミ製両引き戸	アルミ製両引き自動ドア	アルミ製片引き戸	アルミ製片引き戸
ガラス	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)	T5(飛散防止フィルム75μm程度)
金物	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、錠(シリンダー本締め又はカム錠) 沓摺(SUS)、引棒(SUS)(L=600程度)、引戸クローザー、アルミ鎖縁(内・外)、スクールオートロック(1)	ステンレス下部レール、オートドア制御盤、シリンダー錠、その他付属金物、レールヒーター、電気錠操作盤、電気錠解除スイッチ(3)、アルミ鎖縁(内・外)	ステンレス下部レール、オートドア制御盤、タッチスイッチ、シリンダー錠、その他付属金物一式、アルミ鎖縁(内・外)	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、シリンダー錠、沓摺(SUS)、引棒(SUS)(L=600程度)、衝突防止シール(障子あたり2個) 引戸クローザー、アルミ鎖縁(内・外)	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、沓摺(SUS)、引棒(SUS)(L=600程度)、衝突防止シール(障子あたり2個) 引戸クローザー、アルミ鎖縁(内・外)
備考	片引きの有効開口900mmとする、内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能	内側から手動解錠可能
姿図					
※複数ある場合 FLは一例を表す					
名称	AWW- 102	AWW- 103	AWW- 104	AWW- 105	
室名	コミュニケーションホール	地域交流スペース(大講義室)	廊下2,3	コミュニケーションホール	
型式・仕上	アルミ・木複合両引き戸	アルミ・木複合両引き戸	アルミ・木複合両引き戸	アルミ・木複合両引き戸	
ガラス	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	FL8-Ar12-T6 (Low-E)	
金物	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり 	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり 	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり 	戸車、クレセント(鍵付)、戸当たり 	
備考	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	断熱絶縁体(ポリアミド)、北海道産集成材使用(WUC)	
姿図					
※複数ある場合 FLは一例を表す					

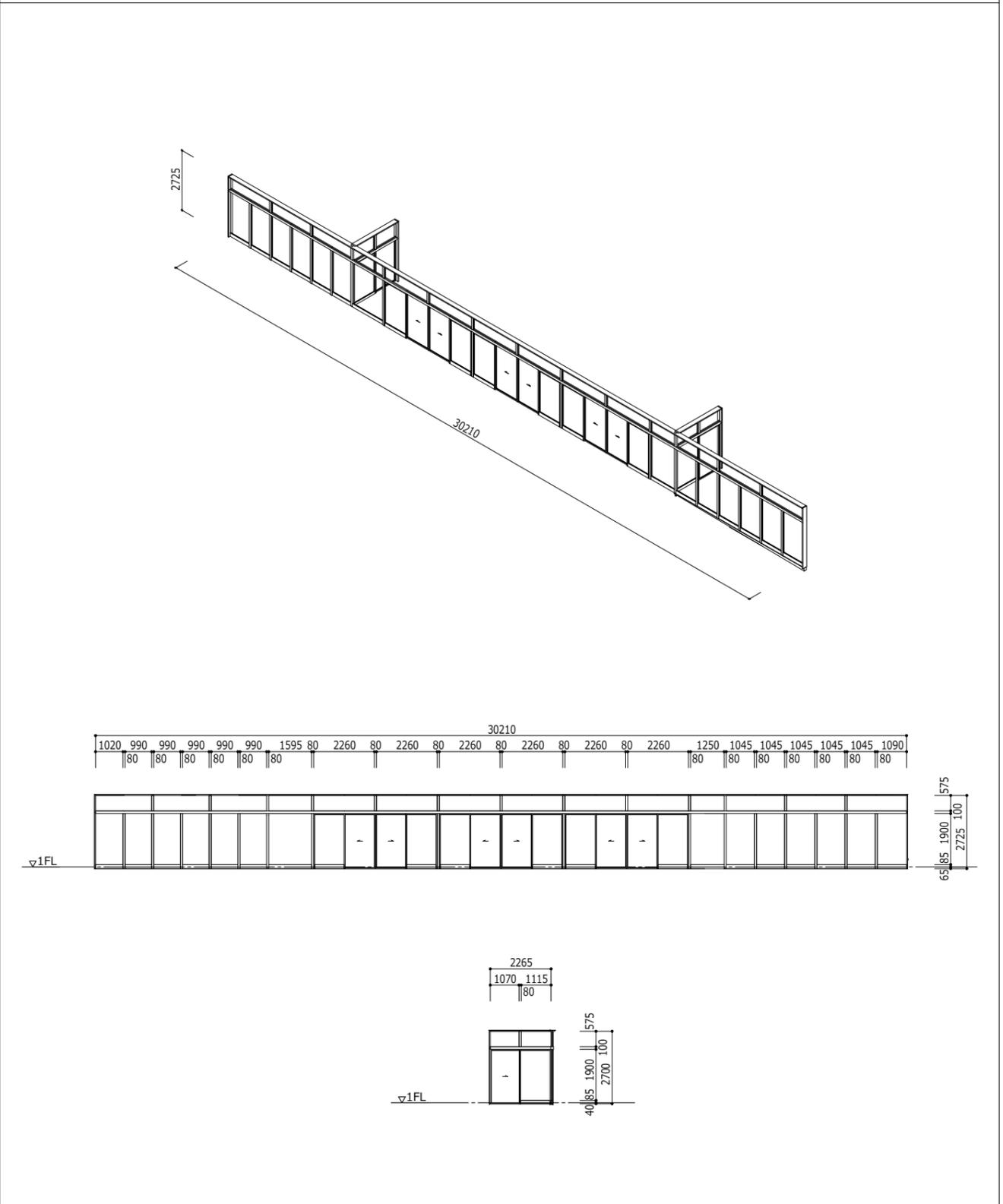
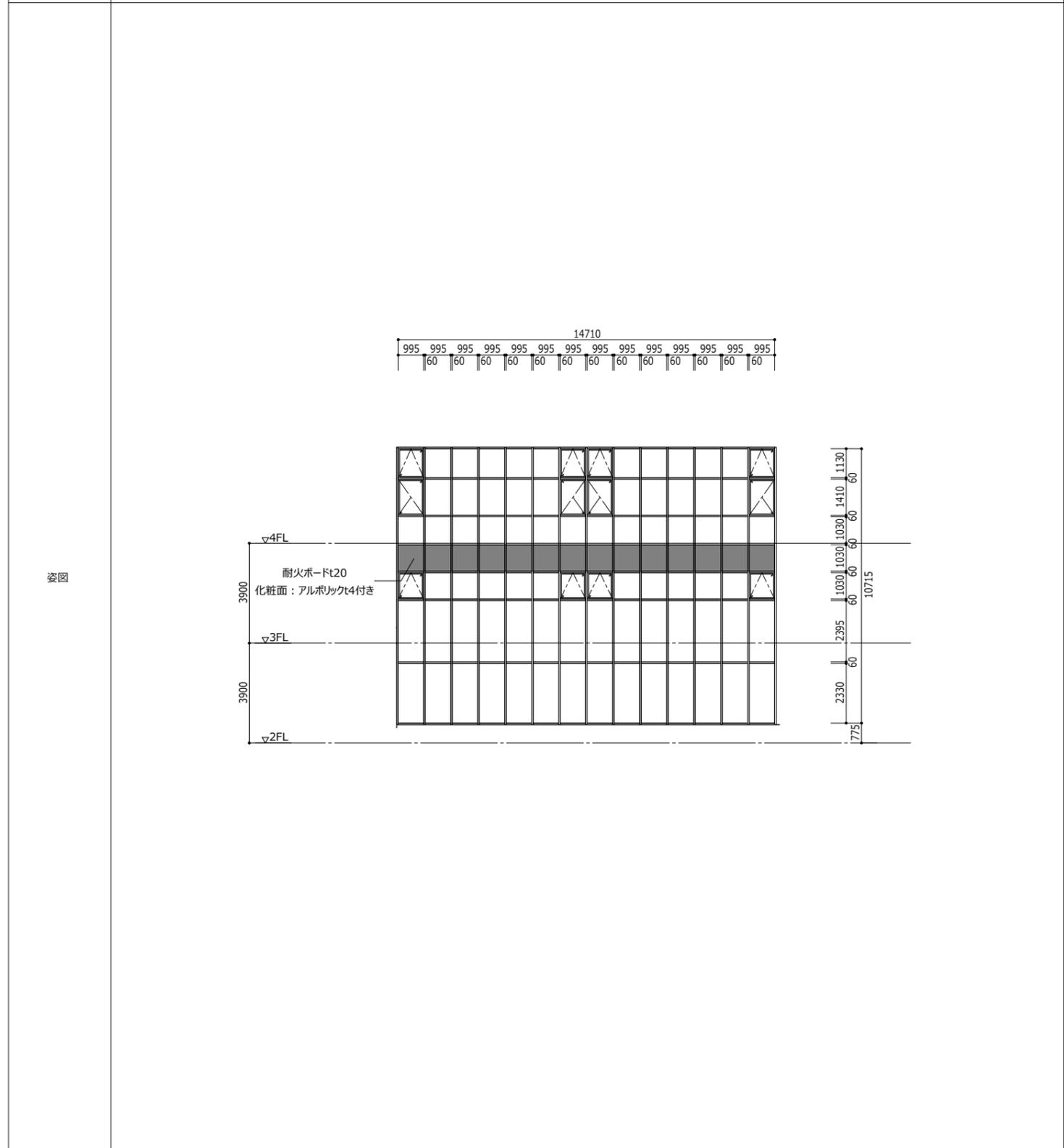
名称	SD- 101	SD- 102	SD- 103		SD- 105	SD- 106A、SD-106B
室名	廊下2	階段1,2	廊下2,5,7,9		廊下1	(A)廊下1,5,6,7,8,9,10 (B)廊下6,8,10
型式・仕上	鋼製両開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G		鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G
ガラス	-	-	-		-	-
金物	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、順位調整器、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式		ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式
備考	枠t1.6	枠t1.6	枠t1.6		枠t1.6	枠t1.6、SD-106Bは反転
姿図	<p>特定防火設備 告示2563号 告示1369号 煙感知連動</p>	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p>	<p>特定防火設備 告示2563号 告示1369号 煙感知連動</p>	SD-104は欠番	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p>	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p>
※複数ある場合 FLは一例を表す						
名称	SD- 107	SD- 108	SD- 109	SD- 110	SD- 111	SD- 112
室名	階段3	廊下5,7,9	地域交流スペース (大講義室), トレーニング室	EPS-1、2	生徒便所1,4,5,6 (女), トレーニング室	地域交流スペース (大講義室)
型式・仕上	鋼製両開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製両開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製両開き防火戸 (常閉) 扉:t1.6 塩化ビニル樹脂シート(木目調)
ガラス	-	-	-	-	-	-
金物	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、順位調整器、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、順位調整器、付属金物一式	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)	錠 (シリンダー本締め)、沓摺、ヒボットヒンジ、ケースハンドル、ワイヤーストッパー	丁番 (SUS)、沓摺、ケースハンドル、ケースハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー無)、順位調整器、フランス落し
備考	枠t1.6	枠t1.6	枠t1.6、枠見込330	枠t1.6、枠見込100	枠t1.6、枠見込100	枠t1.6、枠見込264
姿図	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p>	<p>特定防火設備 告示2563号 告示1369号 煙感知連動</p>		<p>※片面フラッシュ</p>		<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号</p>
※複数ある場合 FLは一例を表す						
名称	SD- 113	SD- 114	SD- 115	SD- 116	SD- 117	SD- 118
室名	売店	中講義室 (防音仕様1), 調整室	ポンプ室, 機械室1	機械室1	塵芥庫	ポンプ室, 塵芥庫
型式・仕上	鋼製片開き防火戸 (常閉) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 扉:t1.6 DP	鋼製片開き戸 扉:t1.6 DP	鋼製両開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製両開き戸 扉:t1.6 DP
ガラス	-	-	-	-	-	-
金物	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー無)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー無)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)、上下水切、ロックウール充填、ガラリ (防水): アルミ製700×400(防虫網付)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)、フランス落し、ガラリ: アルミ製650×400×2	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)、フランス落し、上下水切、ロックウール充填
備考	枠t1.6、枠見込157	枠t1.6、枠見込d、セミアタイト仕様	枠t1.6、枠見込d	枠t1.6、枠見込360	枠t1.6、枠見込250	枠t1.6、枠見込310
姿図	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号</p>	<p>SAT 中講義室 (防音仕様1): d=325 調整室: d=330</p>	<p>防火設備 告示1360号</p>	<p>機械室1: d=300 ポンプ室: d=380</p>		
※複数ある場合 FLは一例を表す						

名称	SD- 101	SD- 102	SD- 103		SD- 105	SD- 106A、SD-106B
室名	廊下2	階段1,2	廊下2,5,7,9		廊下1	(A)廊下1,5,6,7,8,9,10 (B)廊下6,8,10
型式・仕上	鋼製両開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G		鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G
ガラス	-	-	-		-	-
金物	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、順位調整器、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式		ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、付属金物一式
備考	枠t1.6	枠t1.6	枠t1.6		枠t1.6	枠t1.6、SD-106Bは反転
姿図	<p>特定防火設備 告示2563号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>特定防火設備 告示2563号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>	SD-104は欠番	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>
※複数ある場合 FLは一例を表す						
名称	SD- 107	SD- 108	SD- 109	SD- 110	SD- 111	SD- 112
室名	階段3	廊下5,7,9	地域交流スペース (大講義室), トレーニング室	EPS-1、2	生徒便所1,4,5,6 (女), トレーニング室	地域交流スペース (大講義室)
型式・仕上	鋼製両開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製両開き防火戸 (常開) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製両開き防火戸 (常閉) 扉:t1.6 塩化ビニル樹脂シート(木目調)
ガラス	-	-	-	-	-	-
金物	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、順位調整器、付属金物一式	ヒンジローザー、ケースハンドル錠、順位調整器、付属金物一式	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)	錠 (シリンダー本締め)、沓摺、ヒボットヒンジ、ケースハンドル、ワイヤーストッパー	丁番 (SUS)、沓摺、ケースハンドル、ケースハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー無)、順位調整器、フラス落し
備考	枠t1.6	枠t1.6	枠t1.6、枠見込330	枠t1.6、枠見込100	枠t1.6、枠見込100	枠t1.6、枠見込264
姿図	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>特定防火設備 告示2563号 告示1369号 煙感知連動</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p><<り戸750×1800</p>	<p>※片面フラッシュ</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p><<り戸750×1800</p>	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号</p> <p><<り戸750×1800</p>
※複数ある場合 FLは一例を表す						
名称	SD- 113	SD- 114	SD- 115	SD- 116	SD- 117	SD- 118
室名	売店	中講義室 (防音仕様1), 調整室	ポンプ室, 機械室1	機械室1	塵芥庫	ポンプ室, 塵芥庫
型式・仕上	鋼製片開き防火戸 (常閉) 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き防火戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製片開き戸 扉:t1.6 DP	鋼製両開き戸 扉:t1.6 EP-G	鋼製両開き戸 扉:t1.6 DP
ガラス	-	-	-	-	-	-
金物	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー無)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー無)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)、上下水切、ロックウール充填、ガラリ (防水): アルミ製700×400 (防虫網付)	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)、フラス落し、ガラリ: アルミ製650×400×2	丁番 (SUS)、沓摺、レバーハンドル、レバーハンドル錠、ドアクローザー (ストッパー付)、フラス落し、上下水切、ロックウール充填
備考	枠t1.6、枠見込157	枠t1.6、枠見込d、セミアタイト仕様	枠t1.6、枠見込d	枠t1.6、枠見込360	枠t1.6、枠見込250	枠t1.6、枠見込310
姿図	<p>特定防火設備 遮煙性能 告示2564号 告示1369号</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>SAT 中講義室 (防音仕様1): d=325 調整室: d=330</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>防火設備 告示1360号</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p>機械室1: d=300 ポンプ室: d=380</p> <p><<り戸750×1800</p>	<p><<り戸750×1800</p>	<p><<り戸750×1800</p>
※複数ある場合 FLは一例を表す						

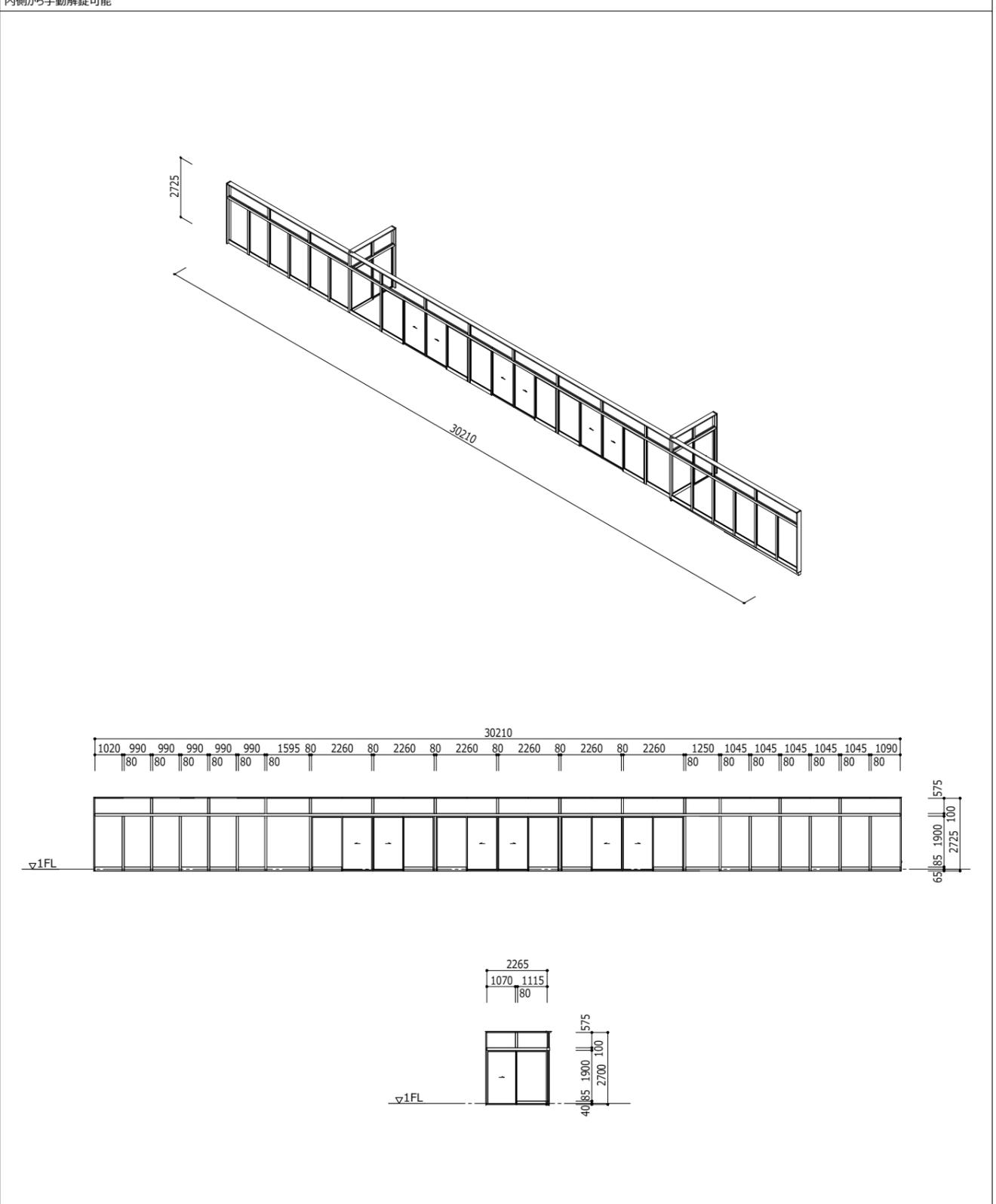
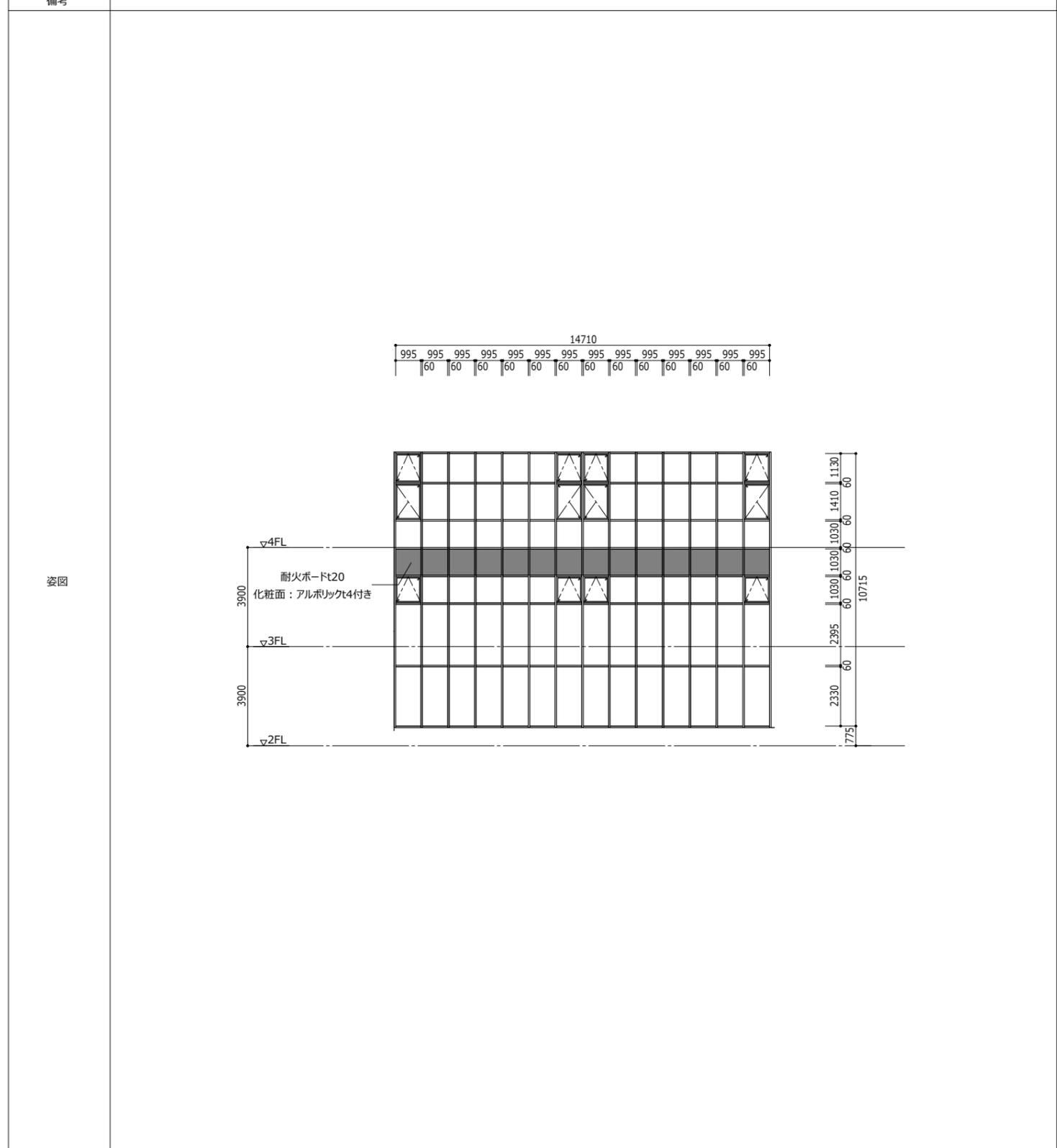
名称	WD- 119	WD- 120	WD- 121	WD- 122	WD- 123	WD- 124A、WD-124B	
室名	器具庫1	生徒便所2(女)	職員ロッカー室1,2,職員便所	廊下5	面談室1,2	(A)職員室 (B)校長室	
型式・仕上	木製引分け戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製両開き戸 EP-G	木製引違い戸 EP-G	木製引違い戸 EP-G	
ガラス	-	-	-	-	F4	F4	
金物	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、引戸錠 ガラリ：アルミ製 525×400×2	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、 沓摺	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー無)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ガラリ：アルミ製 500×500	丁番(SUS)、レバーハンドル、レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ラッチ	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、沓摺 引違い戸錠(埋め込み)	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、沓摺 引違い戸錠(埋め込み)	
備考		アンダーカット15		アンダーカット15		WD-124Bはオレフィンシート(木目調)	
姿図							
※複数ある場合 FLは一例を表す							
名称	WD- 125	WD- 126	WD- 127	WD- 128	WD- 129	WD- 130	
室名	校長室	カフェラウンジ	中講義室(理科室1,2)	教材室2	備品庫1,2,3	水飲3,4,5	
型式・仕上	木製片開き戸 オレフィンシート(木目調)	木製引き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製両開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	
ガラス	F4	F4	T5	-	-	-	
金物	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、引戸錠	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー無)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ガラリ：アルミ製 500×400	丁番(SUS)、堀込引手、戸当、沓摺、ラッチ	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー無)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	
備考							
姿図							
※複数ある場合 FLは一例を表す							
名称	WD- 131	WD- 132	WD- 201	WD- 202	WD-203は欠番		
室名	中講義室(家庭科室,PC室2)	中講義室(水道整備1)	部活用物品庫	廊下4			WD- 204
型式・仕上	木製片開き戸 EP-G	木製引違い戸・嵌め殺し窓 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G			物入
ガラス	T5	戸：T5 ランマ：FL3	-	-			木製片引き戸 WUC
金物	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、沓摺 引違い戸錠(埋め込み)	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ガラリ：アルミ製 250×1700	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	-	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、引戸錠	
備考				アンダーカット15			
姿図							
※複数ある場合 FLは一例を表す							

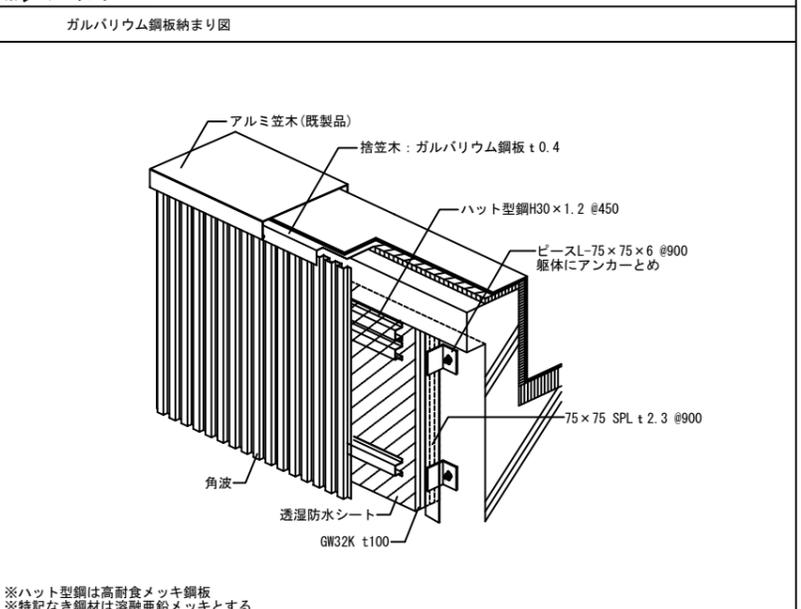
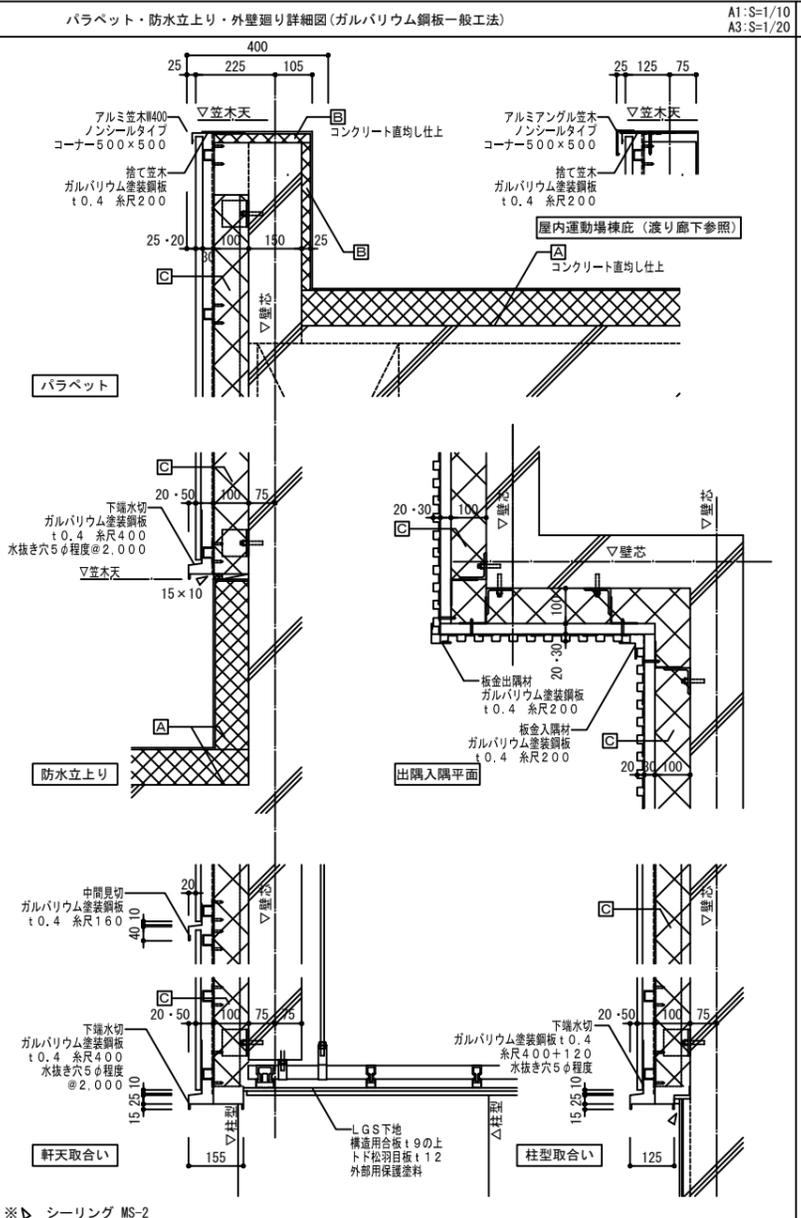
名称	WD- 119	WD- 120	WD- 121	WD- 122	WD- 123	WD- 124A、WD-124B	
室名	器具庫1	生徒便所2(女)	職員ロッカー室1,2,職員便所	廊下5	面談室1,2	(A)職員室 (B)校長室	
型式・仕上	木製引分け戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製両開き戸 EP-G	木製引違い戸 EP-G	木製引違い戸 EP-G	
ガラス	-	-	-	-	F4	F4	
金物	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、引戸錠 ガラリ：アルミ製 525×400×2	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー無)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ガラリ：アルミ製 500×500	丁番(SUS)、レバーハンドル、レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ラッチ	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、沓摺 引違い戸錠(埋め込み)	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、沓摺 引違い戸錠(埋め込み)	
備考		アンダーカット15		アンダーカット15		WD-124Bはオレフィンシート(木目調)	
姿図							
※複数ある場合 FLは一例を表す							
名称	WD- 125	WD- 126	WD- 127	WD- 128	WD- 129	WD- 130	
室名	校長室	カフェラウンジ	中講義室(理科室1,2)	教材室2	備品庫1,2,3	水飲3,4,5	
型式・仕上	木製片開き戸 オレフィンシート(木目調)	木製引き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製両開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G	
ガラス	F4	F4	T5	-	-	-	
金物	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、引戸錠	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー無)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ガラリ：アルミ製 500×400	丁番(SUS)、堀込引手、戸当、沓摺、ラッチ	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー無)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	
備考							
姿図							
※複数ある場合 FLは一例を表す							
名称	WD- 131	WD- 132	WD- 201	WD- 202	WD-203は欠番		
室名	中講義室(家庭科室,PC室2)	中講義室(水道整備1)	部活用物品庫	廊下4			WD- 204
型式・仕上	木製片開き戸 EP-G	木製引違い戸・嵌め殺し窓 EP-G	木製片開き戸 EP-G	木製片開き戸 EP-G			物入
ガラス	T5	戸：T5 ランマ：FL3	-	-			木製片引き戸 WUC
金物	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、沓摺 引違い戸錠(埋め込み)	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺、ガラリ：アルミ製 250×1700	丁番(SUS)、ドアクローザー(ストッパー付)、レバーハンドル レバーハンドル錠、戸当、沓摺	-	戸車：戸Φ36、レール(SUS)、戸当、引手、引戸錠	
備考				アンダーカット15			
姿図							
※複数ある場合 FLは一例を表す							

名称	AWW-101	AD-101
室名	昇降口上部吹抜	昇降口
型式・仕上	アルミ・木複合カーテンウォール	アルミ引き分け戸・嵌め殺し連段窓
ガラス	FL4-Ar12-FL4(Low-E)	T5 (飛散防止フィルム75 μ m程度)
金物	鍵付ハンドル、フリクションステー、アームストッパー、アングルピース、水切りW=170、網戸、結露受、排煙オペレーター 	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、錠 (シリンダー本締め又はカム錠)、沓摺 (SUS)、引棒 (SUS) (L=600程度)、引戸クローザー、アルミ顔縁 (内・外)、スクールオートロック (1)、電気錠 (1)
備考		内側から手動解錠可能

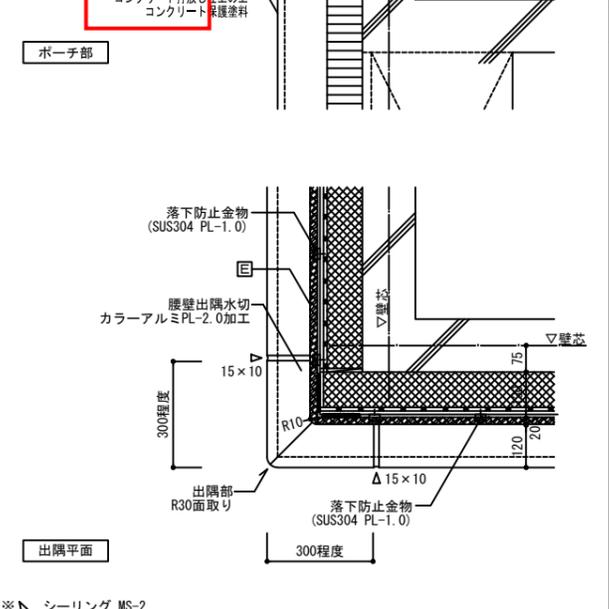
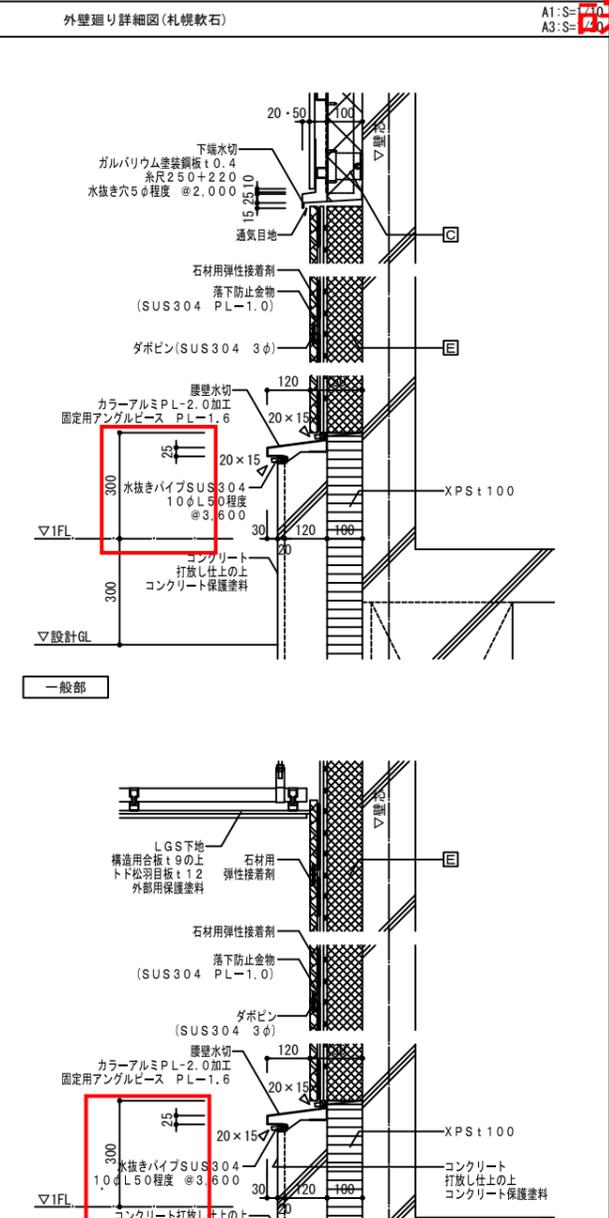


名称	AWW-101	AD-101
室名	昇降口上部吹抜	昇降口
型式・仕上	アルミ・木複合カーテンウォール	アルミ引き分け戸・嵌め殺し連段窓
ガラス	FL4-Ar12-FL4(Low-E)	T5 (飛散防止フィルム75 μ m程度)
金物	鍵付ハンドル、フリクションステー、アームストッパー、アングルピース、水切りW=170、網戸、結露受、排煙オペレーター、 水平ロッド (2FL+3135)	戸車、ハンガーレール、ガイドローラー、錠 (シリンダー本締め又はカム錠)、沓摺 (SUS)、引棒 (SUS) (L=600程度)、引戸クローザー、アルミ顔縁 (内・外)、スクールオートロック (1)、電気錠 (1)
備考		内側から手動解錠可能

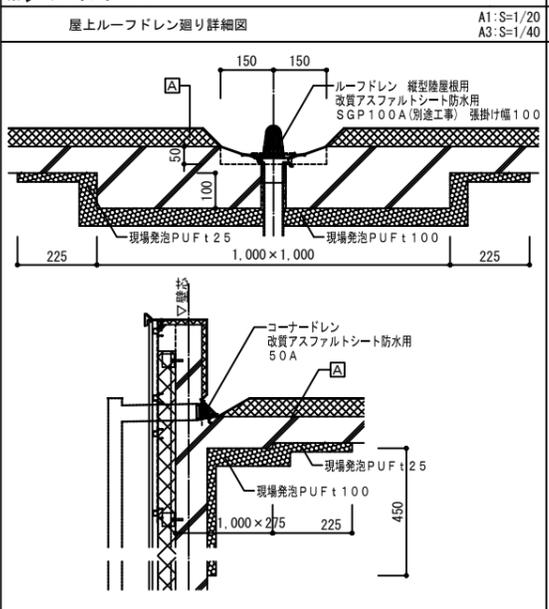
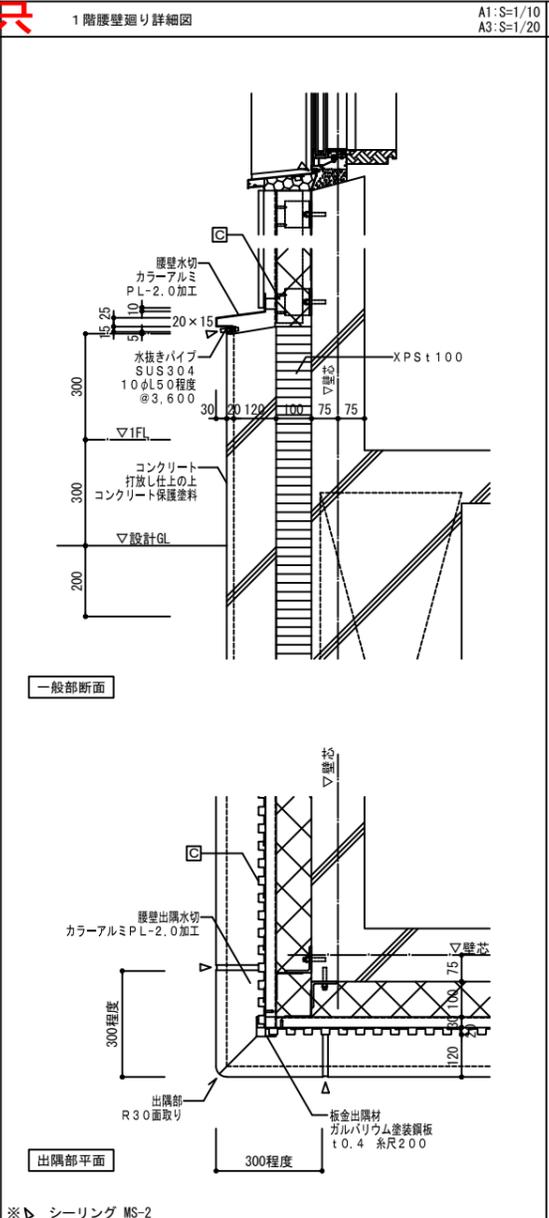




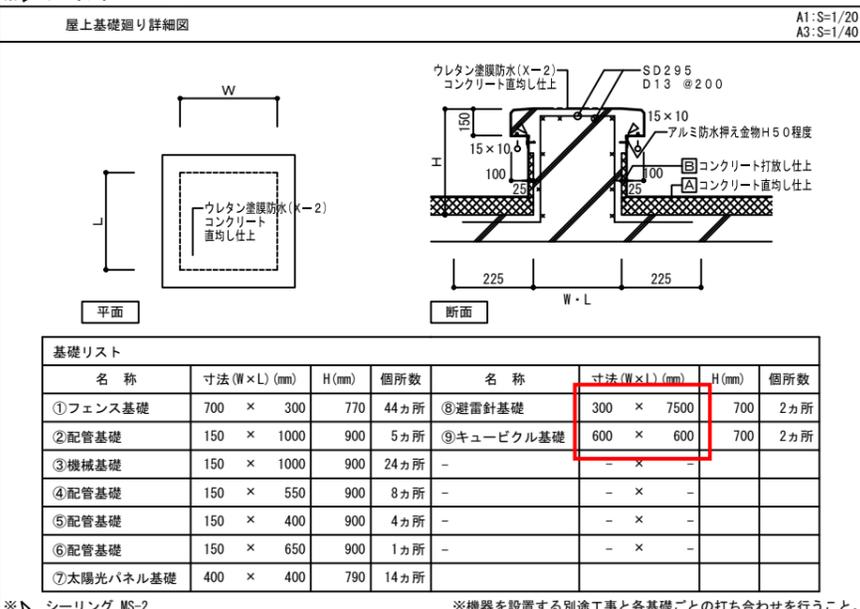
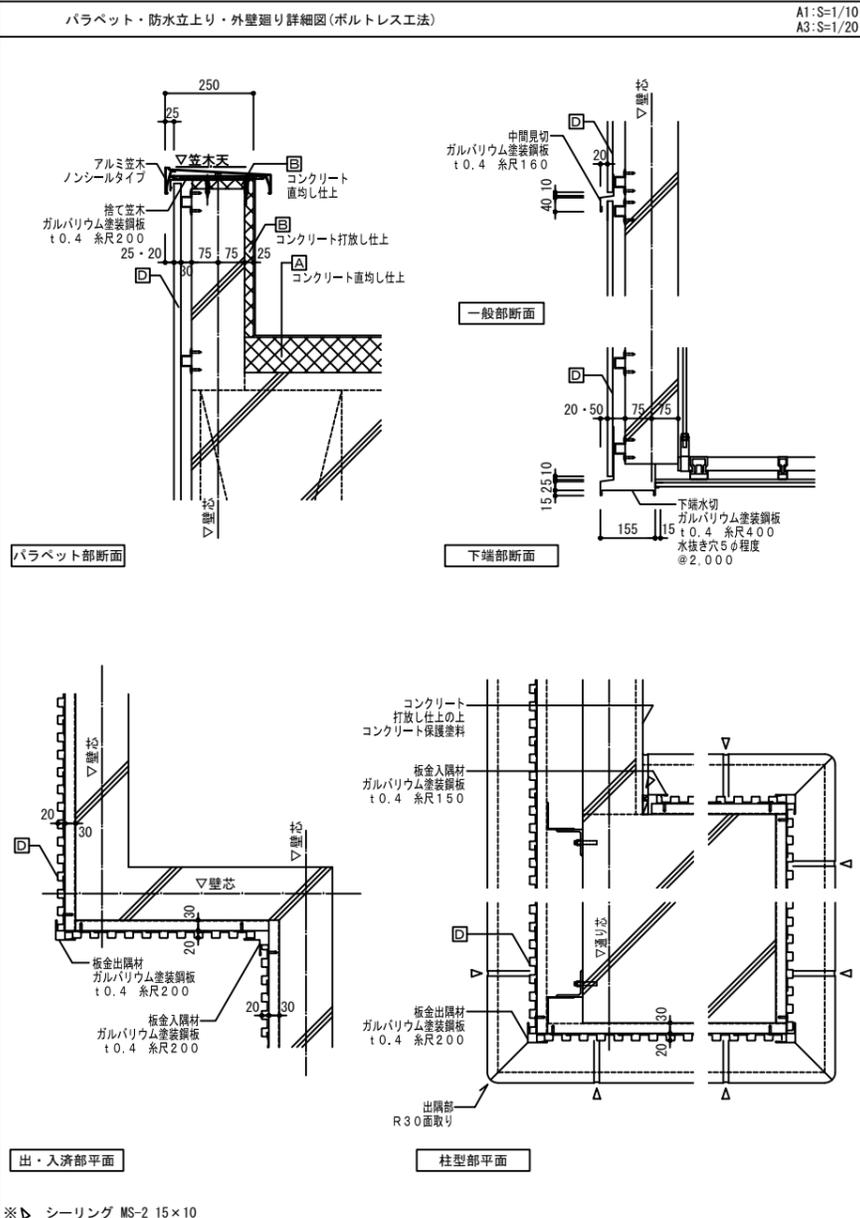
凡	改質アスファルトシート防水 ASI-T1 PUF板 t100	例	改質アスファルトシート防水 ASI-T1 PUF板 t25
---	--------------------------------	---	-------------------------------



凡	ガルバリウム塗装鋼板 t0.4角波(山高18・W148程度)縦張り 透湿防水シート GW32K t100 金物下地 ハット型鋼H30×1.2 @450 75×75SPL t2.3 @900 ピースL-75×75×6 @900 躯体にアンカーとめ	例	ガルバリウム塗装鋼板 t0.4角波(山高18・W148程度)縦張り
---	--	---	-----------------------------------

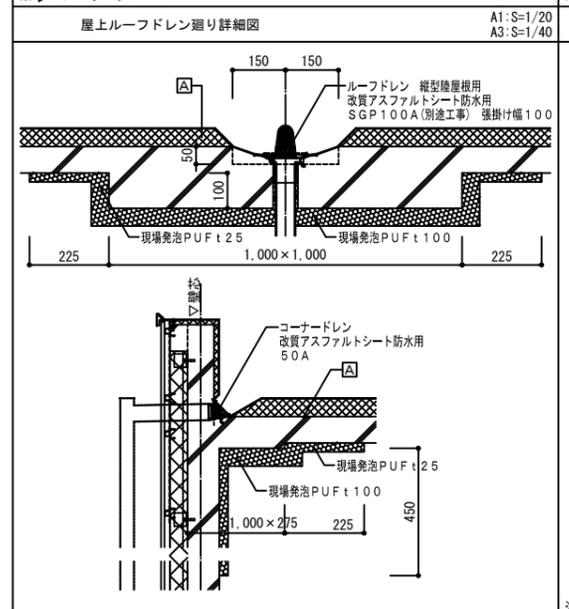
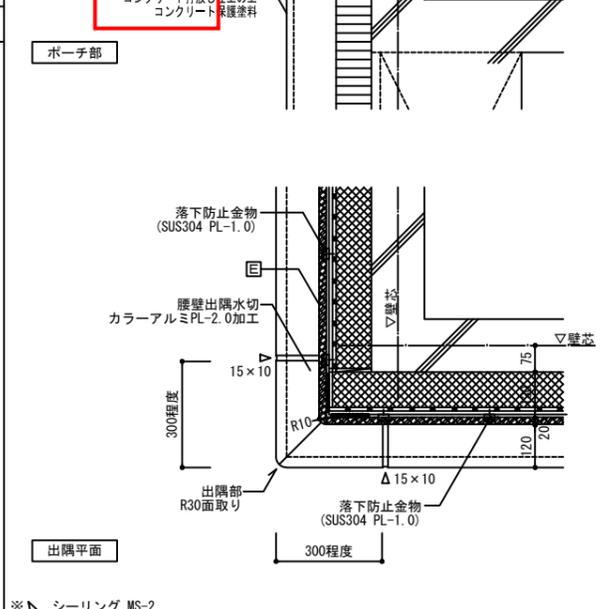
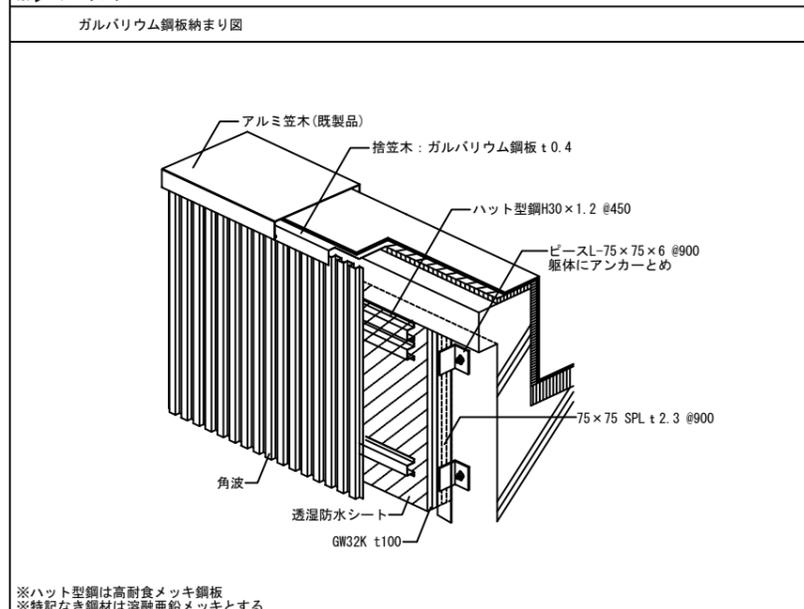
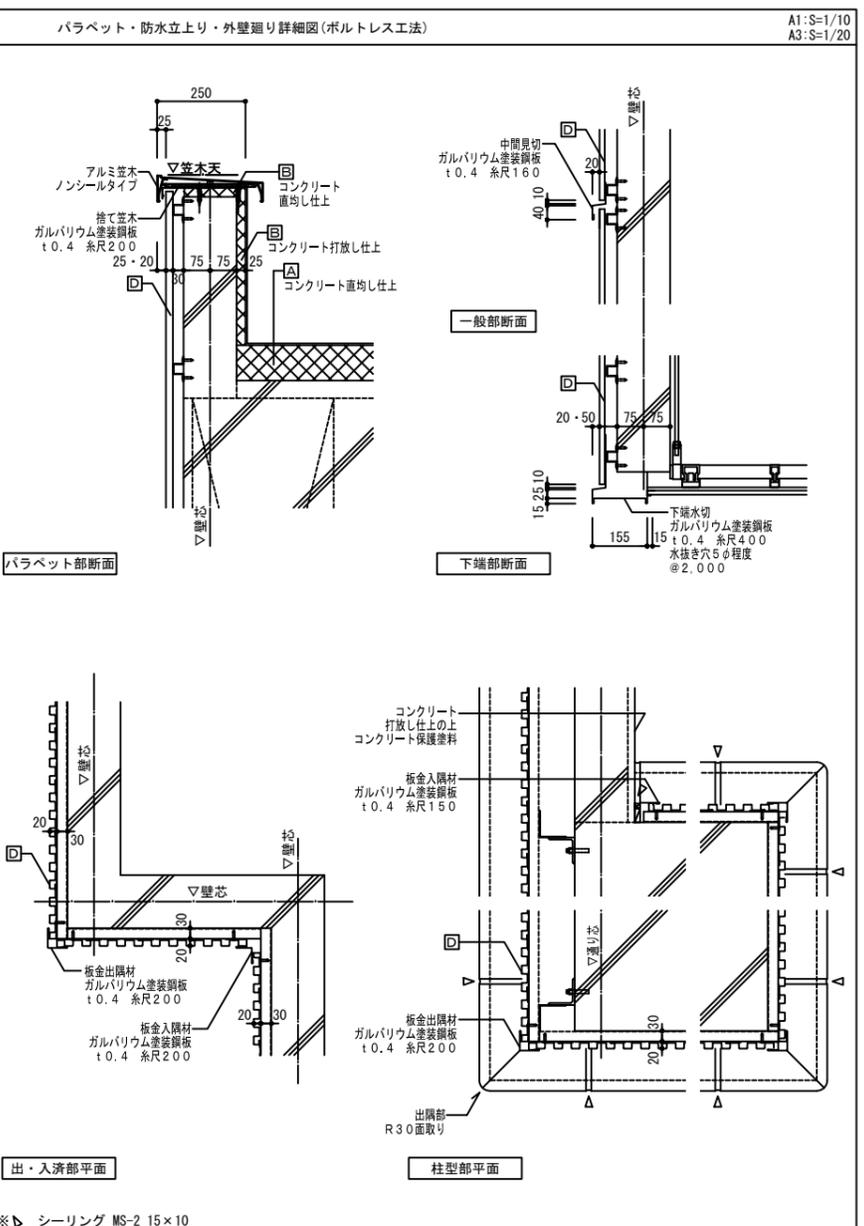
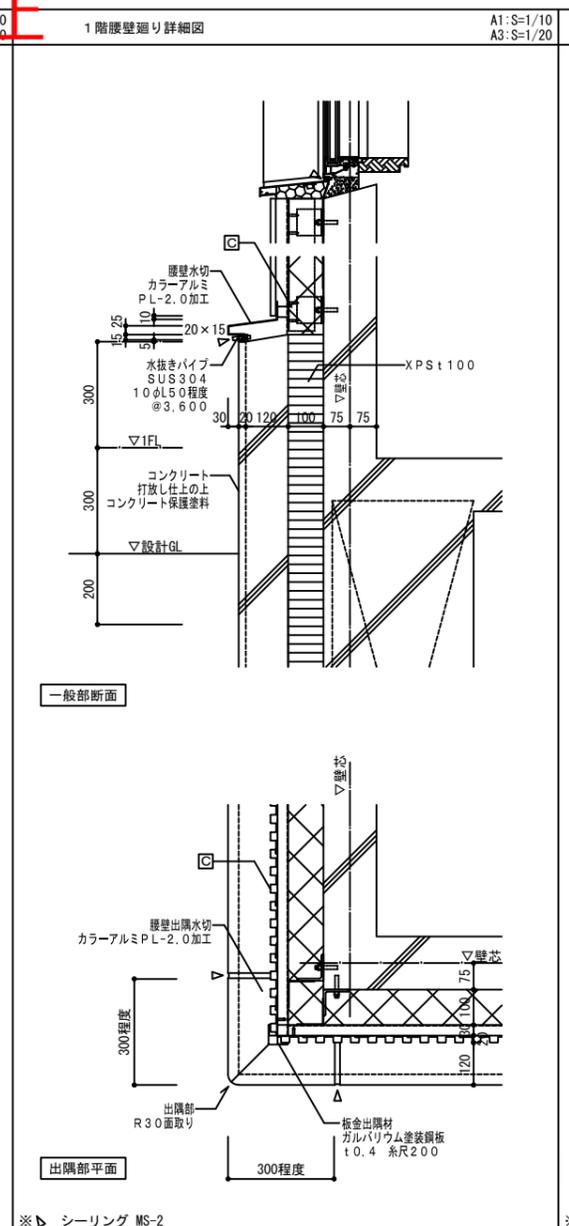
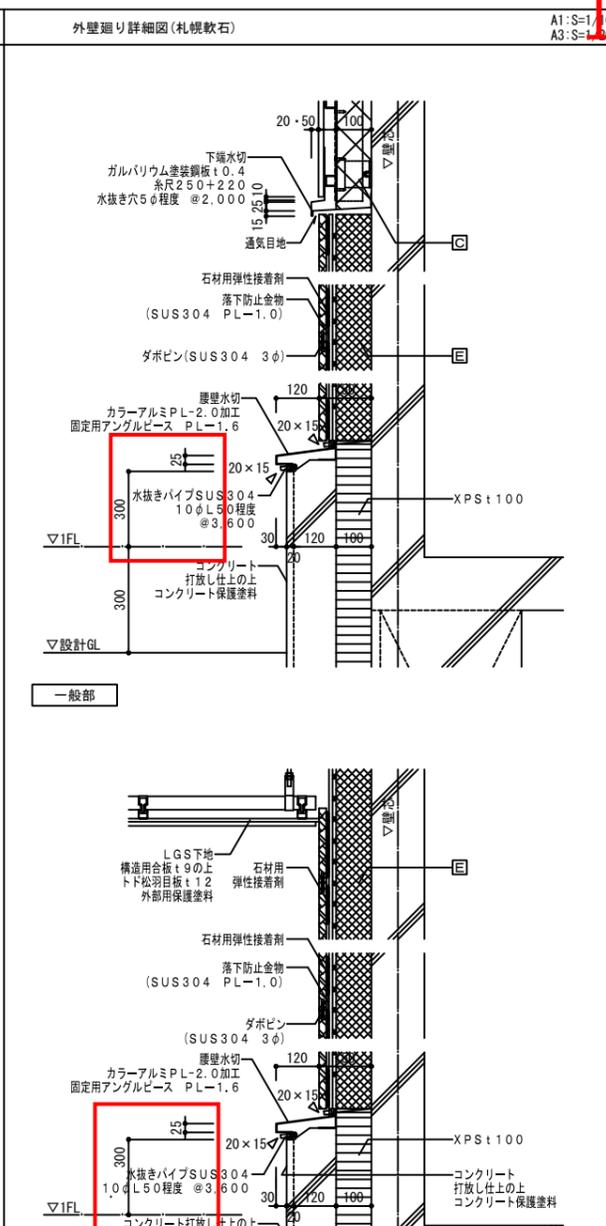
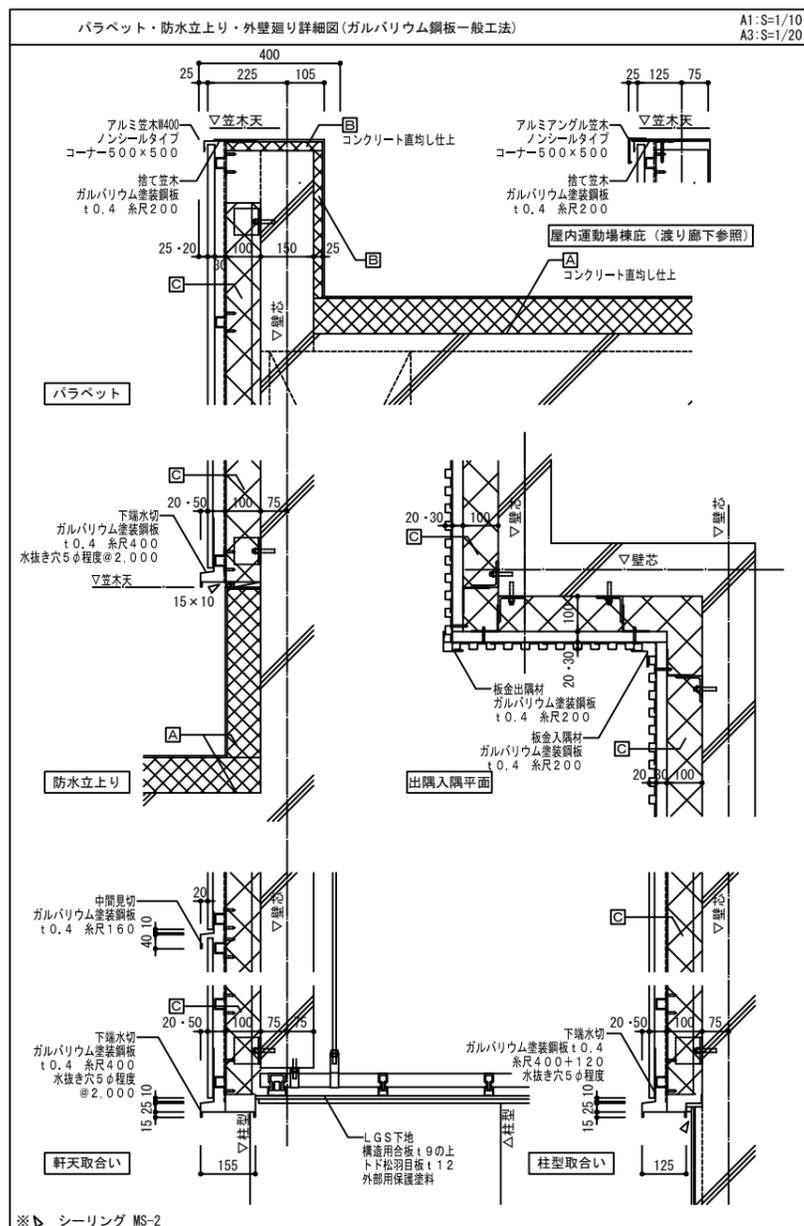


凡	札幌軟石 t20 型枠兼用断熱パネルt120 通気層(0~10mm)(EPS t100)	例	
---	--	---	--



凡	改質アスファルトシート防水 ASI-T1 PUF板 t100	例	改質アスファルトシート防水 ASI-T1 PUF板 t25
---	--------------------------------	---	-------------------------------

基礎リスト	名称	寸法(W×L)(mm)	H(mm)	個所数	名称	寸法(W×L)(mm)	H(mm)	個所数	
①	フェンス基礎	700 × 300	770	44カ所	⑧	避雷針基礎	300 × 7500	700	2カ所
②	配管基礎	150 × 1000	900	5カ所	⑨	キュービクル基礎	600 × 600	700	2カ所
③	機械基礎	150 × 1000	900	24カ所	-	-	-	-	-
④	配管基礎	150 × 550	900	8カ所	-	-	-	-	-
⑤	配管基礎	150 × 400	900	4カ所	-	-	-	-	-
⑥	配管基礎	150 × 650	900	1カ所	-	-	-	-	-
⑦	太陽光パネル基礎	400 × 400	790	14カ所	-	-	-	-	-



基礎リスト

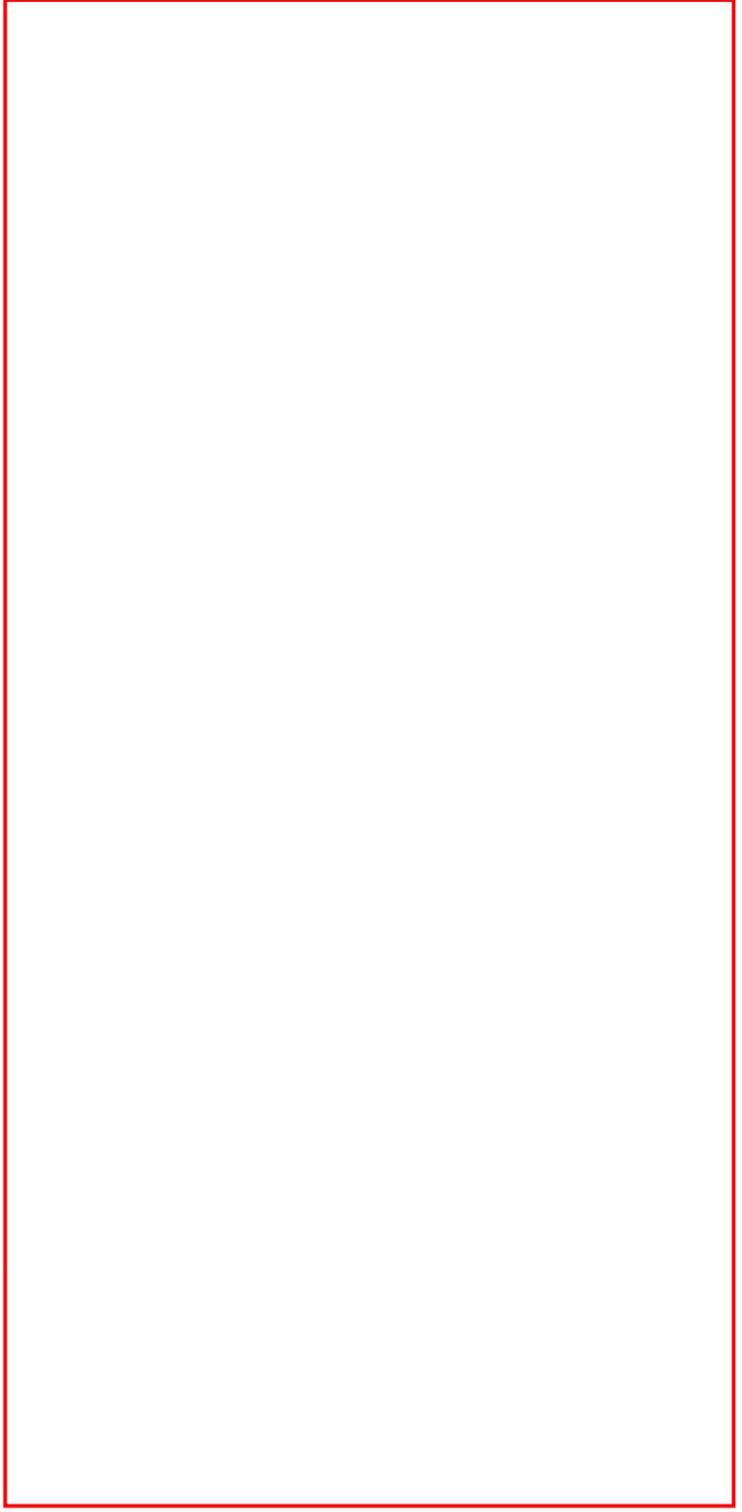
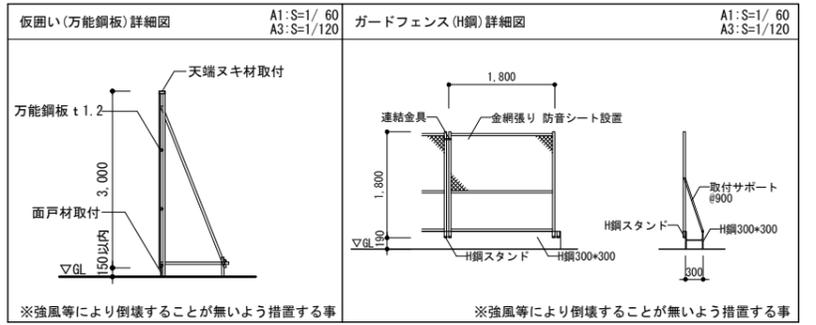
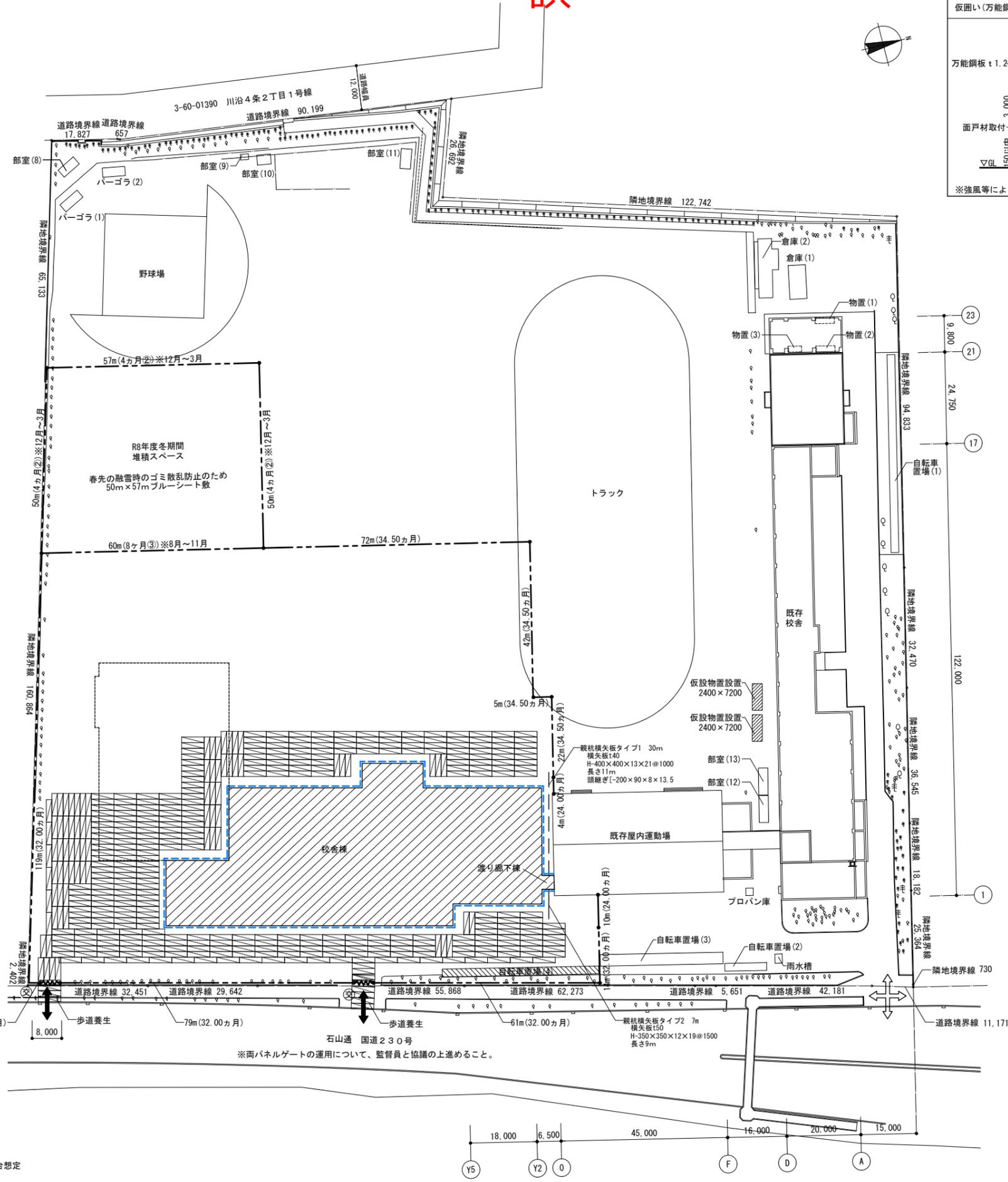
名称	寸法(W×L)(mm)	H(mm)	個数	名称	寸法(W×L)(mm)	H(mm)	個数
①フェンス基礎	700 × 300	770	44カ所	⑧避雷針基礎	600 × 600	700	2カ所
②配管基礎	150 × 1000	900	5カ所	⑨キュービクル基礎	300 × 7500	700	2カ所
③機械基礎	150 × 1000	900	24カ所	-	-	-	-
④配管基礎	150 × 550	900	8カ所	-	-	-	-
⑤配管基礎	150 × 400	900	4カ所	-	-	-	-
⑥配管基礎	150 × 650	900	1カ所	-	-	-	-
⑦太陽光パネル基礎	400 × 400	790	14カ所	-	-	-	-

※機器を設置する別途工事と各基礎ごとの打ち合わせを行うこと。

特記事項

- 改築工事に先立ち、工程表、施工計画書を監督員、監理者に提出し、承認を受けること。
- 資材搬出入等工事車両出入の際は、施設管理者及び監督員と協議し、施設利用者(生徒・学校職員)及び歩行者の安全に充分配慮すること。また、工事車両の出入りは登下校時間帯を極力避け適宜に交通誘導員を配置し、安全確保に努めること。
- 足場設置等に際し、支障となる樹木については、施設管理者及び監督員と協議の上、必要に応じて枝払いを行うこと。
- 仮囲い、外部足場の外側など、金物などを鋭利な状態で突出させないよう注意すること。
- 既存歩道切り上げ、切り上げ範囲の詳細、及び左記に伴う既存歩道の改修並びに既存樹木の伐採根は、外構図による。
- 仮囲いの撤去に当たっては、グラウンド等工事エリアの清掃及び整地を行い、建設資材等の残留や地盤不陸の調整不足による事故等の発生防止に配慮すること。

記号	内容	数量等
	既存建物	
	一次解体建物	
	新築建物外形	
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (2.25ヵ月)	6 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (24.00ヵ月)	14 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (32.00ヵ月)	276 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (34.50ヵ月)	141 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	157 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (8.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	157 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (8.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	157 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (11.50ヵ月)	18 m
	パネルゲート W5,400×H4,500 程度 (34.75ヵ月)	1ヶ所
	パネルゲート W5,400×H4,500 程度 (32.50ヵ月)	1ヶ所
	ガードフェンス (8.50ヶ月)	126 m
	A型バリケード (3.50ヶ月)	296 m
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (0.50ヵ月)	98 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (1.25ヵ月)	441 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (13.25ヵ月)	416 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (10.00ヵ月)	468 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (7.50ヵ月)	339 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (2.25ヵ月)	8 枚
	敷き鉄板(防滑仕様) 1,524×6,096×t22 (11.00ヵ月)	21 枚
	外部枠組足場 シート養生	
	工事車両出入経路	
	生徒・学校職員出入口経路	
	交通誘導員	1268 人工
	歩道切り下げ・復旧位置	

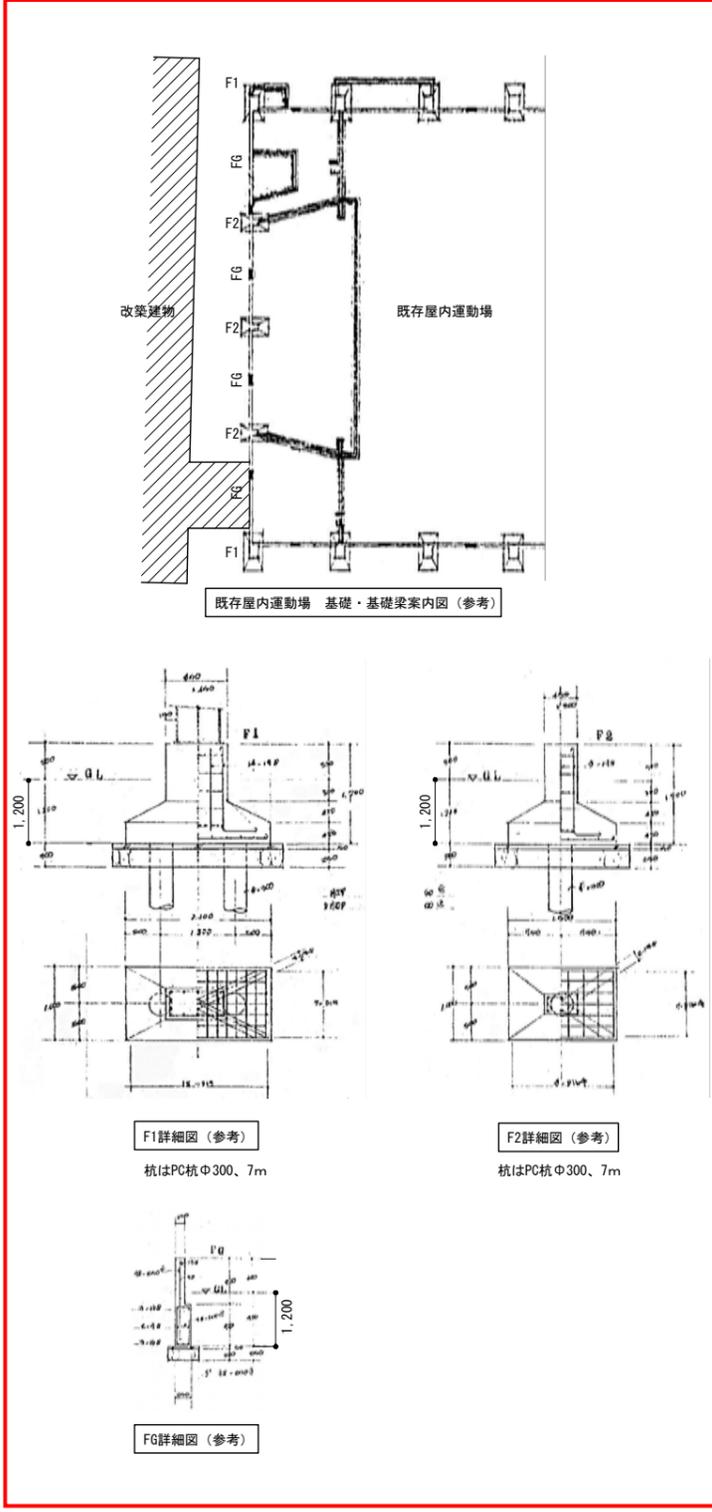
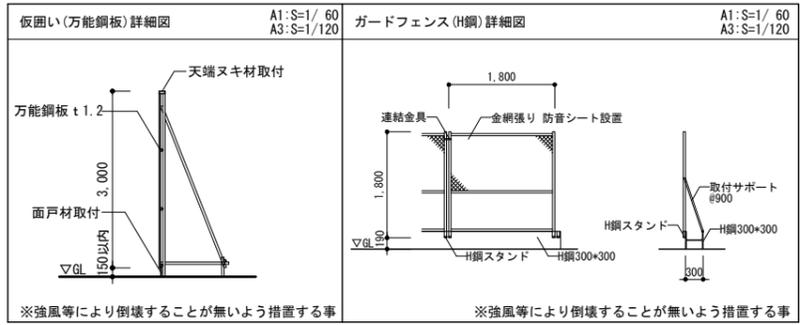
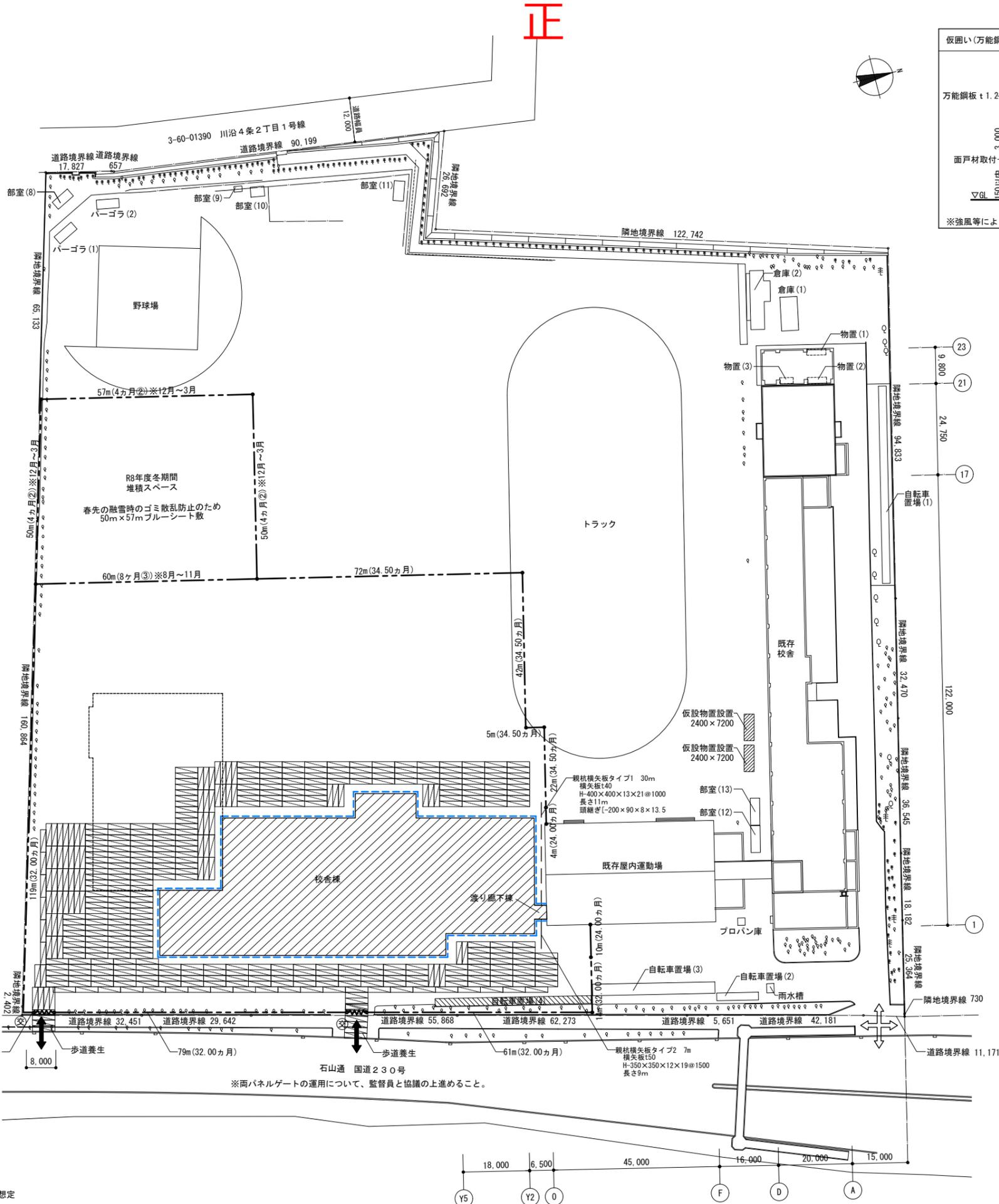


校舎棟(南工区)(北工区)建設フェーズ

特記事項

- 改築工事に先立ち、工程表、施工計画書を監督員、監理者に提出し、承認を受けること。
- 資材搬出入等工事車両出入の際は、施設管理者及び監督員と協議し、施設利用者(生徒・学校職員)及び歩行者の安全に充分配慮すること。また、工事車両の出入りは登下校時間帯を極力避け適宜に交通誘導員を配置し、安全確保に努めること。
- 足場設置等に際し、支障となる樹木については、施設管理者及び監督員と協議の上、必要に応じて枝払いを行うこと。
- 仮囲い、外部足場の外側など、金物などを鋭利な状態で突出させないよう注意すること。
- 既存歩道切り上げ、切り上げ範囲の詳細、及び左記に伴う既存歩道の改修並びに既存樹木の伐採根は、外構図による。
- 仮囲いの撤去に当たっては、グラウンド等工事エリアの清掃及び整地を行い、建設資材等の残留や地盤不陸の調整不足による事故等の発生防止に配慮すること。

記号	内容	数量等
	既存建物	
	一次解体建物	
	新築建物外形	
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (2.25ヵ月)	6 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (24.00ヵ月)	14 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (32.00ヵ月)	276 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (34.50ヵ月)	141 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	157 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (8.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	157 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (8.00ヵ月)	60 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (4.00ヵ月)	157 m
	仮囲い 万能鋼板 H=3,000 (11.50ヵ月)	18 m
	パネルゲート W5,400×H4,500 程度 (34.75ヵ月)	1ヶ所
	パネルゲート W5,400×H4,500 程度 (32.50ヵ月)	1ヶ所
	ガードフェンス (8.50ヶ月)	126 m
	A型バリケード (3.50ヶ月)	296 m
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (0.50ヵ月)	98 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (1.25ヵ月)	441 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (13.25ヵ月)	416 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (10.00ヵ月)	468 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (7.50ヵ月)	339 枚
	敷き鉄板 1,524×6,096×t22 (2.25ヵ月)	8 枚
	敷き鉄板(防滑仕様) 1,524×6,096×t22 (11.00ヵ月)	21 枚
	外部枠組足場 シート養生	
	工事車両出入経路	
	生徒・学校職員出入口経路	
	交通誘導員	1268 人工
	歩道切り下げ・復旧位置	



仮設計画図(3) A1:S=1/600 A3:S=1/1,200 ※揚重機2台想定

校舎棟(南工区)(北工区)建設フェーズ

